夕刊
滿洲日報
七月廿二日

けさの非公式會議にて東郷元帥案採用に決定
谷口軍令部長午後葉山に伺候 正式會議開催を奏請

【東京二十二日發電通】第二次非公式軍事參議官會議は二十二日午前八時半より海相官邸に開會伏見大將宮殿下を始め奉り東郷元帥、加藤、岡田兩參議官、財部海相、谷口軍令部長等昨日と同じく參列奉答文案につき協議を行つた結果ロンドン條約に關する奉答文案たる

條約兵力量は國防用兵上缺陷あり、而してこの缺陷は航空機その他の制限外兵器に依つて完全に補充すること至難なり

との所謂東郷元帥案を採用するに決定同十時散會した、依つて谷口軍令部長は本日午後葉山御用邸に伺候し正式參議官會議開催方を奏請し明日にも正式會議を開催すること、なつた

五相重要會議にて御諮詢奉答案作成
けふの參議會に提示

【東京二十二日發電通】廿一日非公式軍事參議會は意見一致を見ず物別れとなつたので濱口首相は午後七時先づ江木鐵相の訪問を受け會議の模様を聽取した後午後八時二十五分財部海相、午後九時安達内相、同九時十五分幣原外相をそれぐ官邸に招致し今後の善後策につき重要協議を重ね午後十一時散會、財部海相は同會議の苦心作成した御諮詢奉答案を携へて歸邸しその歸邸を待つた海軍當局首腦部會議に報告した、二十二日の參議官會議において海相より右案を提示して東郷元帥の信武吐露から硬化した大勢の緩和に努める筈

正式會議は明二十三日開く
軍令部長より御裁可を仰ぐ

【東京廿二日發電通】谷口軍令部長は午前十一時四十八分東京驛發電車で葉山御用邸に伺候し、天皇陛下に拜謁仰つけられ新國防計畫案の軍事參議官會議御諮詢を奏請御裁可を仰いだ、かくて正式參議官會議は明廿三日宮中で開催されることに決定した

海軍首腦部の重要協議

【東京二十二日發電】通小林海軍次官は財部海相の旨を受け二十一日午後四時半江木鐵相を訪ひ非公式軍事參議官會議の模様を報告協議の上午後五時海相官邸に歸來直ちに財部海相は谷口軍令部長、小林次官、山梨前次官、堀軍務局長古賀高級副官を招致し重要協議を爲した

財部海相も東郷案に賛成

【東京二十二日發電通】本日の非公式參議官會議は財部海相も從來の反對主張を捨て全會一致東郷案に賛成した

海相結局辭任か
東郷案可決の結果

【東京廿二日發電通】軍事參議官會議の奉答はいよく別項の如く國防補充至難との奉答をなすに決定したゝめ財部海相は條約調印當事者として到底その任に留まるを得ず海相の辭任は單に時機の問題となつた

海相の辭任を承認せず

【東京二十二日發電通】財部海相は五相會議で軍事參議官會議が國防新計畫を承認せざる場合自己の進退をも考慮せねばならぬと述べ決意を示したが政府は飽く迄その單獨辭任を認めず條約御批准を期して邁進するに決した模様である

小坂拓務次官 仙石總裁と會見

【東京特電二十一日發】小坂拓務次官は本日午前十時半滿鐵東京支社に仙石滿鐵總裁を訪問し昭和製鋼所問題その他につき要談した

齋藤總督、松田拓相と會見

時局から各方面から注目を引いて入京した齋藤朝鮮總督は十七日午前十時拓務省に松田拓相を訪問し歸京の挨拶とかね朝鮮統治上に關し種々懇談を遂げた【寫眞は會見中の(右)齋藤總督(左)松田拓相】

露支正式會議の前途は樂觀
莫氏密使の歸來談

【ハルビン特電二十二日發】モスクワの露支正式會議から莫全權の密使として歸哈した鍾尚岩氏はハルビンの自邸に滯在中であるが、正式會議は既に專門委員會を終り愈々本會議の序幕に入り、大使の交換、國交の恢復、東鐵問題に關しては具體的に解決する見込で前途は樂觀され、莫全權のベルリン行は中止し多分會議終了と同時に

威海衞還附拒絶に支那、排英運動を畫策
國際信義を無視すと憤慨し

【南京廿一日發電通】去る三月十八日南京で正式調印を見た英支威海衞還附條約並びに附屬協定は英支兩國の批准を待ち英國より支那に還附手續を執ることになつてゐたが、英國政府は駐英公使施肇基氏を通じ本日國民政府に對し突如威海衞還附を拒絶する旨の一方的通知を送つて來た、英國側拒絶の理由は支那時局の變化と山東省が北方政府に歸したゝめ英國はその批准を拒絶するに至つたものといはれてゐる、正式調印を濟ませながら英國が國際信義無視の態度に出たるは餘程の決心の結果なるべく右に對し怪しからぬといふので全國的排英運動を起し對抗すべしとの强硬論が起つてゐる、なほ英國の拒絶形式が還附協定の效力發生を無期延期ならしめんとする婉曲なる字句を以て綴られてゐるともいはれてゐる

五四對九の多數で海軍條約を批准
米上院の特別議會で

【ワシントン廿一日發電通】米上院特別議會開會以來論議頗る激しかつたロンドン海軍條約は遂に本日五十四票對九票の大多數を以て批准された、開會以來恰も十五日目で批准反對者の氏名は左の通りである

ビンガム(共和黨)ヘール(同)ジョンソン(同)モーゼス(同)オディー(同)パイン(同)アーサ、ロビンソン(同)マッケラー(民主黨)ウオールシユ(同)

なほ條約批准が斯く早められたのは折柄の暑氣が大部分その原因をなしてゐるが、而して右批准に伴ひ共和黨のノリス氏の提出せる「米國は將來において條約中に含まれざる秘密文書に依り何等拘束されず」との意味の留保案を可決した

反對論は全部一蹴 直ちにフ大統領に報告

【ワシントン廿一日發電通】米上院においては條約批准に先立ち反對派側では種々の留保又は修正案を提出したが、悉く一蹴された即ち先づ民主黨オールシユ氏は若し他國が緊急條項を實施する場合アメリカは全部八吋巡洋艦を建造し得る事との修正案を出したが五十四票對十一票を以つて敗れ次いでマッケラー氏の各調印國が海洋の自由を承認するまで條約の效力を發生せずとの留保案は五十八票對九票を以つて否決、ハイラムジョンソン氏のアメリカの大巡十八隻中最後の三隻の完成時期に關する制限を撤廢すべしとの留保も亦五十十票對三票で否決ビンガム氏の聽許條項に依るアメリカの建艦の權利を主張するとの留保案は五十四票對十票でこれも亦否決、更にジョンソン氏は國際聯盟に參加する場合本條約を無效とすとの留保案を提出したが五十八票對八票でこれも否決、斯くて最後にモーゼス氏は西太平洋においてアメリカの要塞築造を禁止せるワシントン條約の條項を廢止せん事を提案したがこれも亦一蹴されロンドン條約確定するや上院は次の開會日を定めず散會しその旨直ちにフーヴアー大統領に報告された

滿鐵事業費豫算 八月上旬査定に着手

滿鐵の六年度事業費豫算は目下各部において作成中で本月末日までに經理部に提出することゝなつてゐるから八月上旬査定會議を開くことゝなららう、竹中氏が經理部長に就任以來毎年事業費分捕主義を排する爲め豫じめ大體豫算額を内示することゝし本年もこの慣例を踏襲して口頭にて概算を示した模様であるが六年度事業費豫算の根本方針として新規事業をドシく起すべきや、それとも極力不急の事業を中止して專ら緊縮方針に依るべきやは仙石總裁の歸任後決定すべきことに六年度豫算は取り敢ず各部共新規事業は取捨伸縮し得るやう作成してゐる、仙石總裁が極力緊縮方針を主張し豫算をきりつめて三千萬圓程度にて足るとすれば滿鐵の收入金にて充分間に合ふが新規事業を起すとすれば社債を募ることゝなる由

柳樹屯駐屯部隊遼陽に移駐
けふ大房身驛出發

柳樹屯駐屯步兵第十九旅團司令部及び步兵第三十聯隊第二大隊(將校以下四百名)は二十二日第十五列車にて大房身出發遼陽へ移駐したので滿鐵からは藤根理事が滿鐵を代表して大房身へ出迎へて見送つた

柳樹屯部隊見送り

神田大連民政署長並に田中大連市長今回遼陽移駐の柳樹屯中村旅團長見送りの爲め廿二日金州往復

政府の保護無くも採算上引合ふか
愈よ第二段の調査に着手した
昭和製鋼所敷地問題

【東京特電二十一日發】昭和製鋼所問題については過般の關係閣僚並びに仙石總裁の會合において遂に最後的解決を見ず散會したのでその後の成行は關係各方面に注目されてゐたが、仙石總裁は同事業に對する

政府側の 意嚮も既に判然としたのでこの上更に關係閣僚との會議を開くことは萬止むを得ざる事情の起らぬ限りその必要無しと認め來る廿六日頃東京發歸任する模様である、而も一方總裁が來る廿四日午前十時より麻布狸穴の滿鐵社宅において我國海運、土木關係の權威たる古市公威、直木倫太郎、井上帝大教授、中川秀三郎、丹羽工學博士、中川内務技監等各博士を招致し學術上、技術上その他實際問題に關する意見を徴することになつたのは問題の推移に關し頗る注目に値する、即ち去る十四日の關係閣僚と總裁の協議會において仙石總裁は政府側に對し滿洲の事業に對しても内地同樣に保護獎勵の途無きや否やを質し種々意見を交換したるも、政府側は

現行制度 のまゝにては、わが外交上、財政上到底滿鐵の希望に應じ難い旨力說したので總裁もその間の事情について充分諒解しそれと同時にこの際滿鐵當局としても政府の特殊的保護獎勵を受けずとも採算上充分引合ふ方法無きや否やを改めて研究考慮することゝし政府側より各種の資料廻附方を要求した結果、政府より送達されたるそれらの資料並びに滿鐵側では嚮て調査蒐集せる資料に基き愈々第二段の調査を行ふことに決しその第一着手として前記の權威土木專門家協議會を開くことになつたのであるが、これについて外間關係者間においては同協議會が新義州多獅島の築港關係を中心議題として行はれる關係上仙石總裁は既に

最善策と して計畫せる鞍山設置案に見切りをつけ次善策として新義州設置案を目標に再調査を開始するに至れるものと觀測してゐる者もあるが問題の成行が果してそこまで進展して來たかどうかは仙石總裁自身の聲明に俟たざる限り輕々にこれを推斷し難い、而して仙石總裁はこの問題の及ぼす影響が國家的には勿論地方的にも頗る重大なものあるに鑑み採算上の諸問題に可及的大事をとるは勿論敷地問題についても更に總ゆる周圍の事情を考慮しつゝあるので世間の一部で想像するが如く些々たる瑣末問題などには拘泥せず最後的決定に努力せんとする模様である、殊にこの問題については政府部内においても商工省の如き既に製鐵國策的見地からわが製鐵の自給自足を絶對的必要と認め

事業計畫 の着手を切望してゐるもので、計畫をこのまゝ中止するが如きことはあり得ない模様で、この點仙石總裁も外間に對しては引合はぬ仕事は止めるとはいつてゐるものゝ愼重に考慮しその實現に總ゆる努力を拂つてゐることはいふまでも無い、而も問題の解決までには屢報の如くなほ慣重審議を要するものがあるから一應歸任の上大平副總裁以下の幹部とも協議して問題の進行を圖ることゝなるだらう

仙石總裁 松田、幣原兩相を訪問

【東京特電二十一日發】本日午前十時松田拓相を訪問して歸任挨拶その他昭和製鋼所問題の今後について打合せをなした仙石滿鐵總裁は午後三時外相官邸に幣原外相を訪問し約一時間に亘り懇談して辭去した

大連上京委員 仙石總裁を訪問

【東京特電二十一日發】製鋼所問題大連上京委員小澤太兵衞、石本鏆太郎兩氏は廿一日午前十一時仙石總裁を東京支社に訪問約二十分に亘り懇談した

大森熊本知事 依願免官決定

【東京二十二日發電通】閣議決定人事

任熊本縣知事　大分縣知事　本山文平
任大分縣知事　警視廳刑事部長　阿部嘉七
依願免本官　熊本縣知事　大森吉五郎

木村公使は來る廿五日着哈

【ハルビン特電二十一日發】木村公使は十七日モスクワを發し二十五日來哈、二、三日滯在の豫定である

膠濟鐵道開通交渉

【濟南廿一日發電通】西田總領事は本日金嶺鎭に赴き張蔭梧氏に會見膠濟鐵道開通方を交渉したるに張蔭梧氏は自分の方は何時でも交渉に應ずるから韓復榘氏に交渉して見れとのことで西田總領事は韓復榘氏に交渉することゝなつた良氏と種々交渉中であるが南京派の三氏は一兩日中に歸奉の筈

汪氏の態度を外交團注目

【北平二十一日發電通】汪精衞氏門司出發來平の電報に對し北平外交界は豫想外に早いのに驚きの色を示してゐる、汪氏が北上を斷行したのは北方時局に對し相當確信を得た結果なりと解せらるゝが來平後彼が内外政問題に如何なる態度を示すや外交界は尠も深き注意を持つてゐる

滿鐵計畫部分掌内規

滿鐵職制改正に依る新設の計畫部事務分掌内規は部内において作成中であつたが愈々一兩日中に脫稿する由、それに依れば計畫部を業務技術兩課に分け業務課を三係に技術課を十係に分轄すると

社員會幹事長選擧投票成績

滿鐵社員會の新幹事長改選は二十五日開票の筈であるが二十二日までに評議員四百三十九名中約三百名が既に本部に投票して來た

人事

▲泰助市氏(丁字屋店主)　二十二日旅客上り機にて京城へ

大觀小觀

折角、批准まで濟んだ威海衞の還附、英國から一方的に拒絶し來る。

◇

何が英國をソウさせたか、支那の混沌たる内政にも責任なしとはいふことは出來ぬ。

◇

昭和製鋼所、常節所、採算第一主義で愼重審議する、敷地の問題の如きは、國家的立場から最善を期すと。

◇

新義州と斷定するも早計、鞍山を斷念するも早きに失する。

◇

技術的に、經濟的に採用の可能を期して最後、最善の斷案に到達するらしい。

◇

汪兆銘氏、いよく北平に向ふとあつて北方側、大に氣勢を揚げる。それだけ南方には人氣が上らぬ。ただし支那の民衆は依然たる狀態。

支那には最近小工業俄に勃興
日本品に壓迫を加ふ
柏田拓大教授語る

別項拓大見學團及び辯論部員を引率して來連せる前代議士柏田教授は語る

滿洲とは極めて馴染が深く昨年も視察に來た、今回は學生見學團を連れて來たがそれは此處で解散するのでそれから自分は單獨で

南北支の 工業を視察したいと思つてゐる、最近支那では家內工業から小工業に進みつゝあつて、その發展は目覺ましいものがあり日本の工業を漸次壓迫して來た、例へば蠶蜂等の如き從來は岐阜縣あたりから支那へ輸出してゐたのだが今年は逆輸入してゐる狀態で岐阜の養蜂業はこのため全滅の悲運に遭遇してゐる、生糸の如き從來支那には夏秋蠶なぞなかつたものであるが最近はそれに着眼し江蘇浙江あたりの養蠶業は益々盛になつて來た、又南洋の如き貿易は從來日本品の獨り舞臺であつたものが最近

支那から の輸出が俄に增加し昨年は三千萬圓にも上る盛況で日本品にとり油斷のならぬ强敵となつて來た、これ等の工業狀態を特に長江沿岸に就て十分に調査したいと思つてゐる、支那には北方政府が近く實現する模様で今後は二政府の對立となるわけだが、これはどちらも容易に潰されないであらうから當分の間對立した儘で推移するのではないかと思ふ、内地では目下海軍條約問題がやかましいがこれは滯りなく解決する事になつてゐると云ふ話だ

張學良氏は葫蘆島に滯在

【奉天特電二十二日發】張學良氏は今尙葫蘆島に滯在中であるが豫定の北戴河行きは中止し、今月一杯葫蘆島に滯在することゝなつた理由は、北戴河は天津に近いため閻錫山派の人々の盛んに來訪するであらうことを嫌つてのためと言はれてゐる、尙張群、方本仁、吳鐵城の三氏も目下葫蘆島にあり

天氣豫報

二十三日(南の風)曇一時晴

各地溫度

	十二時	昨日最高
大連	二七・四	二六・八
旅順	二七・九	二七・二
營口	二五・八	三〇・二
奉天	二六・〇	三〇・八
長春	二六・七	三〇・五

滿潮　午前八時五分　午後八時五十分
干潮　午前零時五十分　午後二時二十五分

あすの開戰を眼前に 選手の意氣昂し

けふ正午本社の主將會議にて 試合の組合せ決る

滿洲日報社主催全國中等學校優勝野球大會全滿豫選會は本社主催の下に愈々二十三日午後一時から實業球場に於て戰ひの火蓋が切つて落される、各チームともすでに數日前來通し英氣を養ひ覇權目指して意氣天に冲する有樣である、二十二日正午より實業岩瀨主將大朝支局長代理水田文雄及び本社員立會の上各チーム監督及び主將參集の上抽籤の結果左の如くプログラム決定した

入場式　二十三日零時半

豫備戰　午後一時田中市長始球式　大連商業對安東中學（於實業球場）

準決勝戰　二十四日午後一時　撫順中學對奉天中學（於實業球場）

準決勝戰　二十五日（時間未定）　青島中學對豫備戰勝者（場所未定）

尚外野スタンドは解放されるが內野スタンドは實業滿俱兩後援會員並びに本社招待者のみに入場許可することになつた

また北寧線 出水不通 白旗堡繞陽間

【奉天特電二十二日發】北寧線の白旗堡繞陽河は昨日來の降雨のため出水し今朝七時から再び不通となつた

全線運轉休止

瀋海鐵路打通支線では木里崗、衙門營子間、馮家窩舖、彰武間、新立屯、方山鎭間の三ヶ所が過般の降雨で十八日より列車の運行不能に陷り目下復舊工事を急いでゐるも開通に至らず、ために同線は殆ど全線の運轉中止狀態であると

顚覆の損害 十萬元 東鐵南部線

【ハルビン特電二十一日發】東支鐵道南部線の列車顚覆はボールト犬釘を拔いたものあり惡意の仕業と判明した損害は十萬元に達すと

各縣下の水害 續々と判明す

三百萬圓以上 熊本縣の被害

【熊本二十二日發電通】今回の暴風雨にて熊本縣の蒙れる損害に就き縣保安課にて調査せる二十一日正午迄に判明せるもの死者九、負傷二十六、行方不明五、住家全潰四百三十、半潰四百七十八、非住家全潰七百九十六、半潰四百六十にて家屋損害見積り十八萬四千圓、船舶流失二百五十七隻、電杆倒潰を加へ十六萬一千圓にて其の他農作物の損害を頭ゆれば三百萬圓以上の多きに達する見込みである

電信電話被害

【熊本二十二日發電通】熊本遞信局管內被害は電話、電信合せて一萬八千五百二十六回線、三百萬圓又電燈、電力會社被害凡そ二百萬圓の見込みである

天草南海岸

【熊本廿二日發電通】熊本縣天草郡南海岸の被害は住家全潰百九十九、半潰三百八十二、船舶流失破壞二百七十三、損害五十萬八千圓

農作物共に 千二百萬圓 佐賀縣の被害

光景慘澹たるものあり

【佐賀二十二日發電通】佐賀縣下の被害情況は二十一日迄に判明せるものは農作物被害を合し一千二百萬圓で主なる被害は死者十二、重傷四十五、行方不明五、學校倒潰十七、半潰十一、住家倒潰八百七十九、半潰三百七十四

大時化に遭ひ九死に一生

メイン・マストを折られて 靖國丸がやつと入港

颱日の颱風の渦中に卷込まれキリキリ舞もをさせられた上メインマストを根元よりポッキリ折られて廿日朝神戶濱根商店の靖國丸（三〇二一噸）が九死に一生を得たどくしい姿で辿りついた、同船は浦鹽より松材を六千七十二本山積大連に向つたものだが途中十八日の颱風に遭遇船を續けたもので、九番バースに繫留と共に同船に船長宇野鷺吉氏を訪問したが不在の爲聰永一等運轉士が代つて語る　丁度對馬の北沖で例の時代に打つかりどうしても拔け切れず卅五米からの風速に飜弄されたもので逆卷く波浪に山積した木材が崩れるやらもみくちやにされ永年の船乘生活であんなひどかつた事はなかつた位で一同必死で低氣壓から拔けやうと焦つたものだ、しかるに同日午前十時頃後部のメインマストが一大音響と共に折斷され甲板が裂けたので愈々斷念しSOSを打電したが既にアンテナが切れどうする事も出來ず全く外界との連絡を斷たれてしまつた樣なわけだつた、幸ひ同日正午頃危機をのがれたが、國際のぼすとん丸もSOS舵機を折り、五雲海丸もSOSを發してゐる樣だつた、本船は大連で修繕する事になつてゐる

コレラ檢疫 上海線入港船に

青島の疑似發生から

阿波共同汽船へ入報のあつた青島の疑似コレラ患者發生の件に關してはその後海務局においてもこのまゝ放置出來ずと關東廳の手より青島へ問合せ中のところ廿二日の返電によれば右疑似コレラ發生は事實で詳細については未だ何等通知を見ないが右により本年度最初のコレラ發生と云ふので海務局檢疫課では俄然緊張し上海青島方面よりの入港船に對しては嚴重檢疫を施行すると

青島中學軍の猛練習

奉天大連間電話線で 高周波電話を實現

同時に兩地で三人宛が通話 世界に誇る新施設

自動式電話施設や最近では甘井子埠頭作業の電化施設等々滿鐵では常に世界のあらゆる文化施設、文明の利器を着々取入れてはいつも內地より一歩先にリードしてゐるが、同社では今般又一つこれはまだ全世界でも科學國ドイツの他には餘り見られぬ珍しい高周波搬送電話の施設を實現することゝなつた、この高周波電話といふのは一種のラヂオ裝置で普通の有線電話の電線を借りて高周波の電波を送受し通話するもので、同社では今度鐵道事務の迅速を圖るためとりあへず奉天、大連間四千粁の普通電話三番線に依つて右兩地間の通話を開始しやうといふのであるが實現の上は三種のサイクルに依り同時に兩地各三人宛の通話が出來る筈である尚搬送式電話の特徴は唯普通線を利用するだけであるので經費も尠く、且つ遠隔の地程有效であるといふ點にあり今回も普通有線電話を架す時は奉大間約三十萬圓を要するも搬送式ではその十分の一約三萬圓で充分であると

市中の鑵詰が 六割も不良

ビールも油斷されぬ 飲食物の檢査始まる

酷暑の候となつて市內に販賣される飲食物も腐敗し易くなるので先般來各警察署に於いても市中飲食店に亘つて調査中のところ六月中旬以內七月中旬迄約一ヶ月にわたつて檢査品數四千二百三十七點中不良飲食物の數六百七十九點あり特に鑵詰、ビールの不良物は驚くしきもので鑵詰の如きは六割方不良品である、主なる檢査品數と不良品の數を擧げれば左の如し

	檢査品數	不良品數
鑵詰	七七九	四四六
乳製品	八七	七
洋酒	一四一	二八
ビール	三九四	五三
菓子	二四六	四〇

聖きつみ人

警官も泣いた、先生も泣いた、繼母と義弟を改悟させた純情少年の感激實話、富士八月號の大呼物！

中立地帶で 馬賊討伐 支那軍隊が

【奉天特電二十二日發】安東駐屯の支那軍隊では莊河、岫巖地方の中立地帶に最近土匪の横行甚だしく今回住民の安寧のため討伐隊を同地方に入ることを安東領事館を通じて奉天總領事館に了解を求めて來たので、總領事館にては關東軍司令部及び關東廳と協議の結果承諾をすることゝなり、其旨本日總領事館より安東領事館を通じて回答した、尚支那軍隊の人員は二百名出動期間は三週間以內である

射撃自慢の中屋巡査が 聖德街で狼を射止める

最近大連運動場內中川氏方を襲つた狼はその後聖德街方面に現はれ各所の家畜を荒し廻つて居つたが廿二日午前三時半ごろ聖德街二丁目四八二番地土居寬氏方へ二頭の大狼が現はれ雞舍の雞を喰ひ荒して居るのを家人が發見しこの旨聖德街派出所に屆出でたので沙河口署內切つての射撃の名手中屋巡査は直ちに自慢の拳銃を持つて現場に赴き盛に喰ひ散らしてゐる狼に先づ一發を發射したところ痛手を負つた狼は矢庭に同巡査に飛かゝらんとしたところを數發をあびせて漸く一頭を射止めたが其隙に殘り一頭は譚家屯方面に逃走してしまつた、同家では鶩鳥二羽雞十羽雛二四を喰ひ殺されて居つた、尚射止めた狼は直ちに燒却することゝした

十種競技の 世界新記錄

【ヘルシングフォース二十一日發電通】フィンランド選手ヨエルヴァイネンは二十日當地に於て十種競技に總得點八千二百五十五點四七五を獲得して世界新記錄を作つた旨發表された、なほこの記錄は最近フィンランドのパアヴオ・ヨエラの作つた八千百八十七點三〇〇の記錄を破つたものである

結婚ナンセンス

露は尾花を地で行く 支那人が珍らしい僞證の訴

ナンセンスな話――大連泰公街十一番地歐陽繼（二七）は昭和二年の正月、郷里山東省萊州府平度縣に於て李萬成の四女小鉄子（三）と結婚した。處がその年の八月數名の馬賊に闖入され衣類數十點、騾馬一頭、大洋四十元と共に愛妻小鉄子を拉致された、以來繼は血眼になつて妻の行方を搜査中、大連泰公街八十七番地劉繼茂かたに變名も小鉄子と稱し暮してゐるを發見、大いに喜び同棲を迫つた處小鉄子は人違ひであるとてこれを峻拒し同棲を肯ぜぬ爲め繼から同居請求の民事訴訟を大連地方法院に提起したのであつたが、小鉄子は飽くまで人違ひである事を主張自分は小鉄子でない玉增の娘で翠玲と云ひ昭和二年正月郷里山東で結婚はしたが相手は孫傳書と云ひ同棲中夫婦喧嘩の果て無斷家出し來連したものであると抗辯、流石の行山名裁判長も判決の下しやうがなかつたものである、しかし繼は自分と結婚した小鉄子に相違ないと主張し同棲中馬賊と稱して闖入し小鉄子を拉致したのは玉增等の仕業に相違ない。咽喉部二ヶ所に黑子のあるのも臀部に切傷のあるのも同棲八ヶ月の結果見覺えがある、翠玲と云ふは僞名で俺の妻の小鉄子に間違ひない、人違ひであると云ふは玉增等が小鉄子を籠絡し親と僞つて喰物にする詐謀手段であると玉增およびその妻と稱する李氏を相手取り大連檢察局へ僞證の訴へを起したものである。取調べの結果何方に采配が上るか、露は尾花と寢たと云ひ、尾花は露と寢たと云ふ支那人ならでは見られぬ珍風景である

拓大辯論部 講演會

明晩青年會で

拓殖大學拓殖研究會及び辯論部一行は柏田忠一、石井靜人兩教授に引率され北支滿鮮の視察旁々講演旅行を試み、本月六日東京出發朝鮮を經て北滿地方旅行中であつたが本廿二日十二時三十分着列車で多數校友先輩に迎へられて着連した一行は二十三日（水）午後七時より市內敷島町青年會館に於て本社後援の下に左の通り講演會を開催、入場無料、多數の來聽を歡迎する

一、支那の產業革命と極東の經濟　柏田教授
一、大戰後に於ける歐洲の產業問題　石井教授
一、太平洋を凝視して　渡邊毅
一、失業問題私觀　佐々木榮松
一、我國人口問題と拓殖運動　首藤光義
一、倫敦會議より得たる國民の智能的啓發　平田義弘

一行は今明兩日は市內を視察翌廿四日は旅順視察に赴き午後七時より同地語學校講堂にて講演會を開催翌日來連して解散各自々由行動をとると尚同窓會大連支部では廿二日午後七時半より一行を電氣遊園內登瀛閣に招待する筈

警備殉難者 後援會

規則を可決

南滿洲警備殉難者後援會發起人會は二十二日午前十時より大連市役所議員控室で開催、出席者は永井市長代理、豐田療病院長を始め二十數名、擧て小委員會で起案中の同後援會規則および同審査規程を審議、二、三ヶ所修正の上原案可決し同正午閉會した

愛子夫人は 愈よ歸朝 廿五日に着哈

【ハルビン特電二十一日發】永井清氏夫人愛子（元高島姓）は十七日モスクワ發、二十五日ハルビンに來着する筈である

利根川で 石合戰 群馬埼玉兩縣民

【前橋二十二日發電通】群馬埼玉兩縣境の利根川上流を差挾んだ兩縣村民は本月初めから水爭ひを繰返してゐたが二十一日朝に至り形勢惡化したので群馬、埼玉兩警察で警官總動員警戒に努めたが午後四時頃兩縣村民千三百名は遂に川を挾んで石合戰となり警官の制止も肯かず群馬側は二十三名埼玉側は十數名の負傷者を出した、依つて群馬警察より救護班を出す一方兩縣當局は極力和解に努めた結果双方から五名づゝの調停委員を擧げることゝなつた

森林撮影中の 飛行機が墜落

【豐原廿二日發電通】二十一日午後二時樺太西海岸惠內（名好の北四里）奧地四里の地點にて林野撮影中の下志津飛行學校陸軍機五百八號機は機關に故障を生じ墜落した、乘組員はパラシュートに依つて着陸した模樣であるが生死不明である

不時着陸と判明

【豐原二十一日發電通】既報墜落を傳へられた下志津飛行學校の陸軍機五〇八號機は故障のため西柵丹四十四林班に不時着陸し搭乘者並に機體は共に安全なる旨報告が樺太廳に達した

遼寧留日學生 給費改正

【奉天特電二十二日發】遼寧省の官費日本學生は一昨年以來一名に月額日本金六十圓を支給してゐたが現在金價騰貴の爲め一昨年に比し約五萬元の豫算超過となるので教育廳は今回一人につき銀八十元を支給することに改正した尚現在の官費留學生は九十二名であると

大沼教官逝く 一高の名物男

【東京二十二日發電通】四十年間一高の體操教官を勤めた名物男大沼浮藏翁は二十日腦溢血で永眠した、享年七十七歲氏の薰陶を受けた名士顯官は無數で故加藤高明伯夏目漱石、中村是公、若槻禮次郎水野錬太郎氏等もよく怒鳴られたものである

伊機東京へ 京城を出發

【京城二十二日發電通】訪日イタリー機は今朝六時二十分京城汝矣島飛行場發東京に向つた

語學獎勵琵琶歌

大連語學校にては今回語學獎勵の爲め同校支那語科主任秩父固太郎氏の新作左記琵琶歌「偵滑鏡」をば斯道の大家木村岳風師の作曲に成れるものを二十三日午後八時より全校學生の爲め同校講堂にて公演し岳風氏得意の琵琶歌及吟詩の外、岡內校長及秩父講師の講話等もある筈

坂道で衝突

市內伏見町二番地菊地泰記二男喜三（一一）は廿一日午後二時二十分ごろ自動車にて大黑町二四番地急坂路を疾走中ブレーキかきかずその惰力にて附近を通行中の近江町王出寶（四九）の人力車に激突し路上に轉倒して頸動脈を切斷し治療二週間を要する重傷を負つた

自動車事故

市內沖河口元町三九圓タク運轉手鮮人鄭炳洙（二〇）は廿一日午後十一時ごろ助手朴榮替（一九）と共に自動車を操縱して大連に向け三春柳一番地同壽病院前を疾走中同所を通行中の周水子會票子涯郭家屯農業郭清心（二四）を後方より突き倒し數間を引ずつて漸く停車したが郭は其際路上に激突し生命危篤である

俠艶一代男 (2)

米田華紅作 伊藤幾久造畫

神田祭の夜(二)

「ちえッ!何て薄間抜けな大名なんだ。江戸一の神田明神の祭禮と知て、場所もあらうに、一番に混雜する新限、廣小路筋へ行列を立てゝくる奴があるものか?これで間違ひが出來らア、向ふが悪いんだ。なア哥貴!清吉哥イ、癪に障るぢやござんせんか?」

背は低い、五尺に足らぬ小男だが、縹色の法被、背に白く扱いたかの字でも知れる通り、襟に染め出した八番組、下谷淺草本郷切つての町火消、か組の纏持、龍吐水持ちの金次と呼ぶ若者であつた。

丁度、湯島臺下は、八番組の連中が山車の殿りを押へる形で、一塊りになつて、街角の自身番小屋の側に詰めてゐる時で、か組の次はまた不機嫌をありくと

「ちえッ!」と、舌を鳴らして「ねえ清吉哥イ、折角の祭禮を臺無しにされやしたね。いましくい畜生たられねえ。相手が大名でなければ、生かして口遁す奴ぢやねえんですよ。三年に一度の本祭、女房を女郎に叩き賣つて、祭の衣裳を拵へた感心な人さへあるんでさア。それをあの態は何でえ!あの態は!」と湯島臺の上を見あげながら、いかにも口惜しさうに力味返つてゐた。

「ほう――下にッ!」

制止の聲が迫つてくるにつれ、群衆は右往左往し、悲鳴叫喚をさへ揚げる者もあつて、逃げ惑ふ姿が修羅場の騒ぎだ。

「清吉哥ィ!どうかしたんですかい?嫌に考へ込んでるぢやござんせぬか?」

金次が覗き込むやうに、顔を持つて訊ねたが、相手の清吉はジッと腕を組んだまゝで、加賀侯の行列のしづくと切通し坂を下つてくるのを見詰めながら、ムッチリとしてゐる。

年はまだ二十八九か、小肥りな色白、町火消とは思はれない、柔和な顔立で、男を賣る彼等の仲間に珍しい位に温和な質。しかし體は太いので、いつか組でも立てられて、年が若いに纏の大役を引きうけてゐた。

幾らか酒でも飲んだと見え、ポッと顔から胸を紅く染めてゐるが、どうした譯か?長い息を吐いた。

「ちえッ!嫌になりやすね。清哥イ!清吉哥イ!どうしたと云ふんですよ」

「金次!少し默つてゐろよ」

「へえ、默つてゐろと云ふなら、そりや默つてますがね。あの態を見ちやア癪にさわるぢやござんせぬか?」

清吉は、相手にならぬ積りか?顔を横に外向けた。

「哥イ!お前、今日は餘程どうかしてゐるぜ」

「五月蝿いから默つてゐろと云ふに!」

潜りかねたか?金次を叱鳴りつけた。

「ヘッ!」と、横を向くと、仲間の一人と笑ひ交しながら、首を縮めて、ベロリと舌を出してみせた。

行列は、もう小牛丁許り上に近づいた。

みな山車や屋臺に引き添つて、道端に土下座し、頭をジッと垂れてゐる。

粛々として、大地を踏む草履や草鞋の音が響いて、あれ程に混雜した群衆のざわめきも、遙か遠くの方で繰返されてるに過ぎない。

賑やかな囃子がピッタリと止んだので、ひつそり閑としてゐる眞晝の往來筋は、咳の聲さへ明瞭と判る位だ。

「ほう――下にッ!」

さッ、さッと歩を運ぶ御徒や仲間などの足音が、だんくと明らかに聞えた。

八番組下のか組纏持の清吉、丁度加州侯の行列が、今しも自分の前に通り掛らうとするのを知ると矢庭にバラリと着てゐた印入りの法被を脱ぎ捨て、下帶一つの素裸となり、山車を動かすに用ゐるテコ代りの丸太棒を握ると、突如に行列の前へ躍り出し

「野郎ッ!これでも喰らへッ!」

先に立つ徒歩の向ふ脛を打つ拂つた。

「それッ!狼藉者ぢゃ!」と、急に先供が崩れてみえた。

大連棋院臨時稽古碁戰

三段 伊藤甲子女史 六子 大淵貞吉氏 【4】

○六一リの十六 ●六二トの十七
○六五ホの十七 ●六六リの十八
○六九ヌの十七 ●七〇ホの十八
○七三カの十八 ●七四トの十四
○七七への十六 ●七八ホの十五
○六三への十七 ●六四への十八
○六七ヌの十八 ●六八ルの十六
○七一ニの十七 ●七二チの十八
○七五トの十三 ●七六への十四
○七九トの十二 ●八〇トの十

當り狂言揃ひで 益々好評の河部
極付國定忠次四場と 修羅王七場が呼び物

連日好評裡に盛況を呈してゐる劍戟王河部五郎は一座の當り狂言のみを揃へて昨日より二の替り狂言を演じ好劇家及び映畫ファンを唸らしてゐるが、第一の天保長脇差は山本禮三郎の演し物で三浦屋孫次郎に扮し笹川繁藏には中里一で氣持のいゝ三尺物で如何にも芝居らしく、修羅王は映畫でお馴染だけに適り役の河部の龍次郎は各幕毎に熱演して觀衆を唸らせ早細の重吉には朝日一郎が扮し藝妓千代香は宇治龍子が勤め山縣治左衛門は石原龍之介、小梅の從五郎には山本禮三郎が活氣のある舞臺を見せ大喝采を博した、また行友李風の名戲曲國定忠次はいつ見ても面白い狂言で先づ赤城の場で河部の國定忠次が型通りに力演して一座の意氣がぴつたりと合ひ近來にない緊張した舞臺を見せ朝日一郎の日光の圓藏、香山柳蛙の川田屋惣次、山本禮三郎の板割淺太郎はいづれも適役でイタにつき庚申塚の場があつて山形屋となり忠次が世話がかつた芝居から溜飲が下る啖呵を切り、石原龍之介の山形屋藤藏の顔もきいて赤城に次ぐ見せ場で大喝采を博し小松原を大詰として好評裡に終つたが「修羅王」と「國定忠次」は今夜限りで明日より三の替り狂言として「地雷火組」十二場を上演すると【寫眞は河部五郎の國定忠次】

◇原田甲斐◇ 村上浪六の原作から右太プロの白井戰太郎監督が映畫化したもので全八卷に亘り、市川右太衛門、以下高堂國典、鈴木澄子が熱演してゐる(二十一日より帝國館上映)

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券
この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引
十人以上は特別團體割引
主催 滿洲日報社

マキノ河合を 演藝館上映 入場料は廿錢

寶館が帝キネ作品を上映することゝなり演藝館は帝キネと解約しその後の興行方針が注目されてゐたが目下取敢ずマキノ映畫「影法師」を再上映し準備を進めつゝあつたところ、この程河合映畫及びマキノとの契約が成立したので來る廿八、九日の二日間休館して館内を一部改造して新裝を凝らして來る卅日より河合映畫を封切して華々しく更生の第一歩を踏み出すことになつた、今後は一週三日替りにて河合とマキノを交互上映し入場料は二十錢の大衆的料金を以て終始する計畫で近く聲明書を發表する筈である、また一方寶館にては開館の準備が整ひ第一回帝キネ作品は「江戸城總攻め」に「友愛結婚」であると

噂話

寶館で問題になつた河合映畫の「唐人お吉」は演藝館が河合映畫第二週目に上映するかと思へば▲演藝館で宣傳した帝キネの「友愛結婚」を寶館が更生第一週に上映▲これで仲良くどちらもうみつこなしといふことになる▲奥に歸つて納まつてゐた筈の解説者喜多流一郎がまたひよつこり歸つて來た▲大日活から河部五郎におくつた花環を見てお客「河部の映畫で儲けた味が忘れられまいなア」▲ところで國定忠次の庚申塚の幕が開いて虫の音が聞えるが奥の方で頻りに道具方の金槌の音がするお客「あれは何の虫の音ですか」

ラヂオ

大連 JQAK 七月二十三日

▲自午後三時五十分 野球連絡放送(滿倶對鐵道)
▲自午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲童話(少年鼓手)「ソナタマーザス作四六ノ三」猿山俊一
▲ヴァイオリン(一)アレグログラチオーゾ(二)アンダンテ(三)アレグレット、滿鐵音樂會演奏部員
▲清元(梁)唄多賀羅、立唄東京鬼笑、三味線清元延榮龍、同多波羅夫人
▲地唄(玉の臺)三味線富森大検校、同高木夫人、尺八菅井一童
▲料理獻立
▲天氣豫報

滿洲日報

坊ちゃん 嬢ちゃん 御好みの メタル入り
百菓の王
市内著名菓子店ニ有リ

B—259
貧血 虚弱 病後に
補血強壯增進劑
ブルトーゼ
ブルトーゼは己に消化吸收を經て人體の臟器中に必存する有機性蛋白酸化合物と完全に同一集成でありますから臟器を刺戟し吸收同化され血球の新生機能を著しく増進する効果があり血して良好となし體重を増し栄養に從うて筋力を頑大に致します加佳すこれ即ち本劑が貧血虛弱の根本的快癒に奏効して至身の…改善を營む特殊價値を誇る所以であります
BLUTOSE
大阪道修町二 藤澤友吉商店
▼ブルトーゼとは…用途を異にする…

社說
不景氣に直面して 超黨派的たれ

經濟政策の轉換如何といふことが、依然として緊切なる問題となつてゐる。現內閣內にも、不景氣の深刻し、失業難、生活苦の聲々と押し寄せ來るに對しては、緊縮一點ばりで押し通すことも出來ぬであらうといふに存する。殊に在野黨なる政友會にては「現下の不景氣を世界的不景氣なりとして責任轉嫁に努めてゐるが世界的不景氣は金解禁前よりの事である又銀の暴落も豫期せられた事なるに拘らず之等周圍の事情を顧みず最惡の時期に於て金解禁を行つたことが我が國の不景氣の第一原因である」と第二、第三と不景氣の原因を列擧して不景氣の責任を政府に歸せんとしてゐる。

◇

併しながら、この不景氣の原因が、果して何處に存するやの議論に關しては、責任の地位にあるものと然らざるものとの間に、相當意見の存するところであり、昔は天變地異さへも當局の責任として改元したりなどしたくらゐのものの今日はたゞ如何の程度のものが不可抗力か、その邊の觀測は、責任の地位にあると然らざるとによつて異るものあるは免れ得ぬところとせねばならぬ。殊に最近の世界經濟事情の如く、變轉の極まりなきものに至つては、結果によつて事前を推測し、政策に對する責任を問はんとするも、少しく過酷の譏なきを得ぬではあるまいか。

◇

かくいへばとて吾人は、全然、現內閣の政策を謳歌せんとするものでもなく、また現實の不景氣に對し、緊縮方針の一點ばりにて無爲無策、それにて政府者の責任を全うし得たりと做すものでは勿論ない。換言すれば吾人は、徒らに責任の所在を問答するの閑時間があるならば、その閑時間を最も有利に、しかも當面の問題に活用せんことを望むものである。今さら誰が、こう不景氣にしたかと爭つて見たところで、それで不景氣が打破され好景氣が見舞つて來るものでないことではないか。それよりも吾人は如何にして現下の不景氣を打開すべきか、若し世界的のゆゑなるを以て不景氣の打開が不可能なりとせば、當面の生活苦失業難を、何とかして打破するの政策を講ずべきではあるまいか。そこには在朝黨もなく、在野黨もなく擧國一致を以て精進すべきことゝ信ずる。

◇

政黨政派としては、主義政策を以て政權の歸着を爭ふものであるから、反對黨の主義政策に對して大に論難檢討することは、決して惡いことではない。併しながら、現下の日本における經濟實情は、過ぎ去つた責任の歸着を云々して現實の窮境を顧みぬやうな餘裕の存する場合ではないと思ふ。こゝは相當急迫しつゝあるものと察せられる。議論の時は既に去り、如何にして經濟國難を救ふかの實際問題に逢着しつゝあるのではあるまいか。良策あらば、政黨政派の如何に拘らず、これを採用して國難を匡救すべきである。政府者は勿論、在野方面にありても、襟懷を擴大にして、刻下當面の窮境を打開すべきではあるまいか。

◇

現下の經濟情勢に直面し、わが政府としては、その緊縮政策、節約方針を以て押し通さねばならぬことは勿論である。若し今日、この政策を轉換するが如きことあらんか、それこそ取り返しのつかぬ結果を將來することを覺悟せねばならぬ。失業難、生活苦、社會の世相は、決して樂觀を許さず、爲政者の心を動かすもの、むしろ甚だ多いことを思はしめる。この間にありて、毅然として從來よりの政策を持續せんとするは、決して容易のことではない。併しながら政策の轉換と緩和とは、必ずしも同一視すべきにあらず、政策に關しては吾人も、濱口首相と同じく斷じて轉換するの危險を思ふものであるが、目前の失業難、生活苦に關しては超黨派的に、これを何とか打開するの擧國一致的の應急策を講ずべきではあるまいか。

けふの臨時閣議で 御諮詢奏請を決定
樞府に審議方を交涉

【東京廿二日發電通】政府は明廿三日臨時閣議を開きロンドン條約御諮詢奏請の手續を執り同時に濱口首相は倉富樞密院議長を訪問し暑中休暇中なるも審議されん事を懇請する筈

率直に諒解を求む
政府の對樞府說明方針

【東京二十二日發電通】政府は別項の如く非公式海軍々事參議官會議において奉答文案を決定したので廿三日の正式參議官會議の可決を見た上直ちに臨時閣議を召集して樞府御諮詢奏請の手續を執る事となつたが樞府に臨むに當つては
一、ロンドン會議の開會事情並びに參加目的
一、條約調印に際し全權に發した政府の回訓事情
一、海軍々事參議官會議の經過並びにその結果
等につき首相外相から率直に曝け出して十分の說明を試み殊に國防上の缺陷補充方法に就いては海相よりその方法計畫を詳細說明し政府は責任を以つて國防の缺陷を補充する事に努力する旨を强調力說してその諒解を求むるに決してゐるから樞府においても種々質問追窮はあるべきも結局は可決せらるゝものと政府側では樂觀してゐる

東鄉案緩和
海軍側に交涉の結果

【東京二十二日發電通】新國防計畫に對する東鄉元帥の主張は既報の如く國防上補充困難と明示するものであつたが二十一日夜五相會議の結果濱口首相より海軍部に一札を入れこれが替りに元帥案の緩和を求め財部海相は二十二日の會議席上熱心に主張した結果遂に會議もこれを認め遂に東鄉案の末項「而してこの缺陷は補充困難」を削除するに決した政府は此結果極度に動搖を來さぬと樂觀してゐる

正式會議議長は東鄉元帥

【東京二十二日發電通】正式軍事參議官會議は二十三日午前十時より宮中東一、二の間で開會御諮詢案「ロンドン條約の兵力量と國防上の關係如何」を審議二十二日第二回軍事參議官非公式會合で一致した奉答案通り決定する筈であるが議長は東鄉元帥が當る事となつてゐる、右會議後東鄉元帥、谷口軍令部長相携へて葉山に伺候陛下に拜謁上奏する筈

海相、閣議に經過報告

【東京廿二日發電通】廿二日の定例閣議は午前十時から開會安達內相より某重大事件巨頭逮捕顚末の報告をなし安達內相、江木鐵相、小泉遞相の各大臣より九州沖繩における暴風雨被害狀況を報告したる後財部海相より軍事參議官非公式協議會は昨日來二日間に亘り開會された結果協議も終了したので谷口軍令部長は本日葉山御用邸に伺候正式軍事參議官會議の召集を奏請する事となつた、自分はこれまで充分の努力を拂ひ圓滿解決を希望したが海軍首腦部が遂に自分が主張を充分諒解されなかつた事は遺憾であるが然し昨日の會議後濱口首相、江木鐵相、幣原外相、安達內相と協議の結果本日協議會の意見は一致を見るに至つた

と昨夜の五相會議の結果遂に政府において多大の讓步を行ひたる顚末を報告した

帷幄の內容は樞府に說明不可
財部海相意中を語る

【東京廿二日發電通】谷口軍令部長は廿二日午後正式軍事參議官會議召集奏請御裁可を仰ぎ歸京し財部海相と會見報告したが右會見後財部海相は語る

ロンドン條約はアメリカも批准したやうだが矢張り反對するものは鮮いやうだ、樞府が參議官會議內容を質問するやうな事は想像もつかない又答辯すべきものでもない憲法の番人たる樞府が帷幄の內容を彼是いふのは憲法干犯となる俺は罷めるとか罷めぬとか色々いはれてゐるが批評はいはして置くさ

海相に同情 谷口軍令部長

今日は正式參議官會議を奏請したこれで俺も一先づ片がついた、財部海相は政府軍部間に有つて隨分苦からう

軍部重要協議

【東京二十二日發電通】參議會々議散會後財部海相は直ちに大臣室に小林次官、堀軍務局長、古賀高級副官等直屬部下を召集し、谷口軍令部長亦部長室に永野次長、及末次次長を報告し正午散會したが散會後濱口、財部、江木、幣原各相は居殘つて條約案御諮詢方針につき協議したが結局正式參議官會議の決定如何に拘らずその終了を待つて奏請の手續きを執る事を申合せた

川第一班長、吉田第二班長、河野第三班長、糟谷副官等を召集してそれぞれ會議の結果を報告し重要協議を行つた

明年の減稅程度
五百萬乃至一千萬圓 七年度より率を引上

【東京二十二日發電通】本年度豫算節約額六千萬圓に止まつた結果只さへ難關と豫想されてゐる明年度豫算編成は更に困難の度を加へ公約の減稅は頗るその實現性を危ぶまるゝに至つた、然しまだ軍縮協定の御諮詢が懸案となつてゐるので政府の減稅に對する方針も決定を見ないが政府當局もこの財政難に當つての減稅實現方法には尠からず頭を惱ましてゐるが井上藏相は明年度の財政難に處する對策として明年度の減稅は暫定的に率を低くして僅少に止め昭和七年度より減稅率を引き上げて恒久的のものとするといふ方針を執る事に肚を極めるに至つた、從つて明年度の減稅は五百萬乃至一千萬圓程度の申譯的のものに過ぎず明後年度より三、四千萬圓の減稅をなす事となる譯である、而して減稅される稅目は軍縮協定御批准後決定さるゝ筈であるが砂糖織物の兩消費稅以上には出でまいと見られてゐる

商工省豫算

【東京二十二日發電通】商工省は二十二日省議を開き明年度豫算編成方針は新規事業を一切認めぬ事に決定したが基礎工業たる製鐵業自動車工業の二つは國際貸借改善の見地から確立の方策を執る事に決した

製鋼所設置場所はどことも定らぬ
滿鐵として更に詳細調査する 仙石總裁記者と問答

【東京特電二十二日發】仙石滿鐵總裁が二十四日多獅島築港に關する專門家の意見を聽取することになつたのは既報の通りであるがこれに關し內地報道機關の中には仙石總裁が昭和製鋼所の鞍山設置を斷念し新義州設置の方針を決定し新に調査を開始せるものだと殆ど斷定的の報道をなしてゐるものが多い、これは同製鋼所の成否が敷地問題と不可分の關係にある點よりして頗る注目すべきであるが此際其間の事情について仙石總裁が果して如何なる意嚮を有してゐるかにつき質すのもあながち無用の業ではないと考へ本社記者は二十二日午後滿鐵東京支社において總裁との間に左の如き問答を交した

記者 總裁は二十六日歸任される豫定か
總裁 そのつもりだが都合に依つては未だどうなるか分らない
記者 昭和製鋼所問題について二十四日港灣土木の權威者を集めて會議を開かれるといふのは事實か
總裁 事實だ
記者 新聞では總裁が鞍山を斷念讓步し新義州設置の方針でその會議を開くかのやうに報じてゐるがこの點如何
總裁 此頃の新聞記事は想像の間違が多い、故に自分は强ひて取消を求めないが、そんな間違つたことなどは相手にしない

記者 ではその眞相はどうであるか
總裁 政府が滿洲の仕事に對し內地と同樣に保護獎勵する方法があるかどうかの回答を求めた、ところが政府からはこれに對する充分の回答がない、つまり政府の肚は未だ充分決つてゐないのだ

そこで滿鐵としてはそれをいつまでも便々と待つてゐるわけには行かないのでこの上はこつちでも更に充分調査した上やるかやらぬか最後の肚を決めやうといふのぢや

記者 すると鞍山を斷念し新義州に設置する方針が決つたといふのではないのか

製鋼所問題の全滿大會はあす
午後七時から大劇で

昭和製鋼所滿洲設置運動の全滿大會準備委員會は二十二日午後一時二十分より大連市役所市議控室で開かれた、出席者は田中委員長、永井助役、恩田市會議長を始め屬託議員、區長等二十名、鞍山からは時に加藤、神田、山崎の三氏が出席傍聽した、劈頭全滿大會開催を可とするや否やについての議論あり、結局開催するに衆議纏まり二十四日午前十時より市役所市會議場で全滿出席者の協議會を開き同日午後七時より大連劇場において全滿大會を開催、宣言決議文を議決、引續き演說會を催し氣勢を揚げるに決定、同三時半閉會したが、尙これが準備委員は左の如し

一、庶務係(接待係、記錄係)恩田、三田、篠崎、立川、若月、寶性、永井、今村、仙波、加世田、笠原、眞鍋、品田
一、講演會係(宣傳係、會場係)大內、中村、桝田、榊谷、松田、武田、立石、葛井、森、高橋、柴田、小田、相川、相生、脇屋
會計係 恩田、松田、近藤、村田、山崎

總裁 未だそこまでは進んでゐない

記者 調査の上充分やれる見込がつかなければ何處でやるといふことは決らぬのか
總裁 二十四日の專門家會議は多獅島を中心とするものではないのか
總裁 それはさうぢや
記者 多獅島築港には三千萬圓以上の經費を要するさうだが
總裁 三千萬要るか五千萬要るかそれはこれから調査せねば判らん
記者 さういふ權威者に實地踏査を委囑するか
總裁 それも充分意見を聽いた上のことぢや
記者 甚だくどいやうだが新義州設置を目標にした多獅島築港を調査するのかどうか その邊をはつきり承はりたい
總裁 この問題に對する政府の回答がないから此方は此方で調査するのぢや、調査が充分出來た上でなければ何事も決定出來ん

も調查する考へか 關東州を

記者 新義州の外に關東州も調査する考へか
總裁 未だそこまで考へは進んでゐない
記者 今後の調査次第か
總裁 さうぢや
記者 要するに政府の肚が未だ決つてゐない、回答を待つてゐられないから此方は此方で調査する調査した上でなければ場所は決らぬ斯う解釋して良いか
總裁 それで良い

記者・傍系會社整理は何時頃やるか

總裁 いま事業調査委員會で調査させてゐるから歸任の上、その報告を聽いて進めることにする

多獅島實地檢分
多分丹羽博士が出張

【安東特電二十二日發】製鋼所問題にて上京中の瀨ノ口、加藤兩委員より二十四日專門家の會同後多分丹羽博士實地檢分となるべしと今朝情報を得た、なほ大體安心の見込たつた故二十三日夜歸途に就く旨の入電があつたので安、義兩市民は熱誠を以つて兩委員を歡迎し、なほ慰勞方法につき寄々協議中である

とする仙石總裁の意見は正當なり速に其の實現を要望すと決議せり何卒閣下の御盡力を仰ぐ

鞍山市民大會陳情

鞍山市民大會は二十二日太田關東長官宛左の如ぎ請願電報を寄せた
滿蒙開發に對する滿鐵の使命に基き昭和製鋼所の建設地を鞍山

羊毛工業改善委員會設置

【東京二十二日發電通】臨時產業合理局は統制委員會を殘すのみで他の全部の事項別委員會設置を終つたので業態別委員會最初のものとして曩に綿絲布工業統制委員會を組織したが今回は更に羊毛工業統制改善に關する羊毛工業改善委員會を設けることゝなり中島久萬吉男を會長とし當業者を委員に任命することゝなつた

在支外人商社の法人格否認問題
(上)—三井洋行上海支店訴訟事件—

三井洋行上海支店の支那人五金買辦たる何耿星なるものが三井に對して數十萬圓の損害を興へたといふので、三井洋行より同人及びその保證人たる洪濱亭を相手どり損害賠償の訴訟を提起してゐたが、該訴訟事件の公判が去る六月十六日上海特別區地方法院に於て判事應時氏係りにて原告代理人岡本辯護士、被告代理人張耀曾辯護士出席の上開廷されるや、開廷劈頭被告代理辯護士たる張耀曾氏は

國民政府より新たに公布したる民法によれば支那に本支店を有する商社はすべて國民政府に登記するにあらざればその法人格を認めざることになつてゐることを理由として

三井洋行は未だ登記手續を完了してゐないから法人格を有するものとは認められず從つて訴訟能力を有せざるものである

と三井洋行の訴訟能力否認の抗辯をなして、一般に大なる衝動を興へた

次いで同月廿八日續開された第二回口頭辯論に於て應判事は被告代理人の陳述を認め、原告側の論駁があつたに拘らず三井洋行に對して法人として支那の法律によつて登記するか自然人として訴訟をやり直すか何れかの方法によるべきことを申渡し、こゝに本問題は支那に本支店を有する外國人經營商社に重大影響を及ぼすものとして各方面から注視されるにいたつた

被告代理人張辯護士が第一回裁判廷に於て爲したる陳述及びその後原告代理人岡本辯護士の爲したる辯駁に對して發表した數種の辯論によると、三井洋行に訴訟能力なしとする論據の中心點は日本人には既に支那に於て領事裁判權なしとすることゝ、よしこれを認めるとしても領事裁判權國人民を原告とし支那人を被告とする訴訟事件に在りては完全に支那の法律によるべきものであるとの純法理論に在るものゝ如くその概要を摘記すれば左の如くである

一、日支通商條約は滿期となりて效力を失ひ而かもこれに代るべき新條約は未だ締結されるにいたらず、日本人の領事裁判權を主張し得る根據は毫も存しない國民政府は民國十七年七月、支那と各國との間に於ける舊條約既に滿期となり新條約の未だ締結されざる期間に適用すべき臨時辦法を公布し、その第四條に在支外國人は支那法律の支配及び支那法院の管轄を受くべきことを規定してゐる、依つて日本人は當然右規定の適用を受くべきものにして、原告は日本人が今日なほ領事裁判權を有することは國民政府の公認するところであるといふけれども事實はこれと反對である、たとへ日支通商條約の效力問題を別とするも領事裁判權は本年より國民政府の命令によりて撤廢されてをり故に領事裁判權は現在支那法廷に在りては云々される問題ではない、今日支那法廷に於ては支那法律の存在あるのみである

二、一步を讓つて日支通商條約をなほ有效なるものと認め日本人になほ領事裁判權ありとするも領事裁判權はたゞ領事裁判權國人民が被告たる場合にのみ適用され、領事裁判權國人民を原告として支那人を被告とする事件は均しく支那の法廷に於て支那の法律によつて處理されねばならぬ、今外國法人が原告であつて、しかも領事裁判權に藉口して支那の法令の適用を受けずとするが如きは、是は領事裁判權の擴大であつて昔日に於てすら無理とせられたところであり今日においては甚だしき無理である、從來支那法院が未登記を理由として外國法人を否認したことがないことは今日なほ未登記の外國法人と認むべき理由とはならぬ、從來外國人を原告とし支那人を被告とする事件は多く上海會審衙門及び臨時法院において取扱ひ而してその外國法人を否認しなかつたのは事實であるしかしながら會審衙門は第一革命後外國側が非法に組織した機關であり、臨時法院は地方官憲と外國領事團とが協定した臨時辦法であつて支那法律上に在りて正當なる地位を有せざるものである、以上の外正式法院が明確に外國法人を承認した例はない、假りに正式法院が外國法人を認めた舊例があつたとしても新民法施行後は之に抵觸する以前の一切の慣例は當然效力を失ふものたるや論を俟たない

三、要するに領事裁判權の有無に論なくまた從前の慣例の如何に論なくすべて現在外國人を原告として上海特別區法院に向つて支那人を訴ふる事件は上海共同租界法院新協定第二條により現在又は將來の支那の法律章程が適用されねばならぬ、而して現行民法總則施行法第十一條により外國法人は法律の規定によるを除く外その成立を認許されぬのであるから三井洋行は支那法律によつて認許を得る以外にその法人たる資格を主張する餘地がない【上海特信】

南北兩軍の勝敗本月末に決せん
津浦隴海の戰機動く

【上海二十一日發電通】南北戰の大詰の幕は愈々迫り津浦線方面には蔣閻各々自ら出馬し督戰中で兩軍の前線は大汶口附近で對峙激戰中であり、隴海線方面は北軍が中央軍の津浦線集中の隙に乘じて二三日前より左右兩翼より得意の夜襲を以つて强襲的前進を續けてゐる模樣で隴海線の正面においても既に李壩集を占領して柳河爭奪に死力を盡してゐるもの〻如くである、斯くて兩軍の事實上の勝敗を決する大會戰は今や漸く展開せられ軍事專門家の觀測では月末までには勝敗の數を知り得べき大變化あるものと見てゐる

北平官邊の活氣
汪氏等の入京により

【北平二十一日發電通】閻錫山氏と長辛店まで同行し同所で閻錫山氏と別れ來平した賈景德、薛篤弼の兩氏は閻、馮兩氏の正式代表として一兩日中奉天に向ひ張學良氏の新政府參加を正式に勸誘し諒解を求むるはずで兩氏の入京に依り北平官邊は俄に活氣を呈し政府組織直前の賑やかさに沸き返つてゐる

中央黨部標札 懷仁堂入口に

【北平二十二日發電通】懷仁堂入口の運誼門に本日より中央黨部の標札が揭げられた

南北兩派に板挾みの奉天派
今後の態度注目さる

【奉天特電二十二日發】張學良氏が遂々乍ら蔣介石氏の任命した陸海空軍副司令の印璽を收受したことは南京派から觀れば中央東北の關係を一步進めたものとして非常な成功であり張學良氏に[illegible]

面目を立

した張群氏も印璽を持歸へる不體裁を免れてることが出來たのである、これで南京派は鬼の首でも取つたやうに東北と中央[illegible]宣傳に利用することであらう、しかし張學良氏としては東北が表面も中央政府の節度に服して居る關係上飽く迄も政府の命令を拒否することの出來ない立場に在り、殊に張群氏が折角持つて來た印璽を受取つて貰はなければ南京には歸れぬと根氣よく頑張つてゐるのに負けて一應お預りして置くといふことになつたのである本來なら陸海空軍副司令(副大元帥)といふ大事な役目を引受けたとになるのだから孫文の寫眞の前で宣誓とか監誓とかと國民黨張りの繁雜な儀式が行はれ天下に就職通電を出すべきであるが儀式好きの張學良氏も今度は一切そんなことはやらないらしい、印璽を受取つたことも發表を嫌つてゐる、判は受取つたが就任はしないといふ變挺な恰好である

南京派は最近益々猛烈に張學良氏に出兵を要求してゐる、副司令に就任した以上總司令蔣介石氏が現在逆軍を討伐してゐるのに協同して反將軍

討伐軍を

進むべきであるといふ論法で責立てゝ來るのである、が出兵は斷然拒絕してゐる、東北內部の狀態から言つても出兵は不可能である、結局副司令官の判を押附けたのは南京派の宣傳の材料になるだけで實際では大した役には立たないらしい、一方北方の擴大會議でも學良氏に政府委員就任受諾を要求してゐる、近頃は承諾しないならこちらにも考へがあると凄い句を並べて來る始末である、各戰線とも一體に優勢であるし、左右兩派の合作も出來、汪兆銘氏も北上の途に在りといふ具合でだん〳〵與論の鶩い北方側は張學良氏に對して何時までも下手にばかりは出てゐない、學良氏としてもこれまでのやうに北方を輕く扱つてゐる譯に行かないことになつた、愈々

北方政府

が出來て景氣よくなれば學良氏もこつそり政府委員就任を受諾することになるかも知れない、右手に南方政府の陸海空軍副司令左手に北方政府の最高委員を同時に握つてどちらを棄てたものかと氣迷ひする時が近い將來に來ないとも限らぬ襲行である

擴大會議の議題內定

【北平二十二日發電通】汪精衛氏が天津上陸後直ちに來平するや否やは疑問とされてゐるが目下の處二十六日迄には擴大會議法定員數に達する見込みであるから本月中に正式會議の開會可能と見られてゐる、尙豫定さるゝ正式會議々題は左の如し
一、擴大會議內部組織
二、王樂平の慰撫
三、黨務整理
四、政治會議の組織

閻氏廿一日濟南入城

【青島廿二日發電通】閻錫山氏は廿一日午後七時十分二個列車に滿載の衛兵三千に護衛されつゝ傅作義氏以下山西軍將領の盛んなる出迎へを受け濟南着今明日中に軍事會議開催の筈

消費組合專務理事 廿一日理事會で選擧

滿鐵消費組合は曩に滿鐵人事異動で理事二十五名中六名缺員となり改選の結果全部補充されたので二十一日午前九時半からこれ等新舊理事の顏合せを兼ねて專務理事選擧の爲め大連本部に臨時理事總會を開催、出席理事は大連及び沿線を合せて廿三名、專務理事選擧の結果市川健吉氏及び山崎元幹氏が候補として當選、兩氏の中總裁の決定に依り一名を定める筈である因に市川健吉氏は現に常務理事なので萬一同氏專務に廻る場合には常務一名缺員となるのでこれが補充のため常務一名の假選擧を行つた結果三宅亮三郎氏及び山崎元幹氏當選した

東鐵の教育費

【ハルビン特電二十二日發】東鐵附屬經營の各學校に對する本年度の豫算總額は二百萬金留と決定した、その內ソウエート子弟の教育費は八十六萬五千四百金留である

滿鐵學務課長 社外にて物色か

滿鐵地方部學務課長は適任者が無いので今尙缺員のまゝ栗野地方課長が兼務してゐるが既に地方部は大森元熊本縣知事が近く滿鐵理事に就任すると決定しをり同氏理事就任と共に地方部長を命ぜられるに內定してゐるので學務課長の人選は氏に一任する意向らしい、氏はその經歷上學務方面には精通してゐるので結局社外から物色するに至るであらうと觀測されてゐる

三浦內務局長

三浦內務局長二十二日夜大連發急行にて水谷地方課長山口同屬帶同滿鐵沿線管內の初度視察に向つたが、水谷地方課長は二十四日局長は二十八日歸任の筈

石本氏送別會

滿鐵上海事務所長に榮轉した前情報課長石本憲治氏の送別會を來る二十五日午後六時半よりヤマトホテルにおいて催されるが會費は三圓當日持參のこと、出席希望者は奉天每日支社(電三八〇一番)へ申込まれたい

鐘紡配當二割八分

【東京廿二日發電通】鐘紡は廿二日午前十時定時株主總會を開き津田新社長が議長席に着き各計算書並びに利益配當案(七分減配の年二割八分)を附議したところ株主中より重役は過般の爭議及び今回の減配に依り會社並びに株主に多大の損害をかけて居り他方には從業員の減給を行ひ又世間には貧窮に泣く者多き現狀において役員賞與金十五萬圓を取るは怪しからぬと反對し一時間餘喧騷を極めたが結局多數を以て原案を承認し十一時二十分閉會した

人民委員長に リトビノフ氏

【モスクワ二十二日發電通】勞農外務人民委員長チチエリン氏はドイツにて病氣療養中の處愈々正式に辭任し委員長代理外務人民委員リトビノフ氏はその後任に任命された

關東廳辭令(十九日付)
任關東廳小學校訓導 石川縣金澤市新竪町尋常小學校訓導 小林幸次

人事

▲岩本秀雄氏(佐賀高校教授講演部長)同校講演部監督田中駿氏等と共に一行八名廿二日二十時三十分着列車にて來連

安東縣子

[illegible]

米國の勞働者に對しデトロイトのフォード工場の勞働者が一日の日給七弗也を如何に消費するか報告して貰ひ度いと言つて來た▲最近その調査も完成し目下ジュネーヴの國際勞働局でこの調査に基き歐洲各國の物價指數を標準に調査研究を進めて居る▲このデトロイト工場の生計調査はフォード工場の從業員百名の家族に就て行はれたものだ一日平均收入七弗、一年の勞働日數二百五十で平均一家族一年の實收入は一千七百十九弗、八十三仙也その內譯は左の通り

項目	一年の經費	割合
食費	五五五弗三三	三割二分三厘
衣服費	二一〇	一割二分二厘
住宅費	三八〇	二割二分六厘
電燈料	一〇三	六分
家具費	八八	五分二厘
諸雜費	三七二	二割一分七厘

商品 後場(出來不申)

錢鈔

定期後場(單位錢) 寄付 高値 安値 大引
期近 [illegible]
出來高 七萬圓

現物後場(單位錢) 銀對金 銀對洋 金對洋
一時半 [illegible]
二時半 [illegible]
出來高(銀對金)七千圓 (銀對洋)三千圓

神戶帳尾(廿一日)
[illegible]

大阪株式
大豆現物、先物、豆粕現物、先物、滿洲小麥、豆油現物 [illegible]

銘柄 前場寄 後場引
大新 [illegible]
大紡 [illegible]
鐘紡 [illegible]
東新 [illegible]
日魯 [illegible]
郵船 [illegible]

東京株式(長期)
銘柄 前場寄 後場引
株新 [illegible]
東新 [illegible]
五品 [illegible]

橫濱生糸
限月 前場寄 後場引
豆信 當限 不申 不申
豆先 [illegible]

大阪期米
限月 前場寄 後場引
七月 [illegible]
八月 [illegible]
九月 [illegible]
十月 [illegible]
十一月 [illegible]
十二月 [illegible]

神戶期米
限月 前場寄 後場引
七月 [illegible]
八月 [illegible]
九月 [illegible]

東京期米
限月 前場寄 後場引
七月 [illegible]
八月 [illegible]
九月 [illegible]

避暑地どころか 馬賊の巢だ

『吸血蟲も馬鹿に多い』

◇—興安嶺の此ごろ

山野一面敷つめた毛氈のやうな野生花の滿開してゐる興安嶺—避暑地として東支沿線西部線では最上だと想はれてゐたが、林區を視察し六十日餘の天幕生活をした某氏は十八日來哈し語る

避暑地 どころか天幕生活をしてゐると虻、蚊、ぶとの密集部隊に襲撃され洋服、ワイ襯衣を通して刺す虻は馬についたら最後容易に離れない、ぶら下つた儘血を吸ふので馬は神經をいら立せ人間を嚙む、ストーブの煙突を嚙むと云つた風で夜營には蚊遣火を焚いて防戰するが到底駄目、白晝は直射百十度內外に上るのだから山中の生活も樂ではない、其れに

露支蒙 の聯合馬賊か頻りに出沒し兩三日前自分の天幕附近を通過し何處かへ行つた約數十名の一隊もゐたが、山林の番人を襲ひ數名慘殺したのでコロン兵が追擊した處四名の戰死者を出し退却した、彼等は約二百名ばかりの徒黨で現在は數十名に分れてゐるらしい、其の編成と內容性質は想像だけで少しも判らぬが—單なる掠奪を目的とする者ばかりではないのだらう、地方人は東鐵を解雇された支那國籍を有するロシヤ人が支那の保護を受けることができず遂に馬賊となり其の恨みを復讐せんとするのでは無からうかと云つてゐる、其れが證據に支那人とみれば直に射殺する、然し其性質は白系であるか、赤系のパルチザンであるかは判らない、或者は赤だとも云ふてゐた、彼等は山間に生活し

各地に 出沒してゐるが、コロンバイル青年黨の赤化運動の尖端を行く一團であるかどうか、多少其の色彩を有してゐるかも知れない、支那官兵は討伐に向ふ勇氣はないから一朝東鐵西部線に問題が發生すれば直にコロンバイルに青年黨の獨立運動は活動を開始するのだらう、コロンバイルに靑年黨の獨立運動は決した終熄したものはないことを銘記して置く必要がある ◇

今やコロンバイルは支那中原の政變を機會に外蒙との連絡に積極的畫策をしつゝあることは事實である【ハルビン特信】

黄色紙を嚴禁

愛蘭の取締

アイルランドでは英國から來る新聞中犯罪記事などを澤山掲げてゐる新聞は風教に害があるといふので購讀を禁止してゐるが既に之が取締にあつた新聞は六つに及び發行部數三百萬即ち世界で最大の讀者を有つて居ると誇つて居る英國のニュース・オブ・ザ・ワールド紙も槍玉にあがつて入國罷りならぬとの御法度(ダブリン)

生活苦に喘ぐ白露人

厭世自殺が多い 氣概ある者は馬賊に

世界的失業の洪水が比較的生活基礎の低地にあるハルピンにも流れて來た、經濟界の不況が直接の原因となつてゐることは少いが、白系ロシヤ人の失業は東鐵を解雇されたものが多く、元氣なものは早りの自動車運轉手になるか、土工にでもなつて働くが世界的勞働力の低廉な支那人を相手にしては到底彼等は太刀うちができず、支那官憲側の統計によると現在白系エミグラントの失業者は約二萬に達してゐると云ふ ◇

これは一定の職業にありついてゐない者の數であるが、何とかしてスープとパンを嚙り僅かの露命をつないでゐるに過ぎない、年ごろの娘をもつてゐる者は娘の純潔を夜の惡魔に魅せられた人肉の市—街頭に立つて賣る春によつて家計の一部を助けてゐるドン底生活に喘ぐ悲慘なものもゐる、蒸暑い夜、東鐵の農事試驗場の公園で愛兒に菓子だと僞り毒藥を與へて死出の冥路につれて行つたロシヤ女の鹽藥自殺は何を物語つてゐるだらう、生活の戰ひに疲れ切つたロシヤ人の群が職業救濟所で漸く一日二十錢の食費で暮してゐる光景は「生きてゐるもの」與へられた生命の永續を求めてゐる」慾望に過ぎない。◇

札來諾爾炭礦の閉鎖で三千の支那工人が失職し東鐵の事業縮小と政治的改革で罷免された露人—等々、最近の統計は東鐵を解雇された者のみで約五千名に達したことを報告してゐる。◇

失業受難—一ケ月六十元の傭人一名を採用する廣告に應募したもの百數十名に上つた現實の社會相をいかに見る、露人の厭世自殺は露字紙の三面をにぎはしてゐるが、神經抹消は比較的鈍感である彼等が人生最後のゴールに突進する悲哀は肉體的には生きられないのであるものは失業の都會を捨て興安嶺の山間に走り失業群から編成されたパルチザンの分子となりて林間に出沒し掠奪によつて其の生命を持續するより外はないのであるコロンバイルのパルチザン中には斯うした失業者の選ぶべき職業が待ち受けてゐる。◇

松花江下流、東鐵各沿線には數十名から成る支那馬賊が增加したハルビン市街には殺人、強盜の數が增しロシヤ人の掏摸が多くなつた、社會の不況に地獄の門、刑務所のみが反對に繁昌してゐる(ハルビン持信)

南アルプス縱走記(二)

東京 大野恭平

◇廣河内の小舍◇

大門澤を降り切つて、夕闇が早くも迫つた、谷間の廣河内の小舍へ着いたのは七時ごろであつた。昨年の八月に樺池の小舍から白根三山を越しこゝへ着いたのも七時頃であつた。もう夏山も終りに近く、青木湯からそれまで三日間の山で、人に週つたのはたゞ二人ぎりであつたが、廣河内の小舍からは煙が洩れて居た。

「誰か來て居るな」當然それは學生か若い元氣な會社員であることを豫想して居た、ところが戸をあけて中へ踏み込むと、焚火の光にうつつて先づ胸まで垂れた長い眞白い鬚が目についた。山羊のやうに小さく瘦せた一人の老人が端然と、山の小舍には似付かはしく無い正座をして居るのだ。四十五六のお供らしい人が慇懃にそれに仕へて居る。恐ろしく言葉が丁寧だ。ほかに人夫が二人、食事の跡片付をして居る。私は、狐につまゝれたやうな氣がした。

だん〳〵話して見ると、老人は本年六十三、山が好きで、これから冥土の土產に(—と言ふのは私の勝手な推測だ)日本第二の高峰白根三山へ登らうと言ふのだ「お元氣ですなあ」私は心から驚嘆の辭をさゝげた。あとで聞くと老人は製糸會社としては日本でも有數な京都の郡是製糸の社長川合信水翁であつた。南アルプスへは、自分の持山だと言ふので赤石方面へ大倉翁が風呂桶をかつがせて登つた例、また商賣柄の關係で水電界の巨頭桜永安左衛門君がベッドをかつがせて白根へ登つた例もあるが、いづれも三四十人の人夫を引連れてか、引連れられてか登つたのだ。川合翁は何の用意も無しに、鍋や毛布なども西山溫泉から借りて來たらしい模樣であつた。私達の一日行程のところを四日費したとしても、その元氣には何人も驚嘆を禁じ得まい。

◇老人と若い者◇

それは昨年の懷ひ出であるが、小舍で備付の登山名簿を見ると、私達より五日ほど前、南アルプス夏山のトップを切つて山の模樣を觀察に人夫二人を連れて登つた甲斐山岳會の人の書いたものがある。それに「今多の遭難者の遺留品であるワイシャツが小舍に殘つて居たので燒き捨た」と言ふ意味の事が書いてある。今多の遭難者とは言へば一月に白根へスキー登山をして北岳から御池への下りで墜落した三人組の學生のことを指すのであらう。

草すべりと呼ぶ北岳からの下りは大門澤とは違つた意味で難所の一つだ。正面の高嶺あたりから見る、殆ど直立して居るやうな急傾斜、勇敢に眞直につけた徑だ、木の根や岩角が有つてこそよるにも下るにも手がゝり足がゝりが有るが、この下りは草ばかりで、さうして傾斜が急だから中途で腰を下して休むにも辷りさうで氣味が惡い、それを丈餘の雪が積んでゐる嚴多下らうと言ふのだから、若い人達はあまりに元氣で、あまりに無茶だ。しかし「山は男の度胸だめし」その無茶も若人達の身上で無いとは誰が斷言し得やうぞ。かの老人!この若人達!同胞よ日本民族の元氣を祝福せよ【寫眞は農鳥岳から見た間の岳(右の白い雲出◯】

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず 約聞行數五十行以內のこと

高等科併置無用

憂國生

大連市の某高等女學校に高等科併置の計畫を關東廳で進めてゐると新聞紙は報じてゐるが、時節柄そんな無益な計畫は放棄した方がよいでせう、單に高等科で何等の資格も得られなければ應募者が少ない、そこで學校の維持上無理な勸誘をする、選まれた生徒の家では無益の散財をする、專攻科が出來て資格を與へれば生徒に不足はすまい、そのかはり卒業後の就職にいつて行きつまる、就職難の後援をする結果になる、社會の一部に高等教育を受けた女子の必要なことはわかりきつてゐる、その必要を充たすには同地で養成しただけで澤山です、その高等教育組に入りたいものは散財は覺悟の上だから內地までやるべしです

教育は軍備擴張のやうなもので相互に競爭しあつたなら際限がない、軍縮會議が必要なら教育制限も必要です、併し常識的にみて高等女學校程度の中學教育は一般的に必要でせう、之は木綿の着物が生活上必要なのと餘りかはりはありません、女子の高等教育は絹の着物のやうなもので無理をしてまでも買ふ必要はないと思ふ、だが絹の着物とみせつけると人情として借金しても買ひたくなる、高等教育機關が出來ると、女學校だけで滿足出來る者も滿足出來なくなつてつい無理してまでも入學するようになる、つまり貧乏者に絹の着物をかざして誘惑することになる不必要な高等知識を得、看板を金ピカにするために多大の散財をすることになる、それよりは早く社會に出して、それ〲實生活に活動せしめる方がよい、個人の上からも國家的にみても。

探偵小說 女妖(148)

江戸川亂步作 横溝正史 伊藤幾久造畫

疑問の家(二)

意外、意外、千家篤麿の話はあまりに意外に過ぎるやうである。木澤由良子が果してそんな惡魔なのだらうか。あの虫も殺さぬ、おとなしやかな顏をしてゐる木澤由良子が、春日龍三殺しの犯人であり、そして又お利枝婆さん殺しの犯人であらうとは……

「君はまだよくあの女を知らないのだ。然し僕は或理由から、あの女の體內に秘められてゐる恐ろしい毒の樣な性格をすつかり見破つて了つたのだ。俺があのシャトワール村の河內莊へ出かけた時の事だ。同じ列車で、俺の外に二人シャトワール村へ行つた者がある。その一人は君も知つての通りの綾小路瀧子であり、そしてもう一人といふのは、二十四五の若い美しい青年だつた。この青年は俺や瀧子をまんまと出拔いて、河內家の戸籍謄本の中から、一部分を拔取つたばかりか、肝腎の證人お利枝婆さんを殺して了つた。

お利枝婆さんが此時何と言つたと思ふ『娘だ—俺の娘がやつて來て殺したのだ』と言つたといふぢやないか。お利枝婆さんの娘—それは君も知つての通り春巢街の被害者だ。お利枝婆さんは自分を殺した犯人をその女と見間違つたのだ。然しその娘といふのは春巢街で誰かに殺されて了つた事は君も知つての通りである。では臨終のお利枝婆さんが娘と間違つたのは果して誰か—それはいふ迄もなく木澤由良子の他にない。あの女は春巢街で殺された女の實の娘だから似てゐるのは偶然ではない。お利枝婆さんは孫を娘と見違つたのさ。

千家篤麿の言ふところは成程一々眞實をうがつてゐるものである。然しそれが眞實とすれば餘りにも奇怪、あまりにも怖ろしい。あの女が—大場は頭をかし〲と搔きながら當惑した樣に顏をしかめる。

「君はまだ僕の言ふ事を本當に思はない樣だね。然しこれは斷然事實なのだ斷じて運ひない事實なのだ。

これで一番馬鹿を見てゐるのは綾小路瀧子さ。あの女は何も知らないで木澤由良子を心から信用してゐる。由良子が表面では涙を湛へ乍ら、影へ廻つては恐ろしい惡企みをしてゐる事など、てんで知らないのだから馬鹿なものさ。

聞けば最近、綾小路瀧子は馬車の轢事から大怪我をしたといふぢやないか。あれとても、多分木澤由良子の所業に違ひないのだが、瀧子の方では全く御存知ないのだからあの女もあれでお人好しさ。第一シャトワール村のあの事件でも由良子の正體が多少分りさうなものだけれど、それでもまだ欺されてゐるんだからね。由良子はお利枝婆さんを殺すと、もう一人邪魔になる小夏をも殺さうと思つた。で例の男の變裝で小夏を引つ張り出して、河內莊へ連れこんだのだけれど、危いところで追ひつめられた。そこで仕方なしに、變裝をといて元の由良子の樣な振りをして出て來たのさ。

そこであの女が何んと言つて誤魔化したか—多分この千家篤麿の爲に、長い間あの河內莊へ幽閉されてゐたのだとでも言つたのだらう。所がお氣の毒な事には、千家篤麿と來たら全く何も知らないのだからね。成程砂村の別莊へ一度は連れこんだ。然しまんまと逃げられた上に、今では却つてあいつの爲に煮え湯を飲まされてゐるやうな始末さ。いや、何しろ慘めな話よ。實際女がかうと思ひついたら、到底我々の思ひもよらぬ事を仕出かすからね。一種の氣違ひ—さうだ、あの女は一種の氣違ひだ。世の中に又、氣違ひ程恐ろしいものはないからね」

千家篤麿はさう言ひ乍ら、葉卷を不味さうにポイと床の上へ投出すと、荒々しく床の上を步き出した。

入口變更 伊勢町側鈴木吳服店隣から御はいり下さい ライト寫眞館 電三六八八番

家庭欄

日本式とヘボン式 孰れのローマ字が文法的に正しいか (下)

鬼頭禮三 中村貞一

で、文字以外に音聲記號の嚴存する事を省みざる暴論にすぎない。如何なる文字も音聲學的正確さに於て發音をうつし出す事を得ない。文字は謙遜に國語の音系をあらはすを以て甘んずべきである

かゝるヘボン式が萬一過って日本に強行せらるゝが如きことあらば、直ちにその綴り方はトルコに於けるが如き「小改正」の必要を生ずるにとゞまらず、その根底をも覆へすべき根本的大變革を要求するの聲が大衆の間に勃然として起るであらう

かくて 再三綴り方の改正をほどこすのやむなきに至り、ために民衆をして大なる犧牲を拂はしむること或はトルコに於けるより甚だしきものあるを恐る。かゝる愚を避けるためには、頭初より斷然新派を採用するの外なき事明白といふべきである。

舊派論者は或は新式綴方を以て「劃一的」の名の下にけなし……現代音聲學の進歩は「一フォニーム一文字」の原則を以て新派綴方を支持するの事實を忘却せる非科學的見解……

く如何なる折衷式もこの點より見て日本式を凌ぐ事は絶對的に不可能である。

我々は 自らの省察と體驗とによって新派綴り方を徹底的に擁護し、近代科學と民衆の支持を得つゝ正々堂々これを世に問ひつゝある。理論的に沒落し、實際的に地盤を喪失しつゝある舊派は、一に「策動」により財力にすがらんとするも、之れ苟くも國語國字を論ずる者の採るべき態度ではない。如何なる專制權力を以てするも、言語が言語として正常なる表現を要求することを妨け得ようか。文部當局は來るべき、綴り方統一に際し殷鑑は近くトルコに在り。必ずやこの間の事情を洞察し、トルコに於ける如き、綴り方を改定するの煩雜と不經濟を省くため、吾等と同一の結論に達せられるであらう事を信じて疑はないものである

童謠 雨ばれの原

北村しげる

雨ばれの
青い
原つぱ

たくさん羊が
草を
喰べながら
ニーヤンに
追はれて行く

羊は
もうお家に
歸つてゐるのでせう

西のお空は
まつかにやけてゐる
あしたは
きつとお天氣です

――七、二〇――

海へ……海へ…… 各校の聚落で どこの海岸も大入り滿員

夏だ、夏だ、そして各學校の聚落生活のシーズンが來た、市内兩女學校は本年に於ける海濱生活のトップを切つて今月の初めから夏家河子海岸で勇躍を續けてゐる、小學校も早いのは

一日頃から 初めてゐるのもあるがたいていは夏季休暇を待つて今月の二十六日頃から始めるのが多い、目的はいづれも體育の向上、健康の增進等々、恵まれた夏の日を原始に還元して眞黒な大自然の子とならうといふのである、各學校の海濱聚落を海岸別に見ると何と言つても最も人氣の集るのは星ケ浦と夏家河子で

星ケ浦には 温泉ホテルに早くから陣取つてゐる沿線の兒童を始めとし、伏見臺、南山麓、沙河口、大正、下藤が軒をならべて二十六日から開始、少し離れた黑石礁海浴場には、例年の如く聖德が二十五日から始める、朝日は少し遠いが黑石礁の海岸を獨占して十日に始め八月の二日まで續ける家河子は例によつて素晴らしい家族だ、こゝには早くから始めてゐる

神步、 羅生 の兩高女に本欄が小學校側の先鞭をつけて四日から始め常盤、大廣場、松、周水などが相前後して二十五日から開始する、春日は例年通り靜ケ浦、嶺前は浮世離れた貔甲に海の空氣を滿喫し、早苗は老虎灘、小平島、傅家庄と各地の岸を移動しながら變化のある海生活を營まうといふ計畫、柳樹小學校は

同地の海岸 で七月一日から始めてゐるが二十四日で切り上げ、それと入れ代りに大連彌生高女の聚落組が、廿七日から對岸の柳樹屯へ乘り込む、中學の方は兩校とも海濱聚落はやらないがキャンプ組の一團があつて、二中は二十五日から柳樹屯陸軍病院前にキャンプを營み大雨が降れば病院内に逃げ込まうと中々ぬけ目がない一中は

老鐵山まで 出かけ其の山麓にテントを張り二班に分れてキャンプ生活を樂しまうといふ計畫、關東廳盲啞學校も約二週間の豫定で星ケ浦の海岸に可憐な兒童の聚落を始めるさうである、小學校の聚落中で最も參加兒童の多いのは朝日の六百九十八人を筆頭に大廣場が四百八十名といふ中々の大世帶、先生の骨折も容易でない

僕の奥さん?

次郎

紳士遠藤さんは汽車が周沙河口間を走る時次のやうな話をした。

「僕達は三年前に結婚した、僕は結婚した翌日西洋へ發つて今まであちらにゐたが、僕は合ひも結婚式もしたのだが、きまりが惡くて相手の顏をよく見なかつたのと、それから三年經つたのですつかり妻の顏を忘れてしまつた、この敦子もさうであつたらしい。けふ迎ひに來ると云ふ電報を受けとつたので、度々ご覽の通りの失敗をやつた譯です」

「わたしも失禮しましたわ、トン吉さんの傍にエンドウと書いたトランクがあつたものですから」

と夫人もつけ加へた。

……完……

キャンプの仕方 キャンプと健康 (5)

大連少年團主事 阿左見福馬

仲よく食べよ

空 氣の澄みきつた山奥で或は浪と枕の海濱で、土を掘つたり、木を伐つたり、山を駈つたりすれば大抵の我儘者でも、食物の好き嫌ひを云ふ者でも麥飯に澤庵で結構である「始めて飯の味を知つた」と云ふのもあれば「俺は之で八杯だ」などと云ふ豪傑もゐるから氣一杯の青少年の事であるから時に取つての食べ過ぎも免じてやるとして、又一面には共同生活として他人の食べる物は何でも食つて見る、食物の好き嫌ひを言はぬ様訓練したい。

特 に滿洲に育つて美食に飽きてゐる少年達には「働けば何でも旨く食べられる」と云ふ事を體驗させたい。之と同時にこの場合食事に對する禮儀作法も型にならぬ程度で導きたい。修養團の食事法なども一のよい參考である、こゝでも一つ大切なことは仲よく食べると云ふ事である。言葉は平凡だが行ふは難い。ともすると當番に作つて貰つてお先に失敬したり食べる事が仕事だといふやうにセカ／＼したり

大 きな旨さうのものから選りぬいたりして動物的本能を發揮するものである。私が入所してゐた英國のギルウエル訓練所（世界ボーイスカウト本部）では班員の一人でも缺けてゐると、乾度當番が呼歩いて集めて來た。然もお互の名前が至極親みのあるニックネームで自分の幼名で呼んだり、好きな友達から其國の姓をつけて貰ふのである。私の仲よしの一英人教師にアンダーウッドと云ふ人

『少年少女の夕』 青い鳥夢の國兩子供會の主催で

來る七月二十五日（金曜日）午後七時より敷島町青年會館に於て青い鳥子供會夢の國子供會合同主催の第一回「少年少女の夕」が次のやうなプログラムで催される會費は大小人共十錢であると

第一部

一、はじまりのことば（密先生）
二、童謠舞踊（夢の國子供會）（イ）山家の祭（阿部德子）（ロ）居眠り地藏さん（大橋シヅ江）（ハ）夢買い（吉野ノブ子）（ニ）とうせんぼ（並川トシ子、鈴木ヤス子、打木チエ子、手島トヨ子、本田ミツ子、唐澤エツ子、男子部角笛組）三、おもちやの台臭（髙田郁二先生）四、童話

第二部

一、獨唱（松田房子）二、童謠舞踊（青い鳥子供會）（イ）どんぐり（古賀芳子）（ロ）露西亞町波止場（岩崎歌子）（ハ）ほう／＼螢（渡邊フミ子）三、童話（道家秀雄先生）四、童謠舞踊（青い鳥子供會）（イ）犬のお芝居（植松和子）（ロ）竹屋の由兵衛（種田靜子）（ハ）ぼうふら踊（古賀芳子、渡邊フミ子、川上チエ子、川末チエ子、高橋チエ子）

第三部

一、映畫（イ）寶寫（ロ）漫畫二、おわかれのことば

日 本名で何と呼ぶかと云ふから「森下」がよいだらう、とつけてやつたら二週間も皆が「森下」で呼びならした。處が此の森下君また大の香氣屋で、食事を忘れて泳いだり、小屋造をやつてゐる。そこで森の彼方此方を「森下々々」と呼んで來て、白も黑も、黃もニコ／＼として平和の食卓を圍んだものであつた。

公開狀 下宿料が餘りに高過ぎる

公憤生

◇

不景氣の颶風一度人間界を荒せば根のない人間は一たまりもなく失業と言ふ世界へ吹きとばされて行く、彼等は完全に失業者といふ生地ごくの苦みを受け人にして人に非ざるあさましい姿と變つて行くのだ。漸くにして失業の世界を逃れて人間らしい人間にならうとした時彼等の內、家なきもの身寄りなき者の前には又恐ろしい下宿地ゴクが待ち構へてゐる

◇

長い間資本家の私慾の犧牲となつてゐた彼等が漸くパンにありついた時又もや下宿の責苦を受けるとは實に人間界は苦みの泉ではある、內地より遠大の希望と第一線にたつて民族的闘手と自惚て來た若い青年或は家運再興の一念かたく妻子と血の涙で別れて來た中年者の前に待つものは就職難と下宿屋難である

私は職にありつき乍ら生活苦になげく人をどれ位目擊したか、彼岸の內地には年老た兩親が彼からの送金を一日千秋の思ひで待つてゐる、或は乳にうえたみどり子が榮養不良の聲をあげて乳を求めて泣く、母は夫からの送金を鶴首して待つてゐる、然しその息子、その父は大連まで來て就職した幸便を內地まで知らせながら何故送金出來ないのか、そこに下宿屋といふ中間搾取階級が彼等の血と涙の金を容赦もなく搾取してゐる事に氣づかねばならぬ

◇

今大連の下宿料を調べて見ると（一ヶ月三食として）

八疊一間一人……卅五圓乃至四十圓
八疊一間二人……二十七圓乃至三十二圓
六疊一間二人……二十五圓乃至二十八圓
六疊一間一人……三十圓乃至三十五圓

そこで一ヶ月三食の實費といふと計算に依れば五人の下宿人ありとして食料八圓、六疊六圓、雜費一圓計十五圓、一ヶ月十五圓で六疊に一人住むで猶且二圓或は三圓の利益はある、然らば最も經濟なる下宿料は一ヶ月

六疊一人……二十一圓
六疊二人……十八圓
八疊一人……二十三圓
八疊二人……十九圓

でよいと思ふ右の通りにして猶且一ヶ月五十圓の純利益のあることは確實である

◇

然るに現在に於ては一人より十五圓或はそれ以上の不當利得を得てなほ不親切極まるのが現在の大連に於ける下宿屋の赤裸々なる姿である

◇

一般物價の下落した今日下宿料が物價の高かつた好景氣時代と同樣であることは極めて不合理である、これは家賃などと同樣値下げを斷行して然るべきものと思ふ

器械なしで出來るアイスクリームの作り方

バニラアイスクリーム

◇**材料** 卵五個、砂糖四十匁、ミルク三合、コンスターチ中匙一杯、バニラエッセンス少々、氷五百匁、鹽少々

◇**製法** お鍋に卵黃と砂糖を入れ、よく混ぜ、火からおろしてミルクを入れ、中火に掛けて煮立てます。煮立ちましたらコンスターチを水でといて置いてそろそろ入れます。かうして、別に用意した深い桶に氷を碎いて入れ、冷めた時バニラを五六滴加へて茶筒に入れます。食鹽を一つかみまぜて置きその桶の中央部に茶筒を入れ、まわりへ氷と鹽の混ぜたのをつめ桶、蓋をして、一時間半位置きますとよく固まります。

ピーチクリーム

◇**材料** 桃三個、砂糖五十五匁、コンスターチ中匙一杯、ミルク二合氷、五百匁、鹽少々

◇**製法** 桃は皮と種子をとつて小口にし、砂糖三十匁を加へて煮ます。煮立つて泡が出ましたら掬ひとつて捨て、やわらかに煮えたときおろして裏漉しにかけます一方別にお鍋に卵黃と砂糖二十五匁とミルクとをよくかきまぜながら煮立たせ、煮え立つたらコンスターチを水溶きして入れ、火が通りましたら降して、漉した桃を入れ、よくかきまぜて茶筒に入れ、氷で冷します、そして大部分冷えた時、前と同じ方法で桶の中に仕込みますと一時間半位で出來上ります。

新刊教育兒童書紹介

▲ローマ字の日本（七月號）ローマ字綴方の正しい解決を望む、用語統一問題、その他（五錢東京市本鄕區駒込神明町日本のローマ字社）

九州地方を荒した暴風雨被害しらべ

死者 八二名 行方不明 七五名
負傷 四二五名 住家全潰 七二〇〇戸

【東京二十二日發電通】九州地方暴風雨被害につき内務省警保局の調査せる處に依れば死者八十二名負傷者四百二十五名、行方不明七十五名、住家全潰七千二百九十二棟、住家半潰一萬二千八百五十三棟、非住家全潰九千六百十八棟、非住家半潰七千九百四十三棟、船舶沈没流失破損一千八百三隻、その他家屋全燒十五である、右は今朝十時迄の報告を基礎とするもので尚調査不明の個所あり相當被害は大きい模樣

御内帑金御下賜

【東京廿二日發電通】天皇、皇后兩陛下は九州地方暴風雨の慘狀を聞し召され十八日附を以て左の如く御救恤金御下賜あらせられた
福岡縣一萬三千圓、長崎縣五千圓、鹿兒島縣七千圓、佐賀縣二千五百圓、熊本縣二千圓

11―1

慶應の堅陣に滿倶、齒立たず

降雨の爲コールドゲーム
きのふの第一回戰

慶應大學對滿倶第一回戰は二十二日午後四時十分より滿倶球場にて上原(球)安藤木下(壘)三氏審判の下に滿倶先攻で開始したが八回裏慶應攻擊を開始する頃より降雨あり遂に十一對一で滿倶慘敗す(終戰六時)

滿倶の投手受難

滿倶主戰投手山口は對法政戰直後病を得て滿鐵醫院に入院した、同投手なき滿倶は今日の試合において投手難なることを完全に暴露し遂に練習して居ない兒玉投手の奮起を促さなければならない悲慘な結果になつた同投手の勤務先なる大汽は業務の關係上同選手の試合出場を禁止し居るといふことを聞く、山口病を得、投手難の危機に際し、萬難を排して立つた兒玉投手の心情及びこれを起用した中澤監督の心情を考へる時例へ同投手の起用が不結果に了らうとも滿腔の感謝と同情を捧ふことを惜まない

堂々たる慶應

慶軍この日のメンバーは實に堂々たるものである、勝敗の數は戰前すでに確定的のものであつてたゞ都市對抗出場前の滿倶が奈邊までにこの强チーム慶應を追ひ詰めるかが僅に殘された興味の中心であつた。全回數を通じて僅に五回敵失に依つて出でたる疋田選手が上條選手の犧バントに送られ補逸に還り全回上條高須兩選手の二安打を得たるのみで宮武投手の大膽なる投球振りに全く手も足も出でずその上慶軍五七回無爲を除く外毎回得點して前述の興味の中心も四回を終るときすでに斷念しなければならなかつた

滿倶の内野不振

大橋制球力なく救援投手の戸倉は全く制球力なく兒玉にプレートを讓るまでの總投球四十三球中僅にストライク五球といふ不成績である斯の如き投手不振に内野の不振が附加して大敗を招いた上條遊擊の失二吉野三壘の三は全部得點に關係して居る、芥田高須綠川の外野手の好守に對し鈴田時任上條吉野の内野手の奮起を願ふや切なりである

滿倶萎縮氣味

第一回堀の二盜は鈴田二壘のスタート遲きに寄るものでその後の各走者に二盜を許せるものはこゝに起因をおくものである、第二回山下の一壘左寄り内野單打を疋田一壘横走よくとめたが大橋投手一壘に入ることを忘れて生かし又第六回川瀬三壘寄、村尾二壘寄の時吉野三壘に居らざるに戸倉牽制球を送る而も高投して二走者を還らすなどその他等々滿倶の各ナイン不振は山口投手不出場の精神的打擊も存するが「頸敵慶應」なる先入觀念に全くプレーが萎縮せるの感があつた

慶應の眞劍ぶり

井川、山下、宮武各選手の打法、川瀬、楠見選手等のベース、ランニング各ナインが試合に對する眞劍さ及び緊張さは見逃し能はざる點ではなからうか

試合經過

	一	二	三	四	五	六	七	計
滿倶	0	0	0	0	1	0	0	1
慶應	1	5	2	0	1	2	0	11

▲第一回 滿倶吉野三振綠川の投飛芥田一度彈いて更に一壘に暴投し綠川二進したが芥田の二直で併殺△慶應楠見左飛堀四球に出で二盜し捕手の惡投に一擧三進井川の遊匍野手三壘に投げたがセーフ井川二盜山下四球で一死滿壘宮武中堅深く大犧飛して堀生還井川山下二三進水原三振滿倶一點で喰止む

▲第二回 滿倶片岡右飛疋田上條共に遊飛△慶應川瀬投手足下を拔く單打岡田右飛村尾の三匍野手ファンブルし更に二壘に暴投したゝめ川瀬三進楠見一二間をゴロで拔き川瀬生還村尾一擧三進楠見二盜の時村尾本盜を企て上條高投して楠見生還井川三進堀中犧飛して楠見生還井川投手足下を拔き捕手逸球に一擧三進山下の一匍内野單打となり三進井川も生還宮武四球で山下二進水原二遊間單打して山下生還宮武二進川瀬中飛で漸く止み慶應先づ五點

▲第三回 滿倶高須三振鈴田遊匍後大橋三匍トンネルに出たが吉野遊匍△慶應岡田投匍村尾の三匍野手高投して村尾一擧二進楠見中前單打し村尾三進村尾楠見の重盜成り村尾生還楠見二進其の時捕手のファンブルに楠見素早く三盜し堀の遊匍に生還井川左越三壘打したが山下一匍

▲第四回 滿倶綠川右飛芥田片岡共に投匍△慶應(滿倶大橋退き戸倉投手となる)宮武遊匍失水原一飛川瀬四球で宮武二進岡田二匍の球に川瀬觸れて二死となり村尾の中飛野手前走好捕

▲第五回 滿倶疋田左飛失で二進し上條の二匍に三進投手暴投して疋田生還高須遊擊右に單打したが鈴田三振戸倉右飛△慶應楠見四球堀の中飛野手好捕井川投匍で楠見二進山下四球宮武右中間單打し楠見生還山下三進水原一直

▲第六回 滿倶(慶應塚越投手宮武一壘山下右翼となり堀退く)吉野一匍綠川死球芥田右飛片岡中飛△慶應川瀬四球岡田中飛村尾三遊間單打して川瀬二進し三壘の留守に乘じて川瀬素早く三盜村尾もその間に二盜投手三壘に牽制高投して川瀬村尾生還楠見遊匍堀二飛

▲第七回 滿倶疋田中飛後上條右前テキサス單打したが高須右飛PH井上(鈴田に代る)立つた時上條二盜に死ぬ△慶應(戸倉鈴田吉野退き兒玉投手時任二壘古味三壘となる)井川山下共に三振後宮武右中間直球二壘打し投手暴投に三進したが水原右飛

▲第八回 滿倶時任一匍兒玉左飛古味二匍△慶應(降雨漸く激しくなる)川瀬遊擊右單打し岡田立つたが降雨愈々强く遂に七回にてドロンゲームを宣せらる

(滿倶)

		打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
5	吉野	3	0	0	0	0	1	0	0	0	3
5	古味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	綠川	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
8	芥田	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0
2	片岡	3	0	0	0	0	0	0	3	0	1
3	疋田	3	1	0	0	0	0	0	7	0	0
6	上條	2	0	1	1	0	0	0	0	2	2
7	高須	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0
4	鈴田	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0
4	時任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	大橋	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
1	戸倉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	兒玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	23	1	2	1	0	3	0	21	3	7

(慶應)

		打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8	楠見	4	3	2	0	3	0	1	2	0	0
9	堀	3	1	0	1	1	0	1	3	0	0
1	塚越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	井川	5	1	2	0	2	1	0	0	0	1
39	山下	3	1	1	0	0	1	2	6	0	0
13	宮武	3	0	2	1	0	0	1	2	2	1
5	水原	5	0	1	0	0	1	0	0	0	1
4	川瀬	2	2	1	0	1	0	2	2	1	1
2	岡田	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1
6	村尾	4	3	1	0	1	0	0	4	2	0
	計	33	11	10	2	7	3	7	21	6	5

三壘打―井川 二壘打―宮武 併殺―慶1(川瀬村尾)暴投―兒玉1 死球―塚越1(綠川) 與へし安打―宮武(五回)1塚越(一回)1大橋(三回)7戸倉(三回)2兒玉(一回)1 逸球―岡田1片岡1 時間―一時五十分

けふ

中等野球豫選
午後零時半(實業球場)

慶滿第二回戰
午後四時(滿倶球場)

京鐵陸上競技部 九月上旬に來征

大連アスレチック倶樂部と對抗ゲームを行ふ

朝鮮總督府鐵道局陸上競技部では今夏滿洲遠征の希望あり滿鐵陸上部に種々交渉するところがあつたが愈々來る九月七日大連アスレチック倶樂部と對抗ゲームを行ふことに内定した同對抗ゲームは大正十三年初めて開始され第一回は朝鮮側遠征し來り第二回は大正十五年大連側遠征し兩回とも大連側大勝した

▲種目 (1)八百米(2)棒高跳(3)百十米高障碍(4)走高跳(5)四百米(6)圓盤投(7)百米(8)走巾跳(9)千五百米(10)槍投(11)千米メドレー、リレー
▲採點法 繼走をのぞき一等三點二等二點、三等一點繼走は三等一點
▲出場人員 一種目毎二名宛(たゞし繼走をのぞく)出場回數制限なし

手切金の事は五月まで知らぬ

一度も和解はせない
當の石田ナツエ語る

古賀辯護士の辛辣なる手段は各方面に大なるセンセイションを捲き起し其他の辯護士も寄々協議中で檢察局にても可成り注意を拂つてゐるが、廿二日午前古賀辯護士方より左記の如き取消文を送つて來たので本社では再び各關係者に就いて

嚴密なる 調査をなせるところ各關係者の申立は依然として變らず依頼人石田ナツエは一月廿八日中野(假名)が木原辯護士を通じて古賀氏に手切金として四百圓を手交したる事實は五月迄知らず五月十二日に中野が他の女と結婚した事實を知つてナツエが先方に不信を詰つたところお前には手切金を渡してあるぢやないかと言はれて今更の如く驚いて古賀氏に訊したところ古賀氏は狼狽して三百圓を

調達す るから諦めてくれと言つたことは左記古賀氏送付の取消文の事項と相違する點である右に對して石田ナツエは語る

手切金のことはあの人が結婚した五月十二日迄は知りませんでした、其後私が先方に直接怒つてやりましたところ手切金迄出して證文まで取つてあるぢやないかと言はれ驚いて古賀さんに聞いたところ古賀さんは金は使ひ込んで居られることを知りました、古賀さんは私が信用して頼んだ人ですし私もそれは諦めてぢや先方から

詫證文 を取つてくれと言ひましたら古賀さんもそれを承認しておき乍ら今までそのまゝなのです、相手方と一旦和解したなんて嘘です何も私から古賀さんに金を保管願つた樣なことはありません、第一最初は古賀さんが先方から手切金を取つてゐることさへ知らなかつたのですから又手切承諾書と云ふのは私は全然知りませんし當時訴訟するからと言はれ判を出したところ奥に行つて捺されましたがそれぢやないかと思ひます

本社宛の取消文

古賀辯護士から

拜啓 本七月二十二日附貴紙朝刊に「古賀辯護士が手切金を着服云々」の記事有之候處右記事中事實相違有之候に付左記の如く正誤相成度此段申出候也

第一、手切金を小生着服したるものに無之
第二、右事件は小生石田氏より依頼を受けたる權限に基き相手方と一旦和解したるも、其後石田氏よりの申出に依り相手方より詫狀を取り添へることゝ話纏まり石田氏は直接相手方依頼の辯護士より右詫狀を受取ることに爲り居るも未だ詫狀を入手せざることより石田氏が昂奮したるものに有之
第三、小生は右事件に付今日尚石田氏の代理人として事件に付折衝中にして貴紙記者の方が石田氏を訪問せられたる際の如きは石田氏より小生事務所に直ちに電話を以て善後の相談の爲め面會を求められたるものに有之
第四、小生が手切金を保管するは石田氏の意思に基くものにして石田氏より横領其他の主張をせられたる次第にては無之
第五、當の石田氏は相手方が誠意を以て遺憾の意を表明するなれば此際手切金の如きは取得する意無く若し相手方が返還に應ぜざる場合は世話になりたる一同の慰勞の爲めに全額を投げ出す意嚮なりと迄云はれ居るものに有之候

右の次第に照し小生は石田氏の心情に同情し切角相手方たる中村氏の誠意有る取計ひに依り事件の圓滿なる解決を希望致し居次第に有之候

昭和五年七月二十二日 右 古賀元吉
滿洲日報社御中

示談解決と信じた

相手方の談

なほ相手方の中野(假名)及び木原辯護士は交々次の如く語つた
私の方では一月二十八日に古賀氏を通じて手切金四百圓を出しそして二月に古賀氏から絶緣書を受取りそれには石田の判まで捺してあるので示談解決したものと思つてゐたのです

私鐵疑獄の公判

今秋十一月中旬開廷

【東京二十二日發電通】小川前鐵相を繞る私鐵疑獄事件はその後東京地方裁判所にて記錄整理中の處全部公判部に移され刑事第六部垂水裁判長係りで十一月十一日午前九時開廷と決定した、尙天岡前賞勳局總裁以下の勳章疑獄事件は同じく垂水裁判長係りで私鐵疑獄事件審理終了後これに移る豫定である

訪日イタリー機 要塞地帶を翔ぶ

釜山上空通過の際

【京城廿二日發電通】今朝六時京城を出發した訪日イタリー機フランシス・ロンバルジーは九時半頃釜山上空通過の際天候の加減か故意か指定コースを犯して要塞地帶を飛行した事判明、朝鮮憲兵隊及び遞信局はこれを重大視し直ちに東京憲兵隊に宛て實情調査方を移牒した

訪日伊國機

廣島で燃料補給

【廣島二十二日發電通】今朝京城を發したイタリー訪日機は午後零時半廣島東練兵場着燃料補給の上所澤に向ふが大阪に一應着陸するやも知れぬと

横須賀に到着

【横須賀廿二日發電通】訪日イタリー機は午後七時廿五分横須賀航空隊飛行場に到着した

佐賀高校生の辯論大會

佐賀高等學校講演部員一行七名は同部長岩本秀雅教授に引率され二十二日午後八時半着列車に奧地より來連一行は二十三日午後七時半より市内東公園町滿鐵社員倶樂部において辯論大會を開催すると因に同大會の出演辯士並に演題は左の如し

一、民衆文化への進展 菖蒲正俊
一、インテリは何處へ行く 笹季與
一、毒華に水を 江口俊男
一、欣求の一路を辿る 谷口齊
一、漸進乎飛躍乎 中尾軍太郎
一、凋落乎勃興乎 田中愿
一、家族の變遷 木下文男

煤鐵公司の熔鑛爐一基遂に火を落す

日支從業員の淘汰は免かれず
こゝにも不景氣の嵐

【本溪湖特電二十二日發】不景氣のため煤鐵公司における銑鐵のストックは現在約二萬一千噸にして今後も尙增加を免れざるを見越し遂に廿二日午前二時を期し熔鑛爐一基の火を落し、今後當分一基だけの作業と爲つた、從つて南坟鐵山の採鑛作業も縮小しこれに伴ふ直接日支從事員の稍員淘汰を免れざるべきも、目下の處空氣は平穩である

秩父宮殿下 飛行隊へ御入隊 御西下

【東京二十二日發電通】秩父宮殿下には陸軍大學生として大刀洗飛行第四聯隊に三週間御入隊特別御勤務遊されるため二十二日午後九時四十五分東京驛發列車で妃殿下御同伴御西下あらせられた

夏の草花 ―ベジニア咲く―

十河新理事 今夜東京出發

【東京特電二十二日發】十河新滿鐵理事は二十三日夜九時四十五分東京發、西下し大阪二、三泊、關係事業の用務を處理し二十七日神戸出帆、大連に赴任の筈

カイロに暴動

【カイロ二十一日發電通】今朝當地に暴徒蜂起し商店の硝子戸、電車等を破壞し警官隊は發砲して對抗し死者數名を出した、軍隊は直ちに瓦斯、水道、停車等主要個所の警備の配置に就いた

スエズにも暴動

【カイロ二十二日發電通】スエズにもエジプト獨立運動の暴動起りカイロにある軍隊は警官援助のため急行した

埠頭ビルの危い天井

頻々として落た

昨年の出火以來修繕を加へた埠頭ビルの廊下の天井がボロ〱崩れ落ち甚だ危險視されその都度當局者の注意を促したところであるが廿二日午前十時頃またも階下廊下の天井約一坪程落下し通行中の從業員が危ふくその下敷にならんとしたが、最近の降雨により濕氣を帶びて來たためであると

英佛連絡機墜落 乘客四名慘死す

【チヤタム(英國ケント州)二十一日發】クロイドン、ルトーケ間の英佛連絡旅客輸送に當つてゐる商業乘合飛行機はチヤタム附近に墜落し乘組員二名、乘客四名即死した、慘死者中には英國皇太子殿下の親友エドナム子爵夫人、前北部アイルランド上院議長デュフアリン、アンド、アヴア公、前陸軍次官の息サー・エドワード・ウオード氏等有名な貴族がある

汎太平洋佛教青年大會

【ホノルル二十一日發電通】第一回汎太平洋佛教青年大會は二十一日午前開會、開會式にはハワイ總督ジュツト氏も參列した

内地夏季講習出席者

本夏東京、奈良、廣島各高師その他にて開設の初中等學校夏季講習會に出席す、州内及び滿鐵沿線各學校幼稚園職員は左記二十四氏で何れも八月上旬歸任の豫定

旅順一中生田教諭(東京高師修身公民科)奉天中學阿南講師(同實業及作業)大連一中菅川教諭(同物理、化學)旅順二中新里教諭(廣島高師教育哲學)奉天中學高橋教諭(同上)教專附屬久原訓導(同修身)鞍山小學木村訓導(同上)撫順高女河越教諭(東京女高師裁縫)大連南山麓峯、同沙河口小山、奉天觀島田中、撫順永安豪百地、新旅順乾、大石橋屋葺、鐵嶺皆田、公主嶺峰の各幼稚園保姆(同幼稚園科)長春高女小原教諭(奈良女高師家事)公主嶺大谷訓導(同教育、國語)大連彌生高女今西教諭(同家事)大連商工尾越教諭(東京外語英語)大連商業堀教諭、同商工田中教諭(彦根高商)奉天高女平田教諭(佐賀高校歷史)奉天中學上野教諭(第八高校數學)

國際重役披露宴

國際運輸會社では二十二日午後六時半よりヤマトホテルにおいて專務平田驥一郎氏吉村取締役辭任千秋寛、鈴木取締役就任に伴ふ重役更迭の披露の宴を催したが盛會裡に同九時半散會した

栃内氏寄附金

大連櫻町栃内壬五郎氏は亡母の忌明供養の爲め左記の通り市役所の手を經て寄附した
▲金百圓恩賜基本財産▲金百圓救世軍育兒婦人ホーム▲金百圓大慈園▲金三十圓滿洲託兒所▲三十圓大連敬老會

牧家の不幸

市内龍田町三一大汽社員牧治氏長女朝日小學校二年みさ子さん(八ツ)は廿一日午前十時半病死二十四日午後四時自宅出棺葬中行列を廢し東本願寺にて告別式を行ふ筈

■日活現代劇臺本より■

この母を見よ (七〇)

崎而座同人構成

一寸お待ち下さい！

（此の物語は、あの悲慘な母親の死で終局であつたなら、餘りに讀者諸君の感傷を痛め過ぎるであらう。また、私達も、それ程ミゼラブル、エンドである事を望んではしない。この暗鬱な運命の何所かに「光」を認めたい。御覽なさい！あの母の死の蔭には今病める兒が……その母の死も識らずに……臆面もなく「母」を「愛」を求めて喘いでゐるではないか。私達に、若し許されるならば、少しの作爲を容れて頂きたい――それが、せめて死んで行つた母親への餞別であると思ふのである）

その愛に燃え
その愛に叫び
その愛に狂ひ
その愛に盗む――
そうして遂に愛し得な

とした蔭で呼びかけた。

この子の
母は死にました
かはりに私が
この子の母となりませう
けれど何時
何處で
この子の母と同じ運命
におちるかも知れません
その時は
あなた方が第二、第三の母となつてやつて下さい

――そうだ、欺瞞と無恥と……そんな不實な、無思想な生活なんか今日限りおさらばだ！
――あんな生活に何んの未練があるだらう！

女性よ
母人よ
私達は今一つ
思索を持つ
所詮『愛』のみの母は
生きて行けない――
第二の母
第三の母
第四第五の母となるために
私達は如何なる力を持たねばならぬか
――と

【寫眞は入江たか子、松井潤子、佐久間妙子】

かつた母は　とうく
死にました
だが――

中子は祥子の計らひでG病院の純白な敷布に其の熱ツぽい體を横たへる事が出來た。

今、醫者が出て行つたばかりである。

病室は、蒸々とするスチームの低廉な温度に蒸されて、消毒藥の臭ひが一杯に充滿し殊更に鼻を突いた。

中子は、其の中で昏々と眠り續けてゐた。

祥子は不圖……優子さんが生きてゐたら……又しても、そんな事を考へた。

彼女は中子の枕邊を靜かに離れて、窓から外部を覗いた。

雪だ。

そして朝だ。

昨夜から、まんぢりともしない祥子の頭は暗く重たかつた。

然し彼女の頭腦は、今晴れ晴れと明るいものに滿ちてゐた。彼方へば其れは雨の花園に淡紅色の花を見るやうに……。

祥子は、ふと振り返へつた。

中子の寢臺の周圍に立ち並んでゐる――およねや、そして優子と遊んかつた幾人かの人々に、畑かり

――妾は千呂ではない、今日限り斯んな下らない名前なんか昨日のカレンダーの捨去られる一枚と一緒に丸めて大空へ向つて放り込んで了へ、妾の「新生」よ？

――黎明よ！

――復活よ！

――おゝ、祥子よ、お前は再び妾の許へ歸つて來たのだ。もう私はお前を確かり握つて了つた、死んでもお前を離しはしない！

――妾は……この子の母親だ！

――妾は

この子の第二の母親である。

祥子は、明るい窓外に向つて華やかな微笑を送つた。

――何んといふ幸福な朝だらう。

――さあ！

行から！

「光」の中を……。

祥子は、戰慄に走り寄つて眠つてゐる中子を、じつと抱きしめるのだつた。

（讀者よ！）

私達は今
『光』を認め得る
祥子に救はれた
愛兒中子の上に
そうして――

滿日文藝

滿日柳壇

『夏瘠』

大連　喜一
洋行は印度洋から瘠せ始め
夏やせの赤銅色で避暑歸り
夏やせの指輪の當るふしが出來

遼陽　牽牛子
お化粧に憂身をやつして夏をやせ

大連　農夫
夏やせのこんなに餘る帶となり
夏やせの首に淘汰の風がしみ
領苦勞を夏やせする慣しさ
夏やせの女房ひつからびた胸を出し

旅順　頓狂
夏やせへ三助ちから拔いてすり
申譯して夏やせ計つて見れ
夏やせへ去年の醫者は默日にされ

大連　木の丸
夏瘠のくるく動く眼のくぼみ
夏やせにすらりつと金紗肩がこけ

旅順　亞鳳
獨言いつて夏やせ計つてる
せめてもの夏やせでもと娘いひ

大連　淀月
媒介者夏やせにする口上手

遼陽　花瓢
夏やせを見限つてゐる肉體美
箱入りの螢狩りから瘠せて行き
聞く母へ何にも語らぬ夏瘠し

大連　凡稚
失戀を夏やせにする母の前

旅順　辰雄
落込んだ目から夏やせ先へ知れ
この夏は骨のみ太るかと思ひ

大連　宵々庵
夏やせと知らず熱海で日を送り

泉頭　北斗
縁談の姉は夏瘠せ氣にしてゐ
産み月の夏やせ見るに痛々し
洋行のホームシツクに瘠せる夏

大連　登志子
失業の夏瘠らしい友に會ひ
夏やせの姉へ妹泣いてやり

遼陽　木耳
母親の又苦勞する夏になり
夏やせにやゝ整つた二十の娘

大連　ひさし
夏やせの据へタオルの父が立ち
夏やせの人の團扇の物思ひ

大連　紀三
夏やせの骨いたづらに硬くなり
夏やせをやつて見たいと二十貫

滿洲俳壇 募集規定

次回課題「旱」「籐椅子」

▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記へ投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

夕刊
滿洲日報
七月二十二日
發行所 大連市東公園町卅一番地 滿洲日報社

けさの非公式會議にて 東郷元帥案採用に決定

谷口軍令部長午後葉山に伺候 正式會議開催を奏請

【東京二十二日發電通】第二次非公式軍事參議官會議は二十二日午前八時半より海相官邸に開會伏見大將宮殿下を始め奉り東郷元帥、加藤、岡田兩參議官、財部海相、谷口軍令部長等昨日と同じく參列奉答文案につき協議を行つた結果ロンドン條約に關する奉答文案たる

條約兵力量は國防用兵上缺陷あり、而してこの缺陷は航空機その他の制限外兵器に依つて完全に補充すること至難なり

との所謂東郷元帥案を採用するに決定同十時散會した、依つて谷口軍令部長は本日午後葉山御用邸に伺候し正式參議官會議開催方を奏請し明日にも正式會議を開催することゝなつた

五相重要會議にて 御諮詢奉答案作成

けふの參議會に提示

【東京二十二日發電通】廿一日非公式軍事參議會は意見一致を見ず物別れとなつたので濱口首相は午後七時先づ江木鐵相の訪問を受け會議の模樣を聽取した後午後八時二十五分財部海相、午後九時安達內相、同九時十五分幣原外相をそれ〴〵官邸に招致し今後の善後策につき重要協議を重ね午後十一時散會、財部海相は同會議の苦心作成した御諮詢奉答案を携へて歸邸しその歸邸を待つた海軍當局首腦部會議に報告した、二十二日の參議官會議において海相より右案を提示して東郷元帥の信ずる吐露から硬化した大勢の緩和に努める筈

正式會議は 明二十三日開く

軍令部長より御裁可を仰ぐ

【東京廿二日發電通】谷口軍令部長は午前十一時四十八分東京驛發電車で葉山御用邸に伺候し、天皇陛下に拜謁仰つけられ新國防計畫案の軍事參議官會議御諮詢を奏請御裁可を仰いだ、かくて正式參議官會議は明廿三日宮中で開催されることに決定した

齋藤總督、松田拓相と會見

時局から各方面から注目を引いて入京した齋藤朝鮮總督は十七日午前十時拓務省に松田拓相を訪問し歸京の挨拶をかね朝鮮統治上に關し種々懇談を遂げた【寫眞は會見中の(右)齋藤總督(左)松田拓相】

海軍首腦部の重要協議

【東京二十二日發電】通小林海軍次官は財部海相の旨を受け二十一日午後四時半江木鐵相を訪ひ非公式軍事參議官會議の模樣を報告協議の上午後五時海相官邸に歸來直ちに財部海相は谷口軍令部長、小林次官、山梨前次官、堀軍務局長古賀高級副官を招致し重要協議を凝した

財部海相も 東郷案に贊成

【東京二十二日發電通】本日の非公式參議官會議は財部海相も從來の反對主張を捨て全會一致東郷案に贊成した

海相結局辭任か

東郷案可決の結果

【東京廿二日發電通】軍事參議官會議の奉答はいよ〳〵別項の如く國防補充至難との奉答をなすに決定したゝめ財部海相は條約調印當事者として到底その任に留まるを得ず海相の辭任は單に時機の問題となつた

海相の辭任を 承認せず

【東京二十二日發電通】財部海相は五相會議で軍事參議官會議が國防新計畫を承認せざる場合自己の進退をも考慮せねばならぬと述べ決意を示したが政府は飽く迄その單獨辭任を認めず條約御批准を期して邁進するに決した模樣である

小坂拓務次官 仙石總裁と會見

【東京特電二十一日發】小坂拓務次官は本日午前十時半滿鐵東京支社に仙石滿鐵總裁を訪問し昭和製鋼所問題その他につき要談した

露支正式會議の 前途は樂觀

莫氏密使の歸來談

【ハルビン特電二十二日發】モスクワの露支正式會議から莫全權の密使として歸哈した傅尙岩氏はハルビンの自邸に滯在中であるが、正式會議は既に專門委員會を終り愈々本會議の序幕に入り、大使の交換、國交の恢復、東鐵問題に關しては具體的に解決する見込で前途は樂觀され、莫全權のベルリン行は中止し多分會議終了と同時に歸哈する豫定である、モスクワは暑くなるので代表の衣類、食糧の準備をする必要あり兩三日內に再びモスクワへ向ふ、ヨーロッパロシヤには約八千の支那人が在住してゐるが、昔の五、六萬人に比較して隔世の感がある、今回の正式會議では兩國の居住權問題も解決する筈であるが、全般的露支の國交恢復を意味する通商條約、大使の交換、東鐵問題、松黑航行權その他はいづれも假調印の形式をもつて莫全權は歸哈するものと見られてゐる

威海衛還附拒絕に 支那、排英運動を畫策

國際信義を無視すと憤慨し

【南京廿一日發電通】去る三月十八日南京で正式調印を見た英支威海衛還附條約並びに附屬協定は英支兩國の批准を待ち英國より支那に還附手續を執ることになつてゐたが、英國政府は駐英公使施肇基氏を通じ本日國民政府に對し突如威海衛還附を拒絕する旨の一方的通知を發つて來た、英國側拒絕の理由は支那時局の變化と山東省が北方政府に歸したゝめ英國はその批准を拒絕するに至つたものといはれてゐる、正式調印を濟ませながら英國が國際信義無視の態度に出たるは餘程の決心の結果なるべく右に對し怪しからぬといふので全國的排英運動を起し對抗すべしとの強硬論が起つてゐる、なほ英國の拒絕形式が還附協定の効力發生を無期延期ならしめんとする婉曲なる字句を以て綴られてゐるともいはれてゐる

政府の保護無くも 採算上引合ふか

愈よ第二段の調査に着手した 昭和製鋼所敷地問題

【東京特電二十一日發】昭和製鋼所問題については過般の關係閣僚並びに仙石總裁の會合において遂に最後的解決を見ず散會したのでその後の成行は關係各方面に注目されてゐたが、仙石總裁は同事業に對する

政府側の 意嚮も既に判然としたのでこの上更に關係閣僚との會議を開くことは萬止むを得ざる事情の起らぬ限りその必要無しと認め來る廿六日頃東京發歸任する模樣である、而も一方總裁が來る廿四日午前十時より麻布狸穴の滿鐵社宅において我國港灣、土木關係の權威たる古市公威、直木倫太郎、井上帝大教授、中山秀三郎、丹羽工學博士、中川內務技監等各博士を招致し學術上、技術上その他實際問題に關する意見を徴することになつたのは問題の推移に關聯し頗る注目に値する、即ち去る十四日の關係閣僚と總裁の協議會において仙石總裁は政府側に對し滿洲の事業に對しても內地同樣に保護獎勵の途無きや否やを質し種々意見を交換したるも、政府側は

現行制度 のまゝにて、わが外交上、財政上到底滿鐵の希望に副ひ難い旨力說したので總裁もその間の事情について充分諒解しそれと同時にこの際滿鐵當局としても政府の特殊的保護獎勵を受けずとも採算上充分引合ふ方法無きや否やを改めて研究考慮することゝし政府側より各種の資料廻附方を要求した結果、政府より送達されたるそれらの資料並びに滿鐵側では曩て調査蒐集せる資料に基き愈々第二段の調査を行ふことに決しその第一着手として前記の港灣、土木專門家協議會を開くことになつたのであるが、これについて外間關係者間においては同協議會が新義州多獅島の築港關係を中心議題として行はれる關係上仙石總裁は既に

最善策と して計畫せる鞍山設置案に見切りをつけ次善策として新義州設置案を目標に再調査を開始するに至れるものと觀測してゐる者もあるが問題の成行が果してそこまで進展して來たかどうかは仙石總裁自身の聲明に俟たざる限り輕々にこれを推斷し難い、而して仙石總裁はこの問題の及ぼす影響が國家的には勿論地方的に觀るも頗る重大なものあるに鑑み採算上の諸問題に可及的大事をとるは勿論敷地問題についても更に總ゆる周圍の事情を考慮しつゝあるので世間の一部で想像するが如く些々たる面目問題などには拘泥せず最後的決定に努力せんとする模樣である、殊にこの問題については政府部內においても商工省の如き既に製鐵國策的見地からわが製鐵の自給自足を絕對的必要と認め

事業計畫 の着手を切望してゐるもので、計畫をこのまゝ中止するが如きことはあり得ない模樣で、この點仙石總裁も外間に對しては引合はぬ仕事は止めるとはいつてゐるものゝ愼重に考慮しその實現に總ゆる努力を拂つてゐることはいふまでも無い、而も問題の解決までには屢報の如くなほ愼重審議を要するものがあるから一應歸任の上大平副總裁以下の幹部とも協議して問題の進行を圖ることゝなるだらう

五四對九の多數で 海軍條約を批准

米上院の特別議會で

【ワシントン廿一日發電通】米上院特別議會開會以來論議頗る激しかつたロンドン海軍條約は遂に本日五十四票對九票の大多數を以て批准された、開會以來恰も十五日目で批准反對者の氏名は左の通りである

ビンガム(共和黨)ヘール(同)ジョンソン(同)モーゼス(同)オデイー(同)パイン(同)アーサ、ロビンソン(同)マッケラー(民主黨)ウオールシュ(同)

なほ條約批准が斯く早められたのは折柄の暑氣が大部分その原因をなしてゐるが、而して右批准に伴ひ共和黨のノリス氏の提出せる「米國は將來において條約中に含まれざる秘密文書に依り何等拘束されず」との意味の留保案を可決した

反對論は全部一蹴

直ちにフ大統領に報告

【ワシントン廿一日發電通】米上院においては條約批准に先立ち反對派側では種々の留保又は修正案を提出したが、悉く一蹴された即ち先づ民主黨オールシュ氏は若し他國が願急條項を實施する場合アメリカは全部八吋巡洋艦を建造し得る事との修正案を出したが五十四票對十一票を以つて敗れ次いでマッケラー氏の各調印國が海洋の自由を承認するまで條約の効力を發生せずとの留保案は五十八票對九票を以つて否決、ハイラムジョンソン氏のアメリカの大巡十八隻中最後の三隻の完成時期に關する制限を撤廢すべしとの留保も亦五十七票對三票で否決ビンガム氏の願急條項に依るアメリカの建艦の權利を主張する留保案は五十四票對十票でこれも否決、更にジョンソン氏はアメリカが國際仲裁々判又は國際聯盟に參加する場合本條約を無効とする留保案を提出したが五十八票對八票でこれも否決、斯くて最後にモーゼス氏は西太平洋においてアメリカの要塞築造を禁止せるワシントン條約の條項を廢止せん事を提案したがこれも亦一蹴され斯くてロンドン條約確定するや上院は次の開會日を定めず散會しその旨直ちにフーヴァー大統領に報告された

滿鐵事業費豫算

八月上旬査定に着手

滿鐵の六年度事業費豫算は目下各部において作成中で本月末日までに經理部に提出することゝなつてゐるから八月上旬査定會議を開くことゝならう、竹中氏が經理部長に就任以來每年事業費分捕主義を排する爲め豫じめ大體の當額を內示することゝし本年もこの慣例を踏襲して口頭にて概算を示した模樣であるが六年度事業費豫算の根本方針として新規事業をドシ〳〵起すべきや、それとも極力不急の事業を中止して專ら緊縮方針に依るべきやは仙石總裁の歸任後決定すべきことに六年度豫算は取り敢ず各部共新規事業は取捨伸縮し得るやう作成してゐる、仙石總裁が極力緊縮方針を主張し豫算をきりつめて三千萬圓程度にて足るとすれば滿鐵の收入金にて充分間に合ふが新規事業を起すとすれば社債を募ることゝなる由

柳樹屯駐屯部隊 遼陽に移駐

けふ大房身驛出發

柳樹屯駐屯歩兵第十九旅團司令部及び歩兵第二十聯隊第二大隊(將校以下四百名)は二十二日第十五列車にて大房身出發遼陽へ移駐したので滿鐵からは藤根理事が滿鐵を代表して大房身へ出迎へて見送つた

柳樹屯部隊見送り

神田大連民政署長並に田中大連市長今回遼陽移駐の柳樹屯中村旅團長見送りの爲め廿二日金州往復

大森熊本知事 依願免官決定

【東京二十二日發電通】閣議決定人事

任熊本縣知事 大分縣知事 本山文平
任大分縣知事 警視廳刑事部長 阿部嘉七
依願免本官 熊本縣知事 大森吉五郎

支那には最近 小工業俄に勃興

日本品に壓迫を加ふ 柏田拓大教授語る

別項拓大見學團及び辯論部員を引率して來連せる前代議士柏田教授は語る

滿洲とは極めて馴染が深く昨年も視察に來た、今回は學生見學團を連れて來たがそれは此處で解散するのでそれから自分は單獨で

南北支の 工業を視察したいと思つてゐる、最近支那では家內工業から小工業に進みつゝあつて、その發展は目覺ましいものがあり日本の工業を漸次壓迫して來た、例へば藥品の如き從來は岐阜あたりから支那へ輸出してゐたのだが今年は逆輸入してゐる狀態で岐阜の藥品業はこのため全滅の悲運に遭遇してゐる、生糸の如き從來支那には夏秋蠶などなかつたものであるが最近はそれに着眼し江蘇浙江あたりの蠶業は益々盛になつて來た、又南洋の如き雜貨は從來日本品の獨り舞臺であつたものが最近

支那から の輸出が俄に增加し昨年は三千萬圓にも上る盛況で日本品にとり油斷のならぬ強敵となつて來た、これ等の工業狀態を特に長江沿岸に就て十分に調査したいと思つてゐる、支那には北方政府が近く實現する模樣で今後は二政府の對立となるわけだが、これはどちらも容易に潰されないであらうから當分の間對立した儘で推移するのではないかと思ふ、內地では目下海軍條約問題がやかましいがこれは滯りなく解決するであらうと云ふ話だ

張學良氏は 葫蘆島に滯在

【奉天特電二十二日發】張學良氏は今尙葫蘆島に滯在中であるが豫定の北戴河行きは中止し、今月一杯葫蘆島に滯在することゝなつた理由は、北戴河は天津に近いため閻錫山派の人々の盛んに來訪するであらうことを嫌つてのためと言はれてゐる、尙張群、方本仁、吳鐵城の三氏も目下葫蘆島にあり學良氏と種々交涉中であるが南京派の三氏は一兩日中に歸寧の筈

膠濟開通交涉

【濟南廿一日發電通】西田總領事は本日命令に基き膠濟鐵道開通方を交涉したるに張[illegible]何時でも交涉に應ずるから韓復渠氏に交涉して貰へとのことで西田總領事は韓復渠氏に交涉することゝなつた

汪氏の態度を 外交團注目

【北平二十一日發電通】汪精衞氏門司出發來平の電報に對し北平外交界は豫想外に早いのに驚きの色を示してゐる、汪氏が北上を斷行したのは北方時局に對し相當確信を得た結果なりと解せらるゝが來平後彼が內外政問題に如何なる態度を示すや外交界は何れも深き注意を持つてゐる

仙石總裁

松田、幣原兩相を訪問

【東京特電二十一日發】本日午前十時松田拓相を訪問して歸任挨拶その他昭和製鋼所問題の今後について打合せをなした仙石滿鐵總裁は午後三時外相官邸に幣原外相を訪問し約一時間に亘り懇談して辭去した

大連上京委員 仙石總裁を訪問

【東京特電二十一日發】製鋼所問題大連上京委員小澤太兵衞、石本鏆太郎兩氏は廿一日午前十一時仙石總裁を東京支社に訪問約二十分に亘り懇談した

木村公使は 來る廿五日着哈

【ハルビン特電二十一日發】木村公使は十七日モスクワを發し二十五日來哈、二、三日滯在の豫定である

滿鐵計畫部 分掌內規

滿鐵職制改正に依る新設の計畫部事務分掌內規は部內において作成中であつたが愈々一兩日中に脫稿する由、それに依れば計畫部を業務技術兩課に分け業務課を三係に技術課を十係に分轄すると

社員會幹事長 選擧投票成績

滿鐵社員會の新幹事長改選は二十五日開票の筈であるが二十二日までに評議員四百三十九名中約三百名が既に本部に投票して來た

人事

▲泰助市氏(丁字屋店主) 二十二日旅客上り機にて京城へ

大觀小觀

折角、批准まで濟んだ威海衛の還附、英國から一方的に拒絕し來る。

◇

何が英國をソウさせたか、支那の混沌たる內政にも責任なしといふことは出來ぬ。

◇

昭和製鋼所、常節約、採算第一主義で愼重審議する、敷地の問題の如きは、國家的立場から最善を期すと。

◇

新義州と斷定するも早計、鞍山を斷念するも早きに失する。

◇

技術的に、經濟的に採用の可能を期して最後、最善の斷案に到達するらしい。

◇

汪兆銘氏、いよ〳〵北平に向ふとあつて北方側、大に氣勢を揚げる。それだけ南方には人氣が上らぬ。ただし支那の民衆は依然たる狀態。

天氣豫報

二十三日(南の風)曇一時晴

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七・四	二六・八
旅順	二七・九	二七・二
營口	二五・八	三〇・二
奉天	二六・〇	三〇・八
長春	二六・七	三〇・五

滿潮 午前八時 午後八時五分
干潮 午前零時五十分 午後二時二十五分

あすの開戰を眼前に選手の意氣昂し
けふ正午本社の主將會議にて試合の組合せ決る

朝日新聞社主催全國中等學校優勝野球大會全滿豫選會は本社主催の下に愈々二十三日午後一時から實業球場に於て戰ひの火蓋が切つて落される、各チームともすでに數日前來連し英氣を養ひ覇權目指して意氣天に冲する有樣である、二十二日正午より實業岩網主將大朝支局長代理水田文雄及び本社員立會の上各チーム監督及び主將參集の上抽籤の結果左の如くプログラム決定した

入場式　二十三日零時半

豫備戰　午後一時田中市長始球式
大連商業對安東中學（於實業球場）

準決勝戰　二十四日午後一時
撫順中學對奉天中學（於實業球場）

準決勝戰　二十五日（時間未定）
青島中學對豫備戰勝者（場所未定）

尚外野スタンドは解放されるが內野スタンドは實業滿倶兩後援會員並びに本社招待者のみに入場許可することになつた

各縣下の水害續々と判明す

三百萬圓以上　熊本縣の被害

【熊本二十二日發電通】今回の暴風雨にて熊本縣の蒙れる損害に就き縣保安課にて調査せる二十一日正午迄に判明せるもの死者九、負傷二十六、行方不明五、住家全潰四百三十、半潰四百七十八、非住家全潰七百九十六、半潰四百六十にて家屋損害見積り十八萬四千圓、船舶流失二百五十七隻、電柱倒潰を加へ十六萬一千圓にて其の他農作物の損害を加ゆれば三百萬圓以上の多きに達する見込みである

電信電話被害

【熊本二十二日發電通】熊本遞信局管內被害は電話、電信合せて一萬八千五百二十六回線、三百萬圓又電燈、電力會社被害凡そ二百萬圓の見込みである

天草南海岸

【熊本廿二日發電通】熊本縣天草郡南海岸の被害は住家全潰百九十九、半潰三百八十二、船舶流失破壞二百七十三、損害五十萬八千圓

農作物共に千二百萬圓　佐賀縣の被害

光景慘澹たるものあり

【佐賀二十二日發電通】佐賀縣下の被害情況は二十一日迄に判明せるものは農作物被害を合し一千二百萬圓で主なる被害は死者十二、負傷四十五、行方不明九、學校倒潰十七、半潰十一、住家倒潰八百

七十九、半潰三百七十四

また北寧線　出水不通　白旗堡繞陽間

【奉天特電二十二日發】北寧線の白旗堡繞陽河は昨日來の降雨のため出水し今朝七時から再び不通となつた

全線運轉休止

瀋牛鐵路打通支線では木里圖、衙門營子間、馮家窩舖、彰武間、新立屯、方山鎭間の三ケ所が過般の降雨で十八日より列車の運行不能に陷り目下復舊工事を急いでゐるも開通に至らず、ために同線は殆ど全線の運轉中止狀態であると

顚覆の損害　十萬元　東鐵南部線

【ハルビン特電二十一日發】東支鐵道南部線の列車顚覆はボールト犬釘を拔いたものあり惡意の仕業と判明した損害は十萬元に達すと

コレラ檢疫　上海線入港船に
青島の疑似發生から

阿波共同汽船へ入報のあつた青島の疑似コレラ患者發生の件に關してはその後海務局においてもこのまゝ放置出來ずと關東廳の手より青島へ問合せ中のところ廿二日の返電によれば右疑似コレラ發生は事實で詳細については未だ何等通知を見ないが右により本年度最初のコレラ發生と云ふので海務局檢疫課では俄然緊張し上海青島方面よりの入港船に對しては嚴重檢疫を施行すると

大時化に遭ひ九死に一生
メイン・マストを折られて　靖國丸がやつと入港

一昨日の颱風の渦中に卷込まれキリキリ舞もをさせられた上メインマストを根元よりポツキリ折られて廿日朝神戸濱根商店の靖國丸（三〇二一噸）が九死に一生を得たどくしい姿で辿りついた、同船は浦鹽より松材を六千七十二本山積大連に向つたものだが途中十八日の颱風に遭遇船を續けたもので、九番バースに繫留と共に同船に船長宇野豐吉氏を訪問したが不在の爲德永一等運轉士が代つて語る
丁度對馬の北沖で例の時代に打つかりどうしても拔け切れず卅五米からの風速に飜弄されたもので逆卷く波浪に山積した木材が崩れるやらもみくちやにされ永年の船乘生活であんなひどかつた事はなかつた位で一同必死で低氣壓から拔けやうと焦つたものだ、しかるに同日午前十時頃後部のメインマストが一大音響と共に折斷され甲板が裂けたので愈々斷念しSOSを打電したが既にアンテナが切れどうする事も出來ず全く外界との連絡を斷たれてしまつた樣なわけだつた、幸ひ同日正午頃所機をのがれたが、國際のばすとん丸もSOSを發してゐる樣だつた、本船は舵機を折り五雲海丸を大連で修繕する事になつてゐる

市中の鑵詰が六割も不良
ビールも油斷されぬ　飲食物の檢査始まる

酷暑の候となつて市內に販賣される飲食物も腐敗し易くなるので先般來各警察署に於いても市中飲食店に亙つて調査中のところ六月中旬以內七月中旬迄約一ケ月にわたつて檢査品數四千二百三十七點中不良飲食物の數六百七十九點あり特に鑵詰、ビールの不良物は夥だしきもので鑵詰の如きは六割方不良品である、主なる檢査品數と不良品の數を擧げれば左の如し

	檢査品數	不良品數
鑵詰	七七九	四四六
乳製品	八七	七
洋酒	一四一	二八
ビール	三九四	五三
菓子	二四六	四〇

聖きつみ人

警官も泣いた、先生も泣いた、繼母と義弟を改悟させた純情少年の感激實話、富士八月號の大呼物！

中立地帶で馬賊討伐　支那軍隊が

【奉天特電二十二日發】安東駐屯の支那軍隊では莊河、岫巖地方の中立地帶に最近土匪の橫行甚だしく今回住民の安寧のため討伐隊を同地方に入ることを安東領事館を通じて奉天總領事館に了解を求めて來たので、總領事館にては關東軍司令部及び關東廳と協議の結果承諾をすることゝなり、其旨本日總領事館より安東領事館を通じて回答した、尚支那軍隊の人員は二百名出動期間は三週間以內である

奉天大連間電話線で高周波電話を實現
同時に兩地で三人宛が通話　世界に誇る新施設

自動式電話施設や最近では甘井子埠頭作業の電化施設等々滿鐵では常に世界のあらゆる文化施設、文明の利器を着々取入れてはいつも內地より一歩先にリードしてゐるが、同社では今般又一つこれはまだ全世界でも科學國ドイツの他には餘り見られぬ珍しい高周波搬送電話の施設を實現することゝなつた、この高周波電話といふのは一種のラヂオ裝置で普通の有線電話の電線を借りて高周波の電波を送受し通話するもので、同社では今度鐵道事務の迅速を圖るためとりあへず奉天、大連間四千粁の普通電話三番線に依つて右兩地間の通話を開始しやうといふのであるが實現の上は三種のサイクルに依り同時に兩地各三人宛の通話が出來る筈である尙搬送式電話の特徵は唯普通線を利用するだけであるので經費も尠く、且つ遠隔の地程有效であるといふ點にあり今回も普通有線電話を架す時は奉大間約三十萬圓を要するも搬送式ではその十分の一約三萬圓で充分であると

警備殉難者後援會　規則を可決

南滿洲警備殉難者後援會發起人會は二十二日午前十時より大連市役所議員控室で開催、出席者は永井市長代理、豐田療病院長を始め二十數名、豫て小委員會で起案中の同後援會規則および同審査規程を審議、二、三ケ所修正の上原案可決し同正午閉會した

拓大辯論部　講演會　明晚青年會で

拓殖大學拓殖研究會及び辯論部一行は柏田忠一、石井靜人兩教授に引率され北支滿鮮の視察旁々講演旅行を試み、本月六日東京出發朝鮮を經て北滿地方旅行中であつたが本廿二日十二時三十分着列車で數校友先輩に迎へられて着連した一行は二十三日（水）午後七時半より市內敷島町青年會館にて本社後援の下に左の通り講演會を開催、入場無料、多數の來聽を歡迎する

一、支那の產業革命と極東の經濟　柏田　教授
一、大戰後に於ける歐洲の產業問題　石井　教授
一、太平洋を凝視して　渡邊　毅
一、失業問題私觀　佐々木榮松
一、我國人口問題と拓殖運動　首藤　光義
一、倫敦會議より得たる國民の智能的啓發　平田　義弘

一行は今明兩日は市內を視察翌廿四日は旅順視察に赴き午後七時より同地語學校講堂にて講演會を開催翌日來連して解散各自々由行動をとると尙同窓會大連支部では廿二日午後七時半より一行を電氣遊園內登瀛閣に招待する筈

青島中學軍の猛練習

射擊自慢の中屋巡査が聖德街で狼を射止める

最近大連運動場內中川氏方を襲つた狼はその後聖德街方面に現はれ各所の家畜を荒し廻つて居つたが廿二日午前三時半ごろ聖德街二丁目四八二番地土屋寬氏方へ二頭の大狼が現はれ鷄舍の鷄を喰ひ荒して居るのを家人が發見しこの旨聖德街派出所に屆出でたので沙河口署內切つての射擊の名手中屋巡査は直ちに自慢の拳銃を持つて現場に赴き盛に喰ひ散らしてゐる狼に先づ一發を發射したところ痛手を負つた狼は矢庭に同巡査に飛かゝらんとしたところをを數發をあびせて漸く一頭を射止めたが兵隊に殘り一頭は譚家屯方面に逃走してしまつた、同家では鷄島二羽鷄十羽兎二四を喰ひ殺されて居つた、尙射止めた狼は直ちに燒却することゝした

十種競技の世界新記錄一

【ヘルシングフォールス二十一日發電通】フィンランド選手ヨエルヴアイネンは二十日當地に於て十種競技に總得點八千二百五十五點四七五を獲得して世界新記錄を作つた旨發表された、なほこの記錄は最近フィンランドのパアヴオ・ヨエラの作つた八千百八十七點三〇〇の記錄を破つたものである

結婚ナンセンス
露は尾花を地で行く　支那人が珍らしい僞證の訴

一番地戲院陽戲（二〇）は昭和二年の正月、鄕里山東省萊州府平度縣に於て李萬成の四女小錄子（二一）と結婚した。處がその年の八月數名の馬賊に闖入され衣類數十點、騾馬一頭、大洋四十元と共に愛妻小錄子を拉致された、以來戲は血眼になつて妻の行方を搜査中、大連泰公街八十七番地孫福茂かたに鄒名も翠玲と稱し賣春婦になつてゐるを發見、大いに喜び同樓を追つた處小錄子は人違ひであるとてこれを峻拒し同樓を肯ぜぬ爲め戲から同居請求の民事訴訟を大連地方法院に提起したのであつたが、小錄子は飽くまで人違ひである事を主張自分は小錄子でない玉增の娘で翠玲と云ひ昭和二年正月鄕里山東で結婚はしたが相手は孫傳書と云ひ同樓中夫婦喧嘩の果て無斷家出し來連したものであると抗辯、流石の行山名裁判長も判決の下しやうがなかつたのである、しかし戲は自分と結婚した小錄子に相違ないと主張し同樓中馬賊と稱して闖入し小錄子を拉致したのは玉增等の仕業に相違ない。咽喉部二ケ所に黑子のあるのも臀部に切傷のあるのも同樓八ケ月の結果見覺えがある、翠玲と云ふは僞名で俺の妻の小錄子に間違ひない、人違ひであると云ふは玉增等が小錄子を籠絡し親と僞つて喰物にする詐謀手段であると玉增およびその妻と稱する李氏を相手取り大連檢察局へ僞證の訴へを起したものである。取調べの結果何方に采配が上るか、露は尾花と變たと云ひ、尾花は露と變たと云ふ支那人ならでは見られぬ珍風景である

愛子夫人は愈よ歸朝　廿五日に着哈

【ハルビン特電二十一日發】永井清氏夫人愛子（元高島姓）は十七日モスクワ發、二十五日ハルビンに來着する筈である

利根川で石合戰　群馬埼玉兩縣民

【前橋二十二日發電通】群馬埼玉兩縣境の利根川上流を差挾んだ兩縣村民は本月初めから水爭ひを繰返してゐたが二十一日朝に至り形勢惡化したので群馬、埼玉兩警察で警官總動員警戒に努めたが午後四時頃兩縣村民千三百名は遂に川を挾んで石合戰となり警官の制止も肯かず群馬側は二十三名埼玉側は十數名の負傷者を出した、依つて群馬警察より救護班を出す一方兩縣當局は極力和解に努めた結果双方から五名づゝの調停委員を擧げることゝなつた

森林撮影中の飛行機が墜落

【豐原廿二日發電通】二十一日午後二時樺太西海岸忠內（名好の北四里）奧地四里の地點にて林野撮影中の下志津飛行學校陸軍機五百八號機は機關に故障を生じ墜落した、乘組員はパラシュートに依つて着陸した模樣であるが生死不明である

不時着陸と判明

【豐原二十一日發電通】既報墜落を傳へられた下志津飛行學校の陸軍機五〇八號機は故障のため西栅丹四十四林班に不時着陸し搭乘者並に機體は共に安全なる旨報告が樺太廳に達した

遼寧留日學生　給費改正

【奉天特電二十二日發】遼寧省の官費日本學生は一昨年以來一名に月額日本金六十圓を支給してゐたが現在金價騰貴の爲め一昨年に比し約五萬元の豫算超過となるので教育廳は今回一人につき銀八十元を支給することに改正した尙現在の官費留學生は九十二名であると

大沼教官逝く　一高の名物男

【東京二十二日發電通】四十年間一高の體操教官を勤めた名物男大沼浮藏翁は二十日腦溢血で永眠した、享年七十七歲氏の薰陶を受けた名士顯官は無數で故加藤高明伯夏目漱石、中村是公、若槻禮次郎水野鍊太郎氏等もよく怒鳴られたものである

伊機東京へ　京城を出發

【京城二十二日發電通】訪日イタリー機は今朝六時二十分京城汝矣島飛行場發東京に向つた

語學奬勵琵琶歌

大連語學校にては今回語學奬勵の爲め同校支那語科主任秩父固太郎氏の新作左記琵琶歌「眞澄鏡」を斯道の大家木村岳風師の作曲に成れるものを二十三日午後八時より全校學生の爲め同校講堂にて公演し岳風氏得意の琵琶歌及吟詩の外、岡內校長及秩父講師の講話等もある筈

坂道で衝突

市內伏見町二番地菊地泰記二男喜三（一二）は廿一日午後二時二十分ごろ自動車にて大黑町二四番地急坂路を疾走中ブレーキかきかずその惰力にて附近を通行中の近江町王田寶（四九）の人力車に激突し路上に轉倒して頸動脈を切斷し治療二週間を要する重傷を負つた

自動車事故

市內沙河口元町三九圓タク運轉手鮮人鄭炳洙（二〇）は廿一日午後十一時ごろ助手朴榮替（一九）と共に自動車を操縱して大連に向け三春柳一番地同壽病院前を疾走中同所を通行中の周水子會票子涯郭家屯農業郭清心（二四）を後方より突き倒し數間を引ずつて漸く停車したが郭は其際道路上に激突し生命危篤である

俠艶一代男（2）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜（二）

「ちえッ！何て間抜けな大名なんだ。江戸一の神田明神の祭禮と知て、場所もあらうに、一番に混雑する筋違、廣小路筋へ行列を立てゝくる奴があるものか？これで間違ひが出來らア、向ふが悪いんだ。なア哥貴！清吉哥イ、癪に觸るぢやござんせんか？」

背は低い、五尺に足らぬ小男だが、縹色の法被、背に白く抜いたかの字でも知れる通り、襟に染め出した八番組、下谷淺草本郷切つての町火消、か組の愛嬌者、龍吐水持ちの金次と呼ぶ若者であつた。

丁度、湯島臺下は、八番組の連中が山車の殿りを押へる形で、一塊りになつて、街角の白身番小屋の側に詰めてゐる時で、か組の次はまた不機嫌をありくと

「ちえッ！」と、舌を鳴らして「ねえ清吉哥イ、折角の祭禮を臺無しにされやしたね。いましくい畜生たらねえ。相手が大名でなければ、生かしちや還す奴ぢやねえんですよ。三年に一度の本祭、女房を女郎に叩き賣つて、祭の衣裳を拵へた感心な人さへあるんでさア。それをあの態は何でえ！あの態は！」と湯島臺の上を見あげながらいかにも口惜しさうに力味返つてゐた。

「ほう――下にッ！」

制止の聲が迫つてくるにつれ、群衆は右往左往し、悲鳴叫喚をさへ揚げる者もあつて、逃げ惑ふ姿が修羅場の騒ぎだ。

「清吉哥ィ！どうかしたんですか？默に考へ込んでるぢやござんせぬか？」

金次が覗き込むやうに、顋を杓つて訊ねたが、相手の清吉はジッと腕を組んだまゝで、加賀侯の行列のしづくくと切通し坂を下つてくるのを見詰めながら、ムッチリとしてゐる。

年はまだ二十八九か、小肥りな色白、町火消とは思はれない、柔和な顔立で、男を賣る彼等の仲間に珍しい位に温和な質。しかし膽は太いので、いつか組でも立てられて、年が若いに纏の大役を引きうけてゐた。

幾らか酒でも飲んだと見え、ポッと顔から胸を紅く染めてゐるが、どうした譯か？長い息を吐いた。

「ちえッ！嫌になりやすね。清吉哥イ！清吉哥イ！どうしたと云ふんですよ」

「金次！少し默つてゐろよ」

「へえ、默つてゐろと云ふなら、そりや默つてますがね。あの態を見ちやア癪にさわるぢやござんせぬか？」

清吉は、相手にならぬ積りか？顔を横に外向けた。

「哥イ！お前、今日は餘程どうかしてゐるぜ」

「五月蠅いから默つてゐろと云ふに！」

溜りかねたか？金次を呶鳴りつけた。

「ヘッ！」と、横を向くと、仲間の一人と笑ひ交しながら、首を縮めて、ペロッと舌を出してみせた。

行列は、もう小半丁許り上に近づいた。

みな山車や屋臺に引き添つて、道端に土下座し、頭をジッと垂れてゐる。

粛々として、大地を踏む草履や草鞋の音が響いて、あれ程に混雑した群衆のざわめきも、遙か遠くの方で繰返されてるに過ぎない。

賑やかな囃子がピッタリと止んだので、ひつそり閑としてゐる眞晝の往來筋は、咳の聲さへ明瞭と判る位だ。

「ほう――下にッ！」

さッ、さッと歩を運ぶ御徒や仲間などの足音が、だんくと明らかに聞えた。

八番組下のか組纏持の清吉、丁度加州侯の行列が、今しも自分の前に通り掛らうとするのを知ると矢庭にパラリと着てゐた印入りの法被を脱ぎ捨て、下帶一つの素裸となり、山車を動かすに用ゐるテコ代りの丸太棒を握ると、突如に行列の前へ躍り出し

「野郎ッ！これでも喰らへッ！」

先に立つ徒歩の向ふ臑を打つ拂つた。

「それッ！狼藉者ぢや―」と、急に先供が崩れてみえた。

御祭

◇原田甲斐◇　村上浪六の原作から右太プロの白井戰太郎監督が映畫化したもので全八卷に亘り、市川右太衛門、以下高堂國典、鈴木澄子が熱演してゐる（二十一日より帝國館上映）

當り狂言揃ひで 益々好評の河部
極付國定忠次四場と 修羅王七場が呼び物

通日好評裡に盛況を呈してゐる劇戲王河部五郎は一座の當り狂言のみを揃へて昨日より二の替り狂言を演じ好劇家及び映畫ファンを唸らしてゐるが、第一の天保長脇差は山本禮三郎の演し物で三浦屋孫次郎に扮し笹川繁藏には中里一で氣持のいゝ三尺物で如何にも芝居らしく、修羅王は映畫でお馴染だけに適り役の河部の龍次郎は各幕毎に熱演して觀衆を唸らせ早綱の重吉には朝日一郎が扮し藝妓千代香は宇治龍子が勤め山縣治左衛門は石原龍之介、小梅の淀五郎には山本禮三郎が活氣のある舞臺を見せ大喝采を博した、また行友李風の名戲曲國定忠次はいつ見ても面白い狂言で先づ赤城の場で河部の國定忠次が型通りに力演して一座の意氣がぴつたりと合ひ近來になく緊張した舞臺を見せ朝日一郎の日光の圓藏、香山柳蛙の川田屋惣次、山本禮三郎の板割淺太郎はいづれも適役でイタにつき庚申塚の場があつて山形屋となり忠次が世話がかつた芝居から溜飲が下る啖呵を切り、石原龍之介の山形屋藤藏の唄もきいて赤城に次ぐ見せ場で大喝采を博し小松原を大詰として好評裡に終つたが「修羅王」と「國定忠次」は今夜限りで明日より三の替り狂言として「地雷火組」十二場を上演すると【寫眞は河部五郎の國定忠次】

大連棋院臨時稽古碁戰

三段 伊藤甲子女史
六子 大淵貞吉氏

—【4】—

○六一 リの十六
●六二 トの十七
○六三 への十七
●六四 への十八
○六五 ホの十七
●六六 リの十八
○六七 ヌの十八
●六八 ルの十六
○六九 ヌの十七
●七〇 ホの十八
○七一 ニの十七
●七二 チの十八
○七三 カの十八
●七四 トの十四
○七五 トの十三
●七六 への十四
○七七 への十六
●七八 ホの十五
○七九 トの十二
●八〇 トの十

マキノ河合を 演藝館上映
入場料は廿錢

寶館が帝キネ作品を上映することゝなり演藝館は帝キネと解約しその後の興行方針が注目されてゐたが目下取敢ずマキノ映畫「影法師」を再上映し準備を進めつゝあつたところ、この程河合映畫及びマキノとの契約が成立したので來る廿八、九日の二日間休館して館内を一部改造して新装を凝らして來る卅日より河合映畫を封切して華々しく更生の第一歩を踏み出すことになつた、今後は一週三日替りにて河合とマキノを交互上映し入場料は二十錢の大衆的料金を以て終始する計畫で近く聲明書を發表する筈である、また一方寶館にては開館の準備が整ひ第一回帝キネ作品は「江戸城總攻め」に「友愛結婚」であると

寶館で問題になつた河合映畫の「唐人お吉」は演藝館が河合映畫第二週目に上映するかと思へば▲演藝館で宣傳した帝キネの「友愛結婚」を寶館が更生第一週に上映▲これで仲良くどちらもやらみつこなしといふとになる▲與に歸つて納まつてゐた筈の解說者喜多流一郎がまたひよつこり歸つて來た▲大日活から河部五郎におくつた花環を見てお客「河部の映畫で儲けた味が忘れられまいなア」▲ところで國定忠次の庚申塚の幕が開いて虫の音が聞えるが奥の方で頻りに道具方の金槌の音がするお客「あれは何の虫の音ですか」

ラヂオ

大連 JQAK　七月二十三日

▲自午後三時五十分 野球通絡放送（滿俱對慶應）
▲自午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲童話（少年鼓手）「ソナタマーザス作四六ノ三」猿山俊一
▲ヴアイオリン（一）アレグログラヂオーゾ（二）アンダンテ（三）アレグレット、滿鐵音樂會演奏部員
▲清元（果）唄多波羅、立唄東京鬼笑、三味線清元延榮龍、同多波羅夫人
▲地唄（玉の臺）三味線富森大檢校、同高木夫人、尺八菅井一薑
▲料理獻立
▲天候豫報

滿洲日報

帽子
大連連鎖街銀座通
西野製帽店
坊ちゃん 嬢ちゃん メタル入り
市内著名菓子店ニ有リ

B―259
貧血 虚弱 病後に
補血强壯増進劑
ブルトーゼ

社説

不景氣に直面して 超黨派的たれ

經濟政策の轉換如何といふことが、依然として緊切なる問題となつてゐる。現内閣内にも、不景氣の深刻し、失業難、生活苦の漸々と押し寄せ來るに對しては、緊縮一點ばりで押し通すことも出來ぬであらうといふに存する。殊に在野黨なる政友會にては「現下の不景氣を世界的不景氣なりとして責任轉嫁に努めてゐるが世界的不景氣は金解禁前よりの事である又銀の暴落も豫期せられた事なるに拘らず之等周圍の事情を顧みず最惡の時期に於て金解禁を行つたことが我が國の不景氣の第一原因である」と第二、第三と不景氣の原因を列擧して不景氣の責任を政府に歸せんとしてゐる。

◇

併しながら、この不景氣の原因が、果して何處に存するやの議論に關しては、責任の地位にあるものと然らざるものとの間に、相當意見の存するところであり、昔は大變轉異さへも當局の責任として改元したりなどしたくらゐのもの今日はたゞ如何の程度のものが不可抗力か、その邊の觀測は、責任の地位にあると然らざるとによつて異るものあるは免れ得ぬところとせねばならぬ。殊に最近の世界經濟の情の如く、變轉の極まりなきものに至つては、結果によつて事前を推測し、政策に對する責任を問はんとするも、少しく過酷の嫌なきを得ぬではあるまいか。

◇

かくいへばとて吾人は、全然、現内閣の政策を謳歌せんとするものでもなく、また現實の不景氣に對し、緊縮方針の一點ばりにて無爲無策、それにて政府者の責任を全うし得たりと做すものでは勿論ない。換言すれば吾人は、徒らに責任の所在を問答するの閑時間があるならば、その閑時間を最も有利に、しかも當面の問題に活用せんことを望むものである。今さら誰が、こう不景氣にしたかと爭つて見たところで、それで不景氣が打破され好景氣が見舞つて來るものでないことではないか。それよりも吾人は如何にして現下の不景氣を打開すべきか、若し世界的の不景氣なるを以て不景氣の打開が不可能なりとせば、當面の生活苦失業難を、何とかして打破するの政策を講ずべきではあるまいか。そこには在朝黨もなく、在野黨もなく擧國一致を以て精進すべきことゝ信ずる。

◇

一政黨政派としては、主義政策を以て政權の歸背を爭ふものであるから、反對黨の主義政策に對して大に論難攻討することは、決して惡いことではない。併しながら、現下の日本における經濟實情は、過ぎ去つた責任の歸着を云々して現實の窮境を顧みぬやうな餘裕の存する場合ではないと思ふ。こゝは相當急迫しつゝあるものと察せられる。議論の時は既に去り、如何にして經濟國難を救ふかの實際問題に逢着しつゝあるのではあるまいか。良策あらば、政黨政派の如何に拘らず、これを採用して國難を匡救すべきである。政府者は勿論、在野方面にありても、襟懷を濶大にして、刻下當面の窮境を打開すべきではあるまいか。

◇

現下の經濟情勢に直面し、わが政府としては、その緊縮政策、節約方針を以て押し通さねばならぬことは勿論である。若し今日、この政策を轉換するが如きことあらんか、それこそ取り返しのつかぬ結果を將來することを覺悟せねばならぬ。失業難、生活苦、社會の世相は、決して樂觀を許さず、爲政者の心を動かすもの、むしろ甚だ多いことを思はしめる。この間にありて、毅然として從來よりの政策を持續せんとするは、決して容易のことではない。併しながら政策の轉換と緩和とは、必ずしも同一視すべきにあらず、政策に關しては吾人も、濱口首相と同じく斷じて轉換するの危險を思ふものであるが、目前の失業難、生活苦に關しては超黨派的に、これを何とか打開するの擧國一致的の匡救策を講ずべきではあるまいか。

強硬意見が出て 非公式會議纏らず 廿二日へ持越し審議

【東京二十一日發電通】二十一日午前、午後六時間に亘り討議された海軍側の非公式軍事參議官會議にては奉答文案の内容につき谷口軍令部長より詳細な説明あり之に對し東郷元帥、加藤大將等より相當長時間に亘る意見の開陳あつたが遂に最後の結末に達せずして第一次會議は散會し二十二日更に第二次會議を開くことゝなつた、而して本日の發言者中加藤大將は勿論東郷元帥も亦兵力量の缺陷を言ひ現はし方に於て相當強硬な意見を述べたもの〻如く、軍令部側では本日の第一次會議に於て意見開陳は大部分終了したものと見て居り二十二日の第二次會議にて結論に入るものと豫期してゐるやうである、列席者中には第二次會議にも結末を見るは困難でないかと見てゐるものもあり會議は極めて緊張味を呈した

鐵相へ報告 小林次官から

【東京二十一日發電通】二十一日第一次非公式軍事參議會終了後小林海軍次官は江木鐵相を訪問本日の會議の内容を報告した

内相も 協議に參加

【東京二十一日發電通】安達内相は濱口首相の招致により午後九時官邸を訪問、三相軍要會議に參加した

國防缺陷を 東郷元帥も主張 伏見宮始め其他參議官贊成 海相は飽迄原案維持

【東京二十一日發電通】二十一日の非公式軍事參議官會議に於ては初めて東郷元帥より條約兵力量は國防用兵上缺陷あり、しかしてこの缺陷は航空機その他の補充兵器によつては完全に補充することを得ずとの意見開陳あり、伏見大將宮始め參議官はこれに贊意を表したが、財部海相のみは條約調印の全權として、且つ閣僚の一員として後段の補充至難の主張に反對した、よつて會議は本日何等の決定をなさず明二十二日の會議まで保留したものと觀られてゐる

來週中には纏る 軍機に關する事は云へぬ ◇…加藤大將語る

【東京二十一日發電通】非公式軍事參議官會議散會後、加藤軍事參議官は左の如く語る

俺の樣な外樣大名をそう責めて呉れるな、軍機に屬する事は絶對に言へぬと云ふ事は君達も良く判つてゐるだらう、今日は纏つてゐないから又會合があると見て良い、然し夫れは大臣の方から通知がある筈だ、來週一杯には勿論纏まるさ

岡田參議官談 折角だが何も言へぬ明日又朝から會議を開くよ、今日の續きだ云々

齋藤總督 外相と懇談

【東京二十一日發電通】齋藤朝鮮總督は二十一日午前十時半外務省に幣原外相を訪ひ懇談を重ねる處あつた

海相中心に 協議を凝らす 善後策について

【東京二十一日發電通】非公式軍事參議官會議は午後二時十分散會したが財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩參議官等は三時迄居殘り協議する處あり、其の結果谷口軍令部長は永野次長、及川一班長等を部長室に招致し、一方財部海相は小林次官、堀軍務局長等を招致しそれ〲參議會の内容を報告して善後策につき協議した

財部海相 明日になれば見込みがつかう

【東京二十一日發電通】明日になつて見なくては見込みは付かぬ、勿論二十四、五日には暇になるなども今此處で言へる限りではない、只どなたも相當に御意見を述べられた俺が辭めるかつて？健康な人がぽつ〳〵逝くやうに之は判らぬ、今日は之から首相を訪問するかも知れぬ、明日の閣議には會議とかち合ふから出られぬであらうと思ふ

谷口大將 二十三日には葉山へ行けやう

【東京二十二日發電通】まだ纏まつては居らぬ一同今日一日で纏めたいと希望してゐたが二日に亘る事も豫め想像はしてゐた、會議が二日あれば一日は仕上げに取つて置くと云ふ事も考へられる事だらう、明日の一日は荒細工に當て他畫迄に纏れば宮中の御都合を伺つた上に廿三日には葉山へ行けると思つてゐる今日の會議では自分が進行係りを務め説明申上げた、明日は午前八時半から又開く事にしてある

淺野洋灰總會

【東京二十一日發電通】淺野セメントでは二十一日午後一時より總會を開き利益金處分案（配當年四分、五分減）並びに買入れ減資案（額面總額六百三十一萬圓を限度として任意買入償却す）を附議決定した

財政、外交關係から 仙石總裁鞍山斷念 昭和製鋼所の敷地候補として 更に新義州を調査

【東京二十一日發電通至急報】昭和製鋼所事業地につき仙石總裁は遂に鞍山を斷念した

【東京廿一日發電通】昭和製鋼所の鞍山設置は財政並に外交上不可能の事が最後の關係閣僚と仙石總裁との協議にて確定したので流石の仙石總裁も鞍山説を斷念するの餘儀なきに至つた、因つて仙石總裁は次善案たる新義州案に對し改めて調査する事となり、同地設置の可能か否かは一に多獅島築港施設が可能か否かに在るが、仙石總裁は多獅島の築港施設は潮流關係で不可能なりとし、又不凍港や否やに就ても疑問ありとて二十四日滿鐵支社に築港土木の權威を集め築港施設の可能か否かの意見を徴するが多分此の結果多獅島の實地視察を委囑する事になるものと見られる

在支外人商社の 法人格否認問題 （上）——三井洋行上海支店訴訟事件

三井洋行上海支店の支那人五金買辦たる何耿星なるものが三井に對して數十萬圓の損害を與へたといふので、三井洋行より同人及びその保證人たる洪滄亭を相手どり損害賠償の訴訟を提起してゐたが、該訴訟事件の公判が去る六月十六日上海特別區地方法院に於て判事鄭時氏係りにて原告代理人岡本辯護士、被告代理人張鼎曾辯護士出席の上開廷されるや、開廷劈頭被告代理辯護士たる張鼎曾氏は國民政府より新たに公布した民法によれば支那に本支店を有する商社はすべて國民政府に登記するにあらざればその法人格を認めざることになつてゐることを理由として三井洋行は未だ登記手續を完了してゐないから法人格を有するものとは認められず從つて訴訟能力を有せざるものであると三井洋行の訴訟能力否認の抗議をなして、一般に大なる衝動を興へた

次いで同月廿八日續開された第二回口答辯論に於て裁判所は被告代理人の抗議を認め、原告側の論駁があつたにも拘らず三井洋行に對して法人として支那の法律によつて登記するか自然人として訴訟をやり直すか何れかの方法によるべきことを申渡し、こゝに本問題は支那に本支店を有する外國人經營商社に重大影響を及ぼすものとして各方面から注視されるにいたつた

被告代理人張辯護士が第一回裁判廷に於て爲したる陳述及びその後原告代理人岡本辯護士の爲したる辯駁に對して發表した數種の辯論によると、三井洋行に訴訟能力なしとする論據の中心點は日本人には既に支那に於て領事裁判權なしとすることゝ、よしこれを認めるとしても領事裁判權國人民を原告とし支那人を被告とする訴訟事件に在りては完全に支那の法律によるべきものであるとの純法理論に在るもの〻如くその概要を摘記すれば左の如くである

一、日支通商條約は滿期となりて效力を失ひ而かもこれに代るべき新條約は未だ締結されるにいたらず、日本人の領事裁判權を主張し得る根據は毫も存しない

國民政府は民國十七年七月、支那と各國との間に於ける舊條約既に滿期となり新條約の未だ締結されざる期間に適用すべき臨時辦法を公布し、その第四條に在支外國人は支那法律の支配及び支那法院の管轄を受くべきことを規定してゐる、依つて日本人は當然右規定の適用を受くべきものにして、原告は日本人が今日なほ領事裁判權を有することは國民政府の公認するところであるといふけれども事實はこれと反對である、たとへ日支通商條約の效力問題を別とするも領事裁判權は本年より國民政府の命令によりて撤廢されてをり故に領事裁判權は現在支那法廷に在りては云々される問題ではない、今日支那法廷に於ては支那法律の存在あるのみである

二、一歩を讓つて日支通商條約をなほ有效なるものと認め日本人になほ領事裁判權ありとするも領事裁判權はたゞ領事裁判權國人民が被告たる場合にのみ適用され、領事裁判權國人民を原告として支那人を被告とする事件は均しく支那の法廷に於て支那の法律によつて處理されねばならぬ、今外國法人が原告であつて、しかも領事裁判權に藉口して支那の法令の適用を受けずとするが如きは、還は領事裁判權の擴大であつて昔日に於てすら無理とせられたところであり今日においては甚だしき無理である、從來支那法院が未登記を理由として外國法人を否認したことがないことは今日なほ未登記の外國法人と認むべき理由とはならぬ、從來外國人を原告とし支那人を被告とする事件は多く上海會審衙門及び臨時法院において取扱ひ而してその外國法人を否認しなかつたのは事實であるが、しかしながら會審衙門は革命後外國側が非法に組織した機關であり、臨時法院は地方官憲と外國領事團とが協定した臨時辦法であつて支那法律上に在りて正當なる地位を有せざるものである、以上の外正式法院が明確に外國法人を承認した例はない、假りに正式法院が外國法人を認めた舊例があつたとしても新民法施行後は之に抵觸する以前の一切の慣例は當然效力を失ふものたるや論を俟たない

三、要するに領事裁判權の有無に論なくまた從前の慣例の如何に論なくすべて現在外國人を原告として上海特區法院に向つて支那人を訴ふる事件は上海共同租界法院新協定第二條により現在又は將來の支那の法律章程が適用されねばならぬ、而して現行民法總則施行法第十一條により外國法人は法律の規定によるを除く外その成立を認許されぬのであるから三井洋行は支那法律によつて認許を得る以外にその法人たる資格を主張する餘地がない

經濟政策の轉換論 漸次各省に擡頭す 各省次官局長を含む 失業防止委員會の行動注目さる

【東京特電二十一日發】財界各方面の行詰りに伴ふ中小各事業の沒落並びに失業者續出に對する政府從來の對策は産業合理化運動、國産品愛用運動、地方債の緩和、官公營事業の調節、失業救濟事業助成等であるが、此等部分的方策を以てしては到底不景氣を防止し得ざるのみならず事實は益々世相惡化の度を深めつゝあるにより政府部内においても安達内相の如きは夙に頻りに政策の方向轉換を考慮しつゝあり、失業問題解決の衝に當つて居る内務省の大勢もこの方向轉換説を支持して熄まない狀態に在る、即ち此際非募債主義を極度に緩和し各種生産事業その他に關する起債を認め積極的に地方産業界の振興を圖るに非ざれば全國的大不況は決して立直るものでは無いとして居るこの方向轉換の空氣は漸次關係各省にも及び遂に失業防止委員會をして政府に積極的各種の施設の實施を迫る形勢を招致するに至つたことは注目すべきである、殊に同委員會の委員には内務、大藏、農林、商工、遞信、鐵道、拓務の各省次官局長が加はつて居り、又同會の原案作製の責任を擔ふ幹事には内務、大藏、農林、商工各省書記官九名を擁して居るので失業防止委員會の決議或は建議等は實質的には内務、大藏、商工各省の共同意見に基くものであり、それが政府に方向轉換の必要を叫ぶに至つたことは注目すべきであらう

一億五千萬圓の歳入減で 明年度豫算編成難 さらに公約による減税も必要

【東京二十一日發電通】明年度豫算編成に關し大藏省では愈々歳入見積りに着手すると共に過般の閣議に於て決定したる豫算編成方針に基き、既定經費の節約案作製に着手することゝなつたが財界の不況の爲め政府は今や未曾有の豫算編成難に當面してゐる、即ち歳入に就て見るに

一、歳入缺陷は五年度に於て六千萬圓であるが六年度に在つては更に五千萬圓を増して一億一千萬圓に上る見込みである

一、五年度實行豫算に繰入れられた前年度剩餘金は四千七百萬圓であるが、六年度に繰越さるべき剩餘金は皆無なること

一、公債に依る財源は非募債主義の繼續に依つて求むるを得ないこと

右の如き歳入情況より見て明年度歳入は五年度實行豫算歳入十六億六千萬圓に比し經常部に於て一億一千萬圓

臨時部 に於て四千七百萬圓減、計一億五千七百萬圓の減少即ち十三億五千七百萬圓となる計算となる、然も政府は五十八議會に於て國民に公約せる減税實施の爲め三千萬圓乃至五千萬圓の財源を新規に捻出する要あるのみならず、建艦保留財源は明年度に於ては僅かに二千萬圓に過ぎず、目下紛糾を續けてゐる海軍充實計畫案が如何に解決するとするも、右の保留財源を減税財源に充當し得ざる事は明白である、故に減税、剩餘金皆無の問題を抜きにして考へても一億一千萬圓の歳入缺陷を補塡する爲めには既定經費の

節約に 依る外はない、然るに

一、本年度實行豫算に於ける八千百萬圓の節約要求に對し六千萬圓しか節約が出來なかつた事

一、然かも右六千萬圓中節減額は一千九百萬圓に過ぎず、四千百萬圓は繰延べに過ぎぬ

一、右の節約要求八千百萬圓の大半は其の目標が陸、海軍費であつたにも拘らず、兩省の採つた態度より押して六年度豫算節約に當つても恐らく同樣の態度を持する事が豫想されること

等の事實より見て一億一千萬圓の節約が如何に至難なるかは想像に難からぬ、然も剩餘金皆無と減税財源捻出の問題を思ひ合はすれば政府は未曾有の財政難に當面せりと云ふ外はない

南北兩派に 板挾みの奉天派 今後の態度注目さる

【奉天特電二十二日發】張學良氏が蔣介石氏の任命した陸海空軍副司令の印璽を收受したことは南京派から觀れば中央東北の關係を一歩進めたものとして非常な成功であり張群氏も印璽を持歸へる不體裁を免れて

面目を立 てることが出來たのである、これで南京派は鬼の首でも取つたやうに東北と中央の合作が成つたと反蔣軍への示威的宣傳に利用することであらう、しかし張學良氏としては東北が表面兎も角も中央政府の節度に服してゐる關係上飽く迄も政府の命令を拒否することの出來ない立場に在り、殊に張群氏が折角持つて來た印璽を受取つて貰はなければ南京には歸れぬと根氣よく頑張つてゐるのに負けて一應お預りして置くといふことになつたのである

本來なら陸海空軍副司令（副大元帥）といふ大事な役目を引受けたことになるのだから孫文の寫眞の前で宣誓とか監誓とかと國民黨張りの繁雜な儀式が行はれ天下に就職通電を出すべきであるが儀式好きの張學良氏も今度は一切そんなことはやらないらしい、印璽を受取つたことも發表を嫌つてゐる、判は受取つたが就任はしないといふ變挺な恰好である

南京派は最近益々猛烈に張學良氏に出兵を要求してゐる、副司令に就任した以上總司令蔣介石氏が現在逆軍を討伐してゐるのに協同して反蔣軍

討伐軍を 進むべきであるといふ論法で責立てゝ來るのであるが出兵は斷然拒絶してゐる、東北内部の狀態から言つても出兵は不可能である、結局副司令官の判を押附けたのは南京派の宣傳の材料になるだけで實際では大した役には立たないらしい、一方北方の擴大會議でも學良氏に政府委員就任受諾を要求してゐる、近頃は承諾しないならこちらにも考へがあると凄い[illegible]を並べて來る始末である、各戰線とも一體に優勢であるし、左右兩派の合作も出來、汪兆銘氏も北上の途に在りといふ具合でだん〲鼻息の荒い北方側は張學良氏に對して何時までも下手にばかりは出てゐない、學良氏としてもこれまでのやうに北方を輕く扱つてゐる譯に行かないことになつた、愈々

北方政府 が出來て景氣がよくなれば學良氏もこつそり政府委員就任を受諾することになるかも知れない、右手に南方政府の陸海空軍副司令左手に北方政府の最高委員を同時に握つてどちらを乘たものかと氣迷ひする時が近い將來に來ないとも限らぬ雲行である

北上中の軍隊に 蔣氏退却を命令 北軍の攻撃急にして 中央軍益々壓迫さる

【北平特電二十一日發】十八日以來隴海線の北軍は攻勢に轉じ柳河を占領し拓城、睢州方面から中央軍を壓迫し蔣介石氏は津浦線北上中の軍隊を急遽歸德方面に引返しを命じた

新政府樹立協議 廿三日は閻錫山氏が 汪氏を天津で迎へ

【北平特電二十一日發】明後廿三日汪兆銘氏は到着に決し目下津浦線上の閻錫山氏も天津に引返して汪氏を迎へ北方政府成立に關し協議することになつた、當地外交團方面では汪氏の北上は北方政府と關聯し重大なる意味を有するものとして重大視し擴大會議委員の汪氏を迎へる準備に忙殺されて居る

南北兩軍の勝敗 本月末に決せん 津浦隴海の戰機動く

【上海二十一日發電通】南北戰の大詰の幕は愈々迫り津浦線方面には蔣閻各々自ら出馬し督戰中で兩軍の前線は大汶口附近で對峙激戰中であり、隴海線方面は北軍が中央軍の津浦線集中の隙に乘じて二三日前より左右兩翼より得意の夜襲を以つて猛襲的前進を續けてゐる模樣で隴海線の正面においても既に李壩集を占領して柳河爭奪に死力を盡してゐるもの〻如くである、斯くて兩軍の事實上の勝敗を決する大會戰は今や漸く展開せられ軍事專門家の觀測では月末までには勝敗の數を知り得べき大變化あるものと見てゐる

北平官邊の活氣 汪氏等の入京により

【北平二十一日發電通】閻錫山氏と長辛店まで同行し同所で閻錫山氏と別れ來平した賈景德、薛篤弼兩氏は閻、馮兩氏の正式代表として一兩日中奉天に向ひ張學良氏の新政府參加を正式に勸誘し諒解を求むるはずで兩氏の入京に依り北平官邊は俄に活氣を呈し政府組織直前の賑やかさに沸き返つてゐる

閻軍壽光入城説

【青島特電二十一日發】壽光に山西軍が入城したとの説があるも未だ不明である閻錫山氏の特命を受けた尹德山氏は步騎砲より成る決死隊五百餘名を率ゐて羊角溝から韓軍の後方を攪亂し同時に壽光占領を計畫してゐる、右決死隊には閻氏が特に一名宛五百元と防衣を支給したといつてゐる

膠濟線兩軍 豪雨で對峙狀態

【青島特電二十一日發】山西、韓の兩軍は朱良鎭、高鄒村の線で相

在滿左傾鮮人 結束

【ハルビン特電二十二日發】在滿鮮人の青年黨は滿洲鮮人共産黨主義團體と改稱し中國共産黨と握手し活動する準備を整へたが從來鮮人共産黨は彼等の間に多少小黨分裂の狀態で互に爭ひを繰返してゐたのを一擲し各派を糾合し中國共産黨と連絡を執るに至つた、之は露支紛爭に支那の勢力が東鐵沿線から一掃された爲め兩黨の共産主義の時代潮流にその勢力の存在を續けて行く考へから組織されたものであるといはれ如何なる程度の實力を有するに至るかは今後の問題であると

東鐵の教育費

【ハルビン特電二十二日發】東鐵附屬經營の各學校に對する本年度の豫算總額は二百萬金留と決定した、その内サウエート子弟の教育費は八十六萬五千四百十四金留である

國境貿易事務 打合

森岡安東領事は二十日午前十時關東廳に太田長官を訪問したが更に十一時より第一應接室において中谷警務局長、河相外事課長、有田保安課長、山中商工係主任等と安東國境輸出入に關する事務打合を遂げた

人事

▲岩木秀雄氏（佐賀高校教授講演部長）同校講演部監督田中慶氏等と共に一行八名廿二日午[illegible]十時三十分着列車にて來

三失政を擧げ 政策の轉換強調 政友會不景氣對策委員會

【東京二十一日發電通】政友會は二十一日午後一時より本部に政務調査會の不景氣當面對策特別委員會を開き三土委員長以下各委員出席隔意なき意見交換の結果

政府與黨では現下の不景氣を世界的不景氣なりとして責任轉嫁に努めてゐるが世界的不景氣は金解禁前よりの事である又銀の暴落も豫期せられた事なるに拘らず之等周圍の事情を顧みず最惡の時期に於て金解禁を行つた事が我が國の不景氣の第一原因である、而して解禁に對する經濟的準備を講じなかつた事が第二の原因である、之に加ふるに緊縮一點張りの節約政策を採つた結果國民の購買力減退し金融梗塞し事業停頓し國民の元氣を萎靡せしめた事は第三の原因である、政府與黨が此の不景氣失業の現狀を等閑に附し其の成行きに委せんとするは國民に對し不親切である、須く政策を轉換し産業保護の政策に進むに非ずんば今日の不景氣は挽回し得るものでない

と云ふに意見一致した、なほ次回は廿八日更に具體的調査を進める筈である

閻錫山氏 濟南へ

【天津二十一日發電通】閻錫山氏は二個列車に滿載せる護衛兵を引具し今日午前四時半到着八時五分發濟南に向つた

汪氏の住居

【北平特電二十一日發】汪精衛氏來平と同時に當地の陳公博等は汪精衛氏を迎へる準備に忙しく氏の住居は鐵獅講堂に決定した、この家は[illegible]で孫文死去の記念すべき家である

明年の減税程度 五百萬乃至一千萬圓 七年度より率を引上

【東京二十二日發電通】本年度豫算節約額六千萬圓に止まつた結果只さへ難關と豫想されてゐる明年度豫算編成は更に困難の度を加へ公約の減税は頗るその實現性を危ぶまるゝに至つた、然しまだ軍縮協定の御諮詢が懸案となつてゐるので政府の減税に對する方針も決定を見ないが政府當局もこの財政難に當つての減税實現方法には少からず頭を惱ましてゐるが井上藏相は明年度の財政難に處する對策として明年度の減税は暫定的に率を低くして僅少に止め昭和七年度より減税率を引き上げて恒久的のものとするといふ方針を執る事に肚を極めるに至つた、從つて明年度の減税は五百萬乃至一千萬圓程度の申譯的のものに過ぎず明後年度より三、四千萬圓の減税をなす事となる譯である、而して減税される税目は軍縮協定御批准後決定さるゝ筈であるが砂糖織物の兩消費税以上には出でまいと見られてゐる

商品

後場（出來不申）

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 七萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	一	一	一

出來高 銀對金 七千圓 銀對洋 三千圓

神戸特產（廿一日）

品目	値
大豆現物	五四五
先物	四四五
豆粕現物	一五一
先物	三二〇
滿洲小麥	四四五
豆油現物	一八八〇

滿日地方版

奉天

北大營内にヘロイン販賣所
密賣者取締のため

近頃治安の影響を受けて支那側下民のヘロイン需要者が逐日増加してゐるがこの傾向は支那軍隊まで侵入し北大營附近には十數戸の密賣店あり之を知つた學良氏は民國の體面上甚だ面白からずとして城内警察分局に取締方を嚴命した、しかしその數は増すばかりなので支那側當局は更に前記十數戸の密賣店につき取調べた處そのバックには多數支那將校ありその利益を分配し又自ら出資して他人に經營せしめてゐることなども判明したので直に立退きをなさしめた、一方兵卒はヘロインの購入出來なくなつたゝめ種々の口實を理由として城内方面に出かけるものが多數となつた、支那側當局はその處置に窮し遂に營内にヘロイン販賣所を設置することになつたと

強盗と早合點

廿日午後九時頃市内琴平町八番地三宅氏方に強盗侵入との急報に接した奉天署では直に非常線を張り一方司法係員は現場に赴き取調べた處三宅氏方では同日家族が揃つて赴連した爲め保線區の荒井支那人の王孟祥の兩名が留守中うたゝ寢をしてゐた處玄關にあつた自轉車を何者か戸を開け竊取逃走したのを滿鐵社内電話を通して公衆電話から警察に報じて來る途中強盗と早合點しこの始末になつたことが判明したが一時は大騷ぎであつた

附屬地内にバス運轉
許可願を提出

藤卷快徴氏は現在運轉してゐるバス以外のバスを附屬地内で運轉し市民の利便に供する計畫を進めてゐるが今回大體その案が出來上つたので廿一日奉天署を通じ關東廳に許可願ひを出した、その運轉方法は町々によつて異にし大體一は宮島町一は春日町、青葉町、琴平町、稻葉町で後者はその町を聯絡運轉せんとするものである、許可になるか否か判らぬが之が實現するとすれば洋車の如く料金爭ひをしなくても濟み十分利用され大いに惠まれて來る譯である

町の便り

奉天署の事務は廿一日から八月廿一日まで午前中となつたが同日から三週間毎日午前中署員武道稽古を開始した

◇

商議正副會頭並に役員の新任披露宴は廿日午後七時からヤマトホテルに於て開かれたが出席者多數に上り藤田會頭の挨拶に對し森島領事の來賓代表の挨拶あり九時頃散會

◇

大分縣生れ鞍山居住矢野よしの（二二）は十九日午前三時半ごろ梅尾醫師に自殺する旨の遺書を屆け無斷家出したので目下捜査中であるがよしのは元鞍山滿鐵病院に看護婦を勤めてゐたが十八日病院から解雇され悲觀の結果この始末となつたものらしいと

◇

市内信濃町十九番地朴庸秀長男熙榮（一二）は二十日午後一時頃普通學校に行くと外出したまゝ歸宅せぬので二十一日その筋へ捜査願ひに出た

◇

奉天中學校の野球選手一行十四名は細川教諭に引率され大連に於て行はれる豫選大會出場のため二十日夜赴連した

人事

▲林奉天總領事　廿一日十五時半發安奉線急行にて東上
▲山西滿鐵地方部次長　廿一日朝來奉
▲吉田朝鮮軍經理監　廿一日朝京城より來奉
▲三浦篠郎氏（關東廳内務局長）　廿三日八時半着列車で旅順より來奉同九時發安奉線列車で本溪湖へ向ふ豫定
▲小谷元代議士　廿一日朝大連より來奉
▲古川長春運輸事務所長廿日來奉
▲王家楨氏（南京政府外交部次長）　廿日胡蘆島より歸奉
▲馬龍潭氏　廿日夜四平街へ
▲東京大相撲宮城山一行百四十五名　廿一日安東より過奉長春へ

注目される家賃相談會

家賃問題に關し家主店子間の公平なる立場で双方の意見を參酌調停するため生れた家賃相談會は來る廿五日から相談の受付けを公會堂内米穀組合で行ふことゝなり一般店子間に注目されてゐるが既に申込者ありこの分では大繁昌を呈するものと觀られてゐる

開原

三人組強盗 邦人宅を襲ふ
妻女射たれて負傷 附近の支人も流彈に中る

十九日午後九時三十分頃當地開原大街六五番地醤油販賣業中山鶴三郎方へ三名連れにて客を裝ひ表入口を開かせ、内一名は外部にて見張りをなし他の二名は内に入り中醤油の値段品質等を聞き合せて一名は店の間より一名は奥の間に這つて突如隱し持ちたる拳銃を主人及妻女シヅ（四二）に突き付け現金を強要中、長男一雄が手提金庫を提供せんとし二女ミサ子は賊に父母を決して撃つて呉れるなと哀願しつゝある際、賊の隙を見て妻女は急を開原大街派出所に告ぐべく戸外に走り出るや賊は之を感知し同じく戸外に飛び出し、北方に走りつゝある妻女の後方より發砲して左腕上膊部に貫通銃創を負はせ尚發砲しつゝ逃走中、隣家の飲食店張文鳴（三七）は賊の流彈の爲め左大腿部に盲貫銃創を負ひたるが賊は市場西門より東門に通り拔け逃走したりと、屆出と共に司法係は現場に臨檢し非常召集を行ひ嚴重捜査中なりと

製鋼所問題鞍山市民大會

公主嶺

吾等の町を語る
市民の和合が第一
發展繁榮の道此處にあり

金融組合理事　森田得翁氏談

我が公主嶺は他の主要驛地の如く鐵嶺城市等を控へず全く滿治時代新創の地である、軍隊駐屯地となせる爲め附屬地は二百萬坪に亘りて相當規模は廣大に出來て居り、我が手に歸して以來も其計畫は變はれてか今日に至るも守備隊司令部もあれば騎兵隊もある、自分は明治四十三年に來任したが其當時は工場もあり機關庫もありて如何にも將來の發展を豫想させられたものじやが、四十四年の春頃であつたと思ふ工場は沙河口に引揚げ一頓挫の形を呈し、續いて機關庫も亦遂に四五年前より四平街に引移つてしまひ再頓挫を來して居住者は僅に三分の一を減じた、何と云ふても年々に居住者が減少して殖へぬと云ふことになつては月給生活者等の御都合は知らぬが我々純居住市民としては凡てが都合惡しく、往年十萬の蠻勇を奮ひし意氣は消沈して年々歳々暗處に陷るが如き感ありて頗る明かるからぬ次第じや、搗て加へて斯かる際には兎角人心の平和一致を缺き勝ちで市民協會も有るや無しで市の發展策も語り合ふ由も無い

此點 宛然自然の放任で愈々利己主義者の跋扈と斯く觀る我が瞻の眼が僻んでゐなければ幸ひじや、要するに老境我が瞻の思ふに我が公主嶺の此の否運を挽回して將來の繁榮を策せんとするには何を措いても先づ土着市民が少數なれば少數なるだけ猶一層鞏固なる協力と一致和合を爲して全く理想的な平和郷を作り、市民に安住の念を與へ一人でも多數に定着することを圖るに於ては其間自然に生れて來るものは發展繁榮の事實より外にあるまい、之れが聊ち天地流行の道理じや、此道理を通さずして己れ賢かしく此に繁榮策あり此に發展策ありと高調しても爲す

遺憾 ながら皆之れであつた當地の過去は市民一致の和合贊成を得ねば徒らに策士の策謀に終りて紛擾又紛擾民會事件とやらも既に三年もう大抵に過去は須らく葬り去り新らしき境地に出で一にも和合二にも和合と和合樂を重ねて其處に生まるゝ眞の發展策繁榮策を攫かめば決して當地も悲觀したものではあるまい、天の惠みの雨は何れの土地にも潤ふものじや、轉ては繁茂するに極まつて居る「栽えて見よ花の育たぬ里は無し」とは是れ誠に我等殖民者の心得である、腰掛主義者や厭み去り主義者に惑はされず頑然自重して深く堅く當地に喰ひ付き妄想妄動をせず一意挺身殖民道は我等に取りて猶未だ初歩程じや、宜しく其發展すべき本源を究めて邁進すべきものかと惡は時に此感懷を深くして敢て一言を

開原

鐵橋工事場を襲ひ掠奪

二十日午前零時頃滿鐵本線清河鐵橋（開原驛を距る北方五粁）の橋梁工事中の大連市東町鐵工業瀧村龜詩、同鐵工林成良、同鐵工聶錫元等が同所附近の假小屋内に就寢中三名連れの賊現はれ、内二名は外部に見張し一名のみ小屋内に侵入しモーゼル拳銃を突付けて金品を強要したるを以て、瀧村は現金十一圓水晶印一個金側腕卷時計一個（時價金三十圓）林は腕卷時計一個（時價金十五圓）聶はニツケル懷中時計一個（時價八圓）を與へたるに、賊は之を奪取し鐵橋を渡りて北方へ逃走した、午前十時頃屆出に接した本署にては直ちに司法係現場に臨檢すると共に沿線各派出所及び支那官憲に通報嚴重捜査中なるが、人相着衣等より推して中山方を襲つた賊と同一ならんと、猶過日開原署に於て逮捕せる頭目唐小六子、劉大舌頭等の部下の所爲にあらずやと高梁繁茂期に際し一層嚴重警戒中なりと

同地對抗競技 出場選手決定

鐵開四公對抗陸上競技大會に出場選手豫選會は十九日午後三時中央公園グランドに於て開催の結果米津、瀬崎、和田櫻井、布施、安中、熊谷、久代、山上、洪、鄭の十二選手出場の事に推薦決定したと

弓道部例會 有馬初段送別

開原弓道部にては二十日例會を催し長春へ榮轉の有馬初段送別弓會を兼ね正午より弓道場に於て開催した禮射、競射、扇的、點取等を行ひ盛會裡に午後五時過ぎ頃終了

◇競射賞　一等原田、二等横山、三等田下、四等管、五等加藤
◇扇的賞　有馬、町田、原田、橋本
◇點取賞　一等加藤木、二等横山、三等伊藤

青年團庭球會

青年團主催の庭球大會は二十日午前九時より滿鐵コートに於て擧行した出場者四十名をABCDの四組に別ち試合の結果A組四八點、C組四十一點、D組三十六點B組二三點にてA組の優勝に歸し午後二時頃盛會裡に終了した

武道土用稽古

武徳會開原支所滿鐵運動會開原支部主催の武道土用稽古は二十一日より向ふ三週間毎日午後四時より滿鐵道場に於て催す事となり愈々二十一日より開始した

開豐線の成績

開豐汽東公司の昨年七月より本年六月に至る一ケ年間の事業成績は

乘客　三六〇、六七〇人
運賃　二八〇、五六九元〇一
一車扱　七三、九六七噸
運賃　二五四、五二九元七九
小口扱　九、七五三、一四九斤
運賃　五九、四四八元二〇
小荷物運賃　七、四四二元三六
手荷物運賃　一、〇〇七元五四

大慈彌氏榮轉

當地方事務所經理係大慈彌徹一氏は十七日付販賣部銑鐵課勤務を命ぜられ近日中出發赴任すると

鞍山

製鋼所設置要望 最後の市民大會
熱辯後決議文可決

鞍山實業協會及び經濟研究會主催の製鋼所問題最後の市民大會は二十一日午後八時より實業協會講堂に於て開催、市民數百名參會し定刻加藤協會長の開會の辭あり左のプログラムにより進行、鞍山設置要望の熱辯を揮ひ非常な盛況を呈した、因に加藤政人、神田藤兵衛、山崎英武の三氏は午後十時四十四分發列車にて赴連し廿四日大連に開催の全滿大會に出席すると

一、猛運動を起すべし　田中末松
二、未定　大東新治郎
三、所感　稅所壯吉
四、在滿人士の覺悟　堀識右衛門
五、滿蒙開發の辻占　野尻彌一
六、鞍山市民として　森田輝藏
七、全滿結束して總裁と分持せよ　阪元藤三郎
八、題未定　石川讓助
決議文朗讀　加藤政人
閉會の辭　加藤政人

決議文

滿蒙開發に對する滿鐵の使命に基き昭和製鋼所の建設地を鞍山とする仙石總裁の意見は正當なり速に其實現を要望す

右決議す

鞍山市民大會

各地團體に決議文打電

鞍山實業協會では二十一日市民大會を開催し各地商議及各團體宛に左の決議文を打電した

滿蒙開發に對する滿鐵の使命に基き昭和製鋼所の建設地を鞍山とする仙石總裁の意見は正當なりと決議す貴地に於ても朝鮮の運動に鑑み奮起されんことを望む

鞍山實業協會

人事

▲瓦房店地方事務所に榮轉せる足立三郎氏は二十二日午前九時二十七分發列車にて多數の見送りを受け出發した
▲安東地方事務所勸業係長に榮轉せる阿比留乾二氏は二十五日午後二時二十三分發急行列車にて離鞍すると

撫順

公會堂を解放に決定
映畫上映問題に關する廿一日の地方委員會

撫順地方委員會は廿一日午後一時より炭礦中央事務所三階會議室において開催、日本側委員は飛島井氏外全部出席、炭礦側は大垣庶務課長、飯沼、濱田氏等列席、當日の中心議題たる「新公會堂を解放し映畫を上映すべきか否か」の問題に就き相當の議論あつたが

多數の意見 は折角十五萬圓も投じて新設された公會堂使用範圍を制限するが如きは在撫大衆の希望と背馳する、集會は勿論、芝居亦可活動大によし徹底的に解放し折角建てたものだ大に利用すべしとの解放論滿場一致を以て可決、茲に始めて同公會堂竣工以來の大問題に對する地方委員の明快な態度は決定されたので近く右實現するもの如くである、尚新撫順建設當初市街繁榮機關として建た活動常設館樂天館問題は前記公會堂解放問題を切り放し考慮すること とし

樂天館側 の立ち行くやうな何等かの方法を樂天館當事者と炭礦當局との間に於て近く講ぜらるゝ筈である、結局地委側の樂論は時勢の要求に從ひ公會堂解放說に一致前記の如く可決された、次に「新公會堂の使用料金問題」は過般各沿線公會堂視察中の飯沼係員より說明あり他沿線に比し撫順のは確に高い點は認めるが管理主體、内部の利用價値、工費等皆それぐ異るものを今直に一樣にする事も出來ず現在の撫順公會堂の管理主體たる炭礦は年度始めの使用料金を以つて

同公會堂 の維持費、修繕費等を計上してゐるのであるから年度中で値下する事も至難な事情にあれば早晩地方係に同公會堂が委管される筈である、故その際を期し合理的に使用料金を値下する事に決定その他二三を附議同三時十分散會した

貔子窩

州境道路の工事妨害
支那官憲が

目下工事中の州境道路は趙家屯の北方に州外居住者の所有地があり該地は支那官憲に於て租稅を徵收し居り州外の地なりとて二十日支那官憲同地に至り銃器を擬して工事中の苦力を威嚇し工事の妨害をなした事件があつた、同地は殆ど州境に接し我が州内に屬して居るものであるが正確なる地圖を持たない支那官憲は州外なりとて二十餘名同地附近に集り、右行爲に出て不穩の形跡があつたので警務課では二十日午後二時非常召集を行ひ現場に急行したが、既に退散の後で事無きを得た、二十一日には田上警部以下十餘名の警官を派し警戒工事中であるが同日には縣知事も來場の豫定である

撫順

青年團の十種競技
野球中部大勝

撫順青年團は水泳、陸上競技、野球、庭球、排球その他十種目に亘り全國を東部、中部、西部にわけ對抗リーグ戰を行つてゐるが野球は廿日午前六時より中學グラウンドに於てバッテリー中部岡田西出と東部チームとが行はれたが三十對四にて中部大勝、引續き二十一日午前五時四十分同グラウンドに於て中部對紀井、島津のバッテリーなる西部チームとの戰ひが行はれたが是も二十五對四にて中部大勝野球の覇は中部チームが獲得した、尚引續き各爭覇戰が行はれる筈

強盗三名
逮捕せらる

撫順近郊を人なきが如く荒してゐた持兇器強盗山東省萊州府生れ住所不定杜增作（三七）同姜存寬（三四）同曾傳新（三四）の三名は二十日午後二時より七時にかけ搭連及び大山坑下で打盡された同一味は一ケ月足らずの間に未逮捕者二名と共に五件の強盗を敢行してゐるが犯行次の如し

六月十八日午後十一時半萬達屋部落雜貨商袁輔亭方を襲ひ家人三名を縛し金票百圓を強奪、その他時計衣類等十七點二十八圓七十錢を強奪△同二十七日午後十一時東岡北華工宿舍孫德潛方の表戸を破壞闖入孫夫妻を縛し衣類箱の施錠を薪割にて破壞首飾衣類、現金等三十三圓五十錢を強奪、引續き隣家張文合方を襲ひ金品十四點三十六圓十錢、同隣家吳海豐方を襲ひ金品七十六圓八十錢のものを強奪△七月九日午前一時新屯柏樸雜貨商國玉備方を襲ひ四十三圓九十錢を強奪したる事を自供した

金州

郵便局長令息の奇禍

金州郵便局長堂地正一氏令息辰夫君（一九）は二十日午後二時西海岸海水浴場より約一丁の處にて馬車顚覆し人馬諸共車體と共に逆さまに放り出されたるが、同乘せる生徒五名中、中村、小林、佐藤君等は僅かに手足に擦過傷を蒙りたるに止りたるが、不幸にも辰夫君は他の生徒の頭上を越えて高く投げ出され人事不省に陷り、先頭の馬車に乘り込みたる校長の介抱により漸く蘇生し、折から通り掛りたる金州病院長は應急手當の上急を病院に報じ警務課長又時を移さず馳け付け兎も角も金州病院に收容し、大連病院外科醫二名の急派に依りX光線檢診の結果十一枚の肋骨全く折離し下半身不隨となり頗る重態なる事判明、同日は校長教職員附添ひ馬車二十三臺に分乘し龍王廟附近に差掛りたる處、昨日の降雨にて道路凹所を生じ車輪共に落ち込み斯かる結果を見たものなりと

吉林

減額請願
敎育委託料 民會が滿鐵へ

吉林居留民會にては漸次居住者の減少に反比例して就學兒童は増加すると云ふ奇現象を呈し、從つて民會の財政に行詰まりを生ぜんことを虞れ、滿鐵會社に對し教育委託料兒童一人に付金五十圓を參十圓に減額方請願書を此程當地滿鐵公所を經て仙石總裁宛提出したが濱田公所長も自ら先般出連の際本社に向つて極力斡旋する所あり、又石射總領事よりも時信を以て仙石總裁宛に懇切なる依賴をなしたが、尚居留民會を代表して議員三橋政明氏が出連の上滿鐵要路との接衝を試みるべく十七日午後五時五十五分發列車で赴連の途に就き之が實現に向つて積極的に運動中である

民會議員補選結果

吉林民會議員補缺選擧は十九日午前八時から正午に亘り民會事務所樓上にて行はれ開票の結果投票總數百五十二票棄權者九十三名にして當選者山下峻氏百三十九票濱田有一氏百十七票次點四票三ケ島伊作の順序にて終了した

商工會役員會

吉林商工會にては十九日午後一時より滿鐵公所樓上にて役員會を開催し相談役推薦の件、會報に關する件に付擬議し見本市見學の報告をもなす筈

人事

▲永衛官銀錢號辦兼省政府委員劉錫九は十九日午前十一時三十五分長春より歸吉
▲建設廳々長兼水道局々長孫其昌は十九日午後九時奉天より歸吉
▲東洋拓殖大學生一行十二名は二十日午前十一時三十五分長春より來吉鈴木滿銀支店長其他二名の同校出身者の案内にて各所見學の上午後五時五十五分發にて離吉
▲京城帝國大學法文學部教授花村美樹氏は助手二名を同伴十六日夜來吉、名古屋旅館投宿翌十七日吉林高等法院及地方法院とも視察の上午後五時五十五分發長春に向け出發
▲吉林東省日報社長三橋政明氏、十七日午後五時五十五分發大連に向ふ

大石橋

營口軍優勝す
營鞍橋劍道リーグ戰

營口、鞍山、大石橋の劍道リーグ戰は二十日午後一時より大石橋小學校講堂に於て室内九十度の炎熱を物ともせず開始せられ午後六時終りを告げたが、營口軍は鞍山、大石橋の兩軍を破り意氣揚々として歸營した

菱刈司令官 巡視
驛前廣場で第三大隊を閲兵

既報の如く菱刈軍司令官は二十日十一時三分着列車にて營口より來石、驛頭には多數の官民有志在鄉軍人等出迎へた、司令官は驛長室にて官民有志の伺候を受け驛前廣場に整列せる第三大隊の閲兵を爲し直ちに守備隊に到つて巡視を遂げ、午後二時滿鐵俱樂部道場の宴會場に臨み來賓一同に挨拶を爲し河内地方事務所長は日本側來賓を代表し營口縣知事は支那側を代表して謝辭を述べた、宴會は三時半解散し、司令官は十六時二十三分發急行にて歸旅の途に就いたが、當日の來賓は營口縣知事、荒川領事、關本營口地方事務所長、小川滿洲新報社長、瓦房店警察署長瓦房店驛長其他大石橋官民五十餘名であつた

鐵嶺

大掃除
惡疫蔓延して

當地に於ける惡疫は益々蔓延の兆あり二十日には森山典夫（二七）吉下房江（二七）の二人が死亡し、平頂堡の川崎シゲ（三〇）同テル子（七）の新患者が隔離收容されるなど例年に比して惡性である、而も過般の大洪水の後は連日の如く水銀は奔騰し燒くやうに照りつけるので今後益々續出するやも知れず、愈々臨時淸潔法實施の必要あり警察では

二十七日　居留地全部
二十八日より二日間　附屬地全部

と三日間に亘り徹底的大掃除を勵行しそれぐ嚴重な檢査を行ふことゝしたるにつき在住市民は社會公衆の爲め出來るだけの大掃除を勵行されたしと

全滿大會出席

來る二十四日大連に於て開催せらるゝ製鋼所問題に對する全滿大會には有志相談の上、地方委員會議長伊藤讓次郎氏を代表として出席せしむる事に決した、同氏は二十三日夜出發する由

野菜市場の不賣同盟
横暴なる官憲

西安大疙疸の城內東西兩野菜市場は去る十六日より突然不賣同盟を行ひ今尚解決せず紛糾中であるが原因は市場に野菜を供給する菜園業者は從來菜園稅として一畝につき現大洋六毛を納稅してゐたが、何故か同地官憲は一回の豫告も無く不意討に右稅金を十倍以上の七元に上げ納稅を強要せるより、同業者は餘りにも不當なる其增稅を憤り種々撤回運動を試みたるも官憲の容るゝところとならず同地山東同鄕會長が起つて調停せんとするや官憲はこれを僭越なりとして拘留するなど暴狀の態度に出でたる爲め、遂に市場への野菜供給を絕ちたる爲め不賣休市の止むなきに至つたものであるといふが、地方民は此不賣同盟で忽ち困憊し官憲の態度を恨んでゐると

行政智識普及講習

鐵嶺縣政府では去月九日以來管內の村長を召集し行政智識の普及講演會を開催中であつたが、二十日を以て終り二十一日終了式を擧行したが修了村長は百二十名であつた、なほ引續き第二回を開催未教育者の村長を召集する筈と

接客業者糞便檢査

惡性赤痢の續出に鑑み警察では地方事務所衞生係と協力し第一の豫防策として接客業の糞便檢査を行ふ事となり十八日より市內全部の接客業者糞便を蒐め近く奉天に廻送檢査すると

今日の案内（廿三日）

◇山內鈴木兩氏送別會　午後七時より萬安に於て近く離鐵の山內敬二、鈴木善作兩氏の送別會を開催す

遼陽

瓦軍惜敗す
對遼陽庭球戰

瓦房店地方事務所員の有志は二十日の休日に遼陽に來征午前十時から小學校コートで地方事務所員と庭球試合を開始したが遼陽側池野三ケ尻組に四組まで續けざまに屠られ午後は杵淵小學校長の前任地の知己と云ふ關係で學校組と對戰したが之又遼陽校の澤江伊藤組の爲めに最後の止めを刺され午後六時終了したと

華語講習會

遼陽實業補習學校支那語教師王春秀氏は暑中休暇にも拘らず滿鐵會社の華語檢定試驗受試者の爲め廿三日から八月十日迄毎日午後七時半から約二時間宛小學校內で講習會を開催すと

人事

▲森數樹氏（內閣統計局製表課長）二十日朝來遼須山地方事務所員の案內で城內外視察同日北行
▲渡邊德重氏（遼鞍每日社長）微恙靜養中の處此の程快癒

長春

興味深き大試合
全撫軍との陸上競技

昨報全撫順對全長春との陸上競技大會は二十七日西公園トラックに於いて行はれることになつたが、奉天敎專全日本學生陸上代表選手の一行等を招待有意義な模範試合を擧行スポーツの普及化に貢獻した長春體協は今回更に全撫順軍を招く事としたもので、撫順選手一行は廿七日朝來長午後一時から新設トラックで相見ゆる筈である滿洲に於ける強豪たる撫順選手との試合は極めて興味を惹くものと豫想されてゐる、競技の種目は昨報の如くであるが、得點方法は一等より四、三、二、一點、リレーは一等三點、二等一點競技メンバーは廿四日迄に到着の筈で、プログラムは作製する事になつてゐると而して體協では先般來より會員の募集をしてゐたので今回の對抗競技にも會員の便宜を計るに決し、まづメーンスタンドを會員席に充當、それでも不足の場合はバックスタンドを用意すると

拔天軍大勝
スポンヂリーグ戰

スポンヂ夏期リーグ戰は既報の通り第一日より非常な盛況を呈してゐる、三時四十分から開始された第一回拔天對鐵鑛戰は拔天は先づ第一回に軍一擧六點を先取されたに氣をのまれ、鐵鑛側四回まで得點なく、これに反し拔天軍は續いて二回一點、三回二點、四回一點を得たに反し一向振はず漸く五回裏にて一點を得危ふく零敗を免れ、結局十對一にて拔天軍大勝した、尚廿一日午後四時四十分から行はれる筈の強豪教育對滿鐵俱樂部との試合は雨天の爲廿二日に延期

大勝して凱旋

既報全長春野球軍は十九日哈爾賓に赴き廿一日全哈爾賓軍と一戰を交へた結果九對零にて長春大勝廿一日朝元氣で歸來した

軍隊移轉挨拶

三十八聯隊は既報の如く十九、廿日の兩日を以て愈々移轉を終りし太田聯隊長は關係各方面を歷訪挨拶したが、この兵舍は頗るモダンで諸設備は總て現代式に出來上つてゐる尙落成並びに軍旗祭は九月中旬に延期すると

見學團一束

▲カリフォルニア大學學生團一行廿日哈爾賓より過長吉林へ
▲盛岡高等農林學生八名廿二日來長哈爾賓へ
▲臺北高商生廿二日來長哈爾賓へ
▲慶大產業研究會員十三名二十二日哈爾賓より來長公主嶺へ
▲東京藥學專門學校生徒七名二十二日哈爾賓より來長奉天へ
▲大谷大學生十五名二十二日哈爾賓へ
▲神宮皇學館生徒二十名同上
▲小野工學博士（九州工大教授）伯林應用化學研究會議から歸途二十日朝過長南下
▲矢野文學博士（京都帝大教授）莫斯科へ向け廿日朝過長哈爾賓へ
▲長春守備隊兵百名二十一日歸來

安東

大相撲二日目盛況

大相撲第二日目は初日と同じく絕好の日和と日曜日に惠まれ觀衆は早朝より續々と場に押掛け午前十時には既に八九分通りの入りにて正午よりは初日と同じく幕下力士の取組があり亦中間に於て安東素人力士との對戰があつたが此の日安東軍新進力士を加へ敵に肉迫左記の如き成績を以て敗れたが安東素人相撲界に氣を吐いた

安東軍	相撲協會
中村	○○八重ケ岳
○○松田	土佐光
和泉	○○大ノ浦
○薩田	○○浦島
○○木下	○仙北山
丸山	○○小島川
○○森田	八ケ岳
池田	○○大劍
福元	○○高知山
三島	○○太閤山

四平街

鐵開四公對抗 庭球戰成績

既報の如く體協四平街庭球部主催の第一回鐵嶺、開原、四平街、公主嶺對抗庭球競技大會は二十日公園コートに於て擧行されたが此日絕好の庭球日和、午前八時三十分同場チームは正式スタンドに整列、宮內體協顧問の開會の辭終つてAB兩コートに各軍の練習は開始され觀衆は既に四圍を埋めた、定刻九時Aコートは四平街、鐵嶺にて開戰、Bコートは公主嶺、開原にて開戰、四の各軍は二勝一敗となり、公軍は奮戰空しく全敗となつたが、開原側に優退組多く、左の如き戰績にて盛會裡に午後六時閉會した

優勝　開原……點數六
二等　四平街……點數六
三等　鐵嶺……點數五
四等　公主嶺……〇

避暑地どころか 馬賊の巢だ

＝吸血蟲も馬鹿に多い＝

◇—興安嶺の此ごろ

山野一面敷つめた毛氈のやうな野生花の滿開してゐる興安嶺——避暑地として東支沿線西部線では最上だと想はれてゐたが、林區を視察し六十日餘の天幕生活をした某氏は十八日來哈し語る

◇

避暑地 どころか天幕生活をしてゐると虻、蚊、ぶとの密集部隊に襲擊され洋服、ワイ襯衣を通して刺す虻は馬についたら最後容易に離れない、ぶら下つた儘血を吸ふので馬は神經をいら立せ人間を嚙む、ストーブの煙突を嚙むと云つた風で夜襲には蚊遣火を焚いて防戰するが到底敵はず、白晝は直射百十度內外に上るのだから山中の生活も樂ではない、其れに

露支蒙 の聯合馬賊が橫行し兩三日前自分の天幕附近を通過し何處かへ行つた約數十名の一隊もゐたが、山林の番人を襲ひ數名慘殺したのでコロン兵が追擊した處四名の戰死者を出し退却した、彼等は約二百名ばかりの團體で現在は數十名に分れてゐるらしい、其の編成と內容性質は想像だけで少しも判らぬが——單なる掠奪を目的とする者ばかりではないのだらう、地方人は東鐵を解雇された支那國籍を有するロシヤ人が支那の保護を受けることができず遂に馬賊となり其の恨みを復讐せんとするのでは無からうかと云つてゐる、其れが證據に支那人とみれば直に射殺する、然し其性質は白系であるか、赤系のパルチザンであるかは判らない、或者は赤だとも云ふてゐた、彼等は山間に生活し

各地に 出沒してゐるが、コロンバイル青年黨の赤化運動の尖端を行く一團であるかどうか、多少其の色彩を有してゐるかも知れない、支那官兵は討伐に向ふ勇氣はないから一朝東鐵西部線に事變が發生すれば直に活動を開始するのだらう、コロンバイルに青年黨の獨立運動は決して終熄したものではないことを筆記して置く必要がある

◇

今やコロンバイルは支那中原の政變を機會に外蒙との連絡に積極的畫策をしつゝあることは事實である【ハルビン特信】

黄色紙を嚴禁

愛蘭の取締

アイルランドでは英國から來る新聞中猥褻記事などを澤山掲げてゐる新聞は風教に害があるといふので購讀を禁止してゐるが既に之が取締にあつた新聞は六つに及び發行部數三百萬即ち世界で最大の讀者を有つて居ると誇つて居る英國のニュース・オブ・ザ・ワールド紙も槍玉にあがつて入國罷りならぬとの御法度（ダブリン）

生活苦に 喘ぐ白露人

厭世自殺が多い 氣概ある者は馬賊に

世界的失業の洪水が比較的生活基礎の低地にあるハルビンにも流れて來た、經濟界の不況が直接の原因となつてゐることは少いが、白系ロシヤ人の失業は東鐵を解雇されたものが多く、元氣なものは早速りの自動車運轉手になるか、土工にでもなつて働くが世界的勞働力の低廉な支那人を相手にしては到底彼等は太刀うちができず、支那官廳側の統計によると現在白系エミグラントの失業者は約二萬に達してゐると云ふ

◇

これは一定の職業にありついてゐない者の數であるが、何とかしてスープとパンを嚙り僅かの露命をつないでゐるに過ぎない、年ごろの娘をもつてゐる者は娘の操——夜の惡魔に蝕せられた人肉の市——街頭に立つて賣る春によつて家計の一部を助けてゐるドン底生活に喘ぐ悲慘なものもゐる、蒸し暑い夜、東支の農事試驗場の公園で愛兒に菓子だと僞り毒藥を與へて死出の冥路につれて行つたロシヤ女の鼠藥自殺は何を物語つてゐるだらう、生活の戰ひに疲れ切つたロシヤ人の群が職業救濟所で漸く一日二十錢の食費で暮してゐる光景は「生きてゐるものゝ與へられた生命の永續を求めてゐる」慾望に過ぎない。

◇

札來諾爾炭礦の閉鎖で三千の支那工人が失職し東鐵の事業縮小と政治的改革で罷免された露人——等々、最近の統計は東鐵を解雇された者のみで約五千名に達したことを報告してゐる。

◇

失業受難——一ケ月六十元の傭人一名を採用する廣告に應募した者の百數十名に上つた現實の社會相をいかに見る、露人の厭世自殺は露字紙の三面をにぎはしてゐるが、神經衰弱者は比較的鈍感である彼等が人生最後のゴールに突進する悲哀は肉體的には生きられない競爭の落伍者である。だから氣力のあるものは失業の都會を捨て興安嶺の山間に走り失業群から編成されたパルチザンの分子となりて林間に出沒し掠奪によりて其の生命を持續するより外はないのであるコロンバイルのパルチザン中には斯うした失業者の選ぶべき職業が待ち受けてゐる。

◇

松花江下流、東支各沿線には數十名から成る支那馬賊が增加したヘルビン市街には殺人、强盜の數が增しロシヤ人の掏摸が多くなつた、社會の不況に刑務所監獄の門所のみが反對に繁昌してゐる（ハルビン特信）

八紘

投書歡迎 中傷を目的とするものは載せず 新聞行數五十行以內のこと

高等科併置無用

憂國生

大連市の某高等女學校に高等科併置の計畫を關東廳で進めてゐると新聞紙は報じてゐるが、時節柄そんな無益な計畫は放棄した方がよいでせう、單に高等科で何等の資格も得られなければ應募者が少ない、そこで學校の維持上無理な勸誘をする、選まれた生徒の家では無益の散財をする、專攻科が出來て資格を與へれば生徒に不足はすまい、そのかはり卒業後の就職について行きつまる、就職難の後援をする結果になる、社會の一部に高等教育を受けた女子の必要なことはわかりきつてゐる、その必要を充たすには同地で養成しただけで澤山です、その高等教育組に入りたいものは散財は覺悟の上だから內地までやるべしです

◇教育は軍備擴張のやうなもので相互に競爭しあつたなら際限がない、軍縮會議が必要なら教育制限も必要です、併し常識的にみて高等女學校程度の中學教育は一般的に必要でせう、之は木綿の着物が生活上必要なのと餘りかはりはありません、女子の高等教育は絹の着物のやうなもので無理をしてまでも買ふ必要はないと思ふ、だが絹の着物とみせつけると人情として借金しても買ひたくなる、高等教育機關が出來ると、女學校だけで滿足出來る者も滿足出來なくなつてつい無理してまでも入學するきになる、つまり貧乏者に絹の着物をかざして誘惑することになる不必要な高等知識を得、看板を金ピカにするために多大の散財をすることになる、それよりは早く社會に出して、それ〴〵實生活に活動せしめる方がよい、個人の上からも國家的にみても。

南アルプス縱走記（二）

東京 大野恭平

◇廣河內の小舍◇

大門澤を降り切つて、夕闇が早くも迫つた、谷間の廣河內の小舍へ着いたのは七時ごろであつた。

昨年の八月才樺池の小舍から白根三山を越しこゝへ着いたのも七時頃であつた。もう夏山も終りに近く、青木湯からそれまで二日間の山で、人に遇つたのはたゞ二人ぎりであつたが、廣河內の小舍からは煙が洩れて居た。

「誰か來て居るな」當然それは學生か若い元氣な會社員であることを豫想して居た、ところが戶をあけて中へ踏み込むと、焚火の光にうつつて先づ胸まで垂れた長い眞白い髯が目についた。山羊のやうに小さく痩せた一人の老人が端然と、山の小舍には似付かはしくない正座をして居るのだ。四十五六のお供らしい人が慇懃にそれに仕へて居る。恐ろしく言葉が丁寧だ。ほかに人夫が二人、食事の跡片付をして居る。私は、狐につまゝれたやうな氣がした。

だん〳〵話して見ると、老人は本年六十三、山が好きで、これから冥土の土產に（——と言ふのは私の勝手な推測だ）日本第二の高峰白根三山へ登らうと言ふのだ「お元氣ですなあ」私は心から驚嘆の辭をさゝげた。あとで聞くと老人は製糸會社としては日本でも有數な京都の郡是製糸の社長川合信水翁であつた。南アルプスへは、自分の持山だと言ふので赤石方面へ大倉翁が風呂桶をかつがせて登つた例、また商賣柄の關係で水電界の巨頭桑永安左衛門君がベッドをかつがせて白根へ登つた例もあるが、いづれも三四十人の人夫を引連れてか、引連れられてか登つたのだ。川合翁は何の用意も無しに、鍋や毛布なども西山溫泉から借りて來たらしい模樣であつた。私達の一日行程のところを四日費したとしても、その元氣には何人も驚嘆を禁じ得まい。

◇老人と若い者◇

それは昨年の懷ひ出であるが、小舍で備付の登山名簿を見ると、私達より五日ほど前、南アルプス夏山のトップを切つて山の稜線を縱走に人夫二人を連れて登つた甲斐山岳會の人の書いたものがある。それに「今冬の遭難者の遺留品であるワイシヤツが小舍に殘つて居たので燒き捨た」と言ふ意味の事が書いてある。今冬の遭難者と言へば一月に白根へスキー登山をして北岳から御池への下りで墜落した三人組の學生のことを指すのであらう。

草すべりと呼ぶ【北岳からの下り】は大門澤とは違つた意味で難所の一つだ。正面の高嶺あたりから見る、殆ど直立して居るやうな急傾斜、勇敢に眞直につけた徑だ、木の根や岩角が有つてこそ上るにもトるにも手がゝり足がゝりが有るが、この下りは草ばかりで、さうして傾斜が急だから中途で腰を下して休むにも辷りさうで氣味が惡い、それを丈餘の雪が積んでゐる際多下らうと言ふのだから、若い人達はあまりに元氣で、あまりに無茶だ。しかし「山は男の度胸だめし」その無茶も若人達の身上で無いとは誰か斷言し得やうぞ。かの老人！この若人達！同胞よ日本民族の元氣を祝福せよ【寫眞は農鳥岳から望む間の岳（右の白いのは雪田）】

探偵小說 女妖（148）

江戸川亂步 橫溝正史 作　伊藤幾久造 畫

疑問の家（二）

意外、意外、千家篤麿の話はあまりに意外に過ぎるやうである。木澤由良子が果してそんな惡魔なのだらうか。あの虫も殺さぬ、おとなしやかな顏をしてゐる木澤由良子が、春日龍三殺しの犯人であり、そして又お利枝婆さん殺しの犯人であらうとは……

「君はまだよくあの女を知らないのだ。然し僕は或理由から、あの女の體內に秘められてゐる恐ろしい毒の樣な性格をすつかり見破つて了つたのだ。俺があのシヤトワール村の河內莊へ出かけた時の事だ。同じ列車で、俺の外に二人シヤトワール村へ行つた者がある。その一人は君も知つての通りの綾小路瀧子であり、そしてもう一人といふのは、二十四五の若い美しい青年だつた。この青年は綾小路瀧子をまんまと出拔いて、河內家の戶籍謄本の中から、一部分を拔取つたばかりか、肝腎の證人お利枝婆さんを殺して了つた。

お利枝婆さんが此際何と言つたと思ふ『娘だ——俺の娘がやつて來て殺したのだ』と言つたといふ——それは君も知つての通り春集街の被害者だ。お利枝婆さんは自分を殺した犯人をその女と見間違つたのだ。然しその娘といふのは春集街で誰かに殺されて了つた事は君も知つての通りである。では臨終のお利枝婆さんが娘と間違つたのは果して誰か——それはいふ迄もなく木澤由良子の他にない。あの女は春集街で殺された女の實の娘だから似てゐるのは偶然ではない。お利枝婆さんは孫を娘と見違つたのさ。」

千家篤麿の言ふところは成程一々眞實をうがつてゐるものである。然しそれが眞實とすれば餘りにも奇怪、あまりにも怖ろしい。あの女が——大塲は頭をがしがしと掻きながら當惑した樣に顏をしかめる。

「君はまだ僕の言ふ事を本當に思はない樣だね。然しこれは斷然事實なのだ。間違ひない事實なのだ。これさ一番馬鹿を見てゐるのは綾小路瀧子さ。あの女は何も知らないで木澤由良子を心から信用してゐる。由良子が表面では涙を湛へ乍ら、影へ廻つては恐ろしい惡企みをしてゐる事など、てんで知らないのだから馬鹿なものさ。聞けば最近、綾小路瀧子は馬車の椿事から大怪我をしたといふぢやないか。あれとても、多分木澤由良子の所業に違ひないのだが、瀧子の方では全く御存知ないのだ。あの女もあれでお人好しさ。第一シヤトワール村のあの事件でも由良子の正體が多少分りさうなものだけれど、それでもまだ欺されてゐるんだからね。由良子はお利枝婆さんを殺すと、もう一人邪魔になる小夏をも殺さうと思つた。で例の男の變裝で小夏を引つ張り出して、河內莊へ連れこんだのだけれど、危いところで追ひつめられた。そこで仕方なしに、變裝をといて元の由良子の樣な振りをして出て來たのさ。

そこであの女が何んと言つて誤魔化したか——多分この千家篤麿の爲に、長い間あの河內莊へ幽閉されてゐたのだとでも言つたのだらう。所がお氣の毒な事には、千家篤麿と來たら全く何も知らないのだからね。成程砂村の別莊へ一度は連れこんだがね。然しまんまと逃げられた上に、今では却つてあいつの爲に煮え湯を飲まされてゐるやうな始末さ。いや、何しろ慘めな話よ。實際女がかうと思ひついたら、到底我々の思ひもよらぬ事を仕出かすからね。一種の氣違ひ——さうだ、あの女は一種の氣違ひだ。世の中に又、氣違ひ程恐ろしいものはないからね」

千家篤麿はさう言ひ乍ら、葉卷を不味さうにポイと床の上へ投出すと、荒々しく床の上を步き出した。

家庭欄

日本式とヘボン式 孰れのローマ字が文法的に正しいか (下)

鬼頭禮三
中村貞一

かゝるヘボン式が萬一過つて日本に強行せらるゝが如きことあらば、直ちにその綴り方はトルコに於けるが如き「小改正」の必要を生ずるにとゞまらず、その根底をも覆へすべき根本的大變革を要求するの聲が大衆の間に勃然として起るであらう

かくて 再三綴り方の改正をほどこすのやむなきに至り、ために民衆をして大なる犧牲を拂はしむること或はトルコに於けるより甚だしきもののあるを恐る。かゝる愚を避けるためには、頭初より斷然新派を採用するの外なき事明白といふべきである。

舊派論者は或は新式綴方を以て「劃一的」の名の下にけなし去らんとするが之れ前述の如き文法的検討を忌避せるの最も顯著な證左であつて、彼等の文法的無智そのものに他ならない、更に又、彼等が新式綴方に於ける si ti tu などを以て

發音的 ならずと罵るも、之れ前世紀の音聲學を固執して一字一音主義の空想にふけるものといふべく、現代音聲學の進歩は「一フオニーム一文字」の原則を以て新派綴方を支持するの事實を忘却せる非科學的見解で、文字以外に音聲記號の嚴存する事を省みざる暴論にすぎない。如何なる文字も音聲をうつし出す事を得ない。文字は謙遜に國語の音系をあらはすを以て甘んずべく如何なる折衷式もこの點より見て日本式を凌ぐ事は絶對的に不可能である。

我々は 自ら省察と認識とによつて新派綴り方を徹底的に擁護し、近代科學と民衆の支持を得つゝ正々堂々これを世に問ひつゝある。理論的に沒落し、實際的に地盤を喪失しつゝある舊派は、一に「策動」により財力にすがらんとするも、之れ苟くも國語國字を論ずる者の探るべき態度ではない。如何なる專制權力を以てするも、言語が言語として正常なる表現を要求することを妨け得ようか。文部當局は來るべき、綴り方統一に際し必ずやこの間の事情を洞察し、トルコに於ける如き、綴り方を改定するの煩雜と不經濟を省くため、吾等と同一の結論に達せられるであらう事を信じて疑はないものである

童謠 雨ばれの原

北村しげる

雨ばれの
青い
原つぱ
たくさん羊が
草を
喰べながら
ニーヤンに
追はれて行く

羊は
もうお家に
歸つてゐるのでせう
西のお空は
まつかにやけてゐる
あしたは
きつとお天氣です
——七、二〇——

海へ……海へ…… 各校の聚落で どこの海岸も大入り滿員

夏だ、夏だ、そして各學校の聚落生活のシーズンが來た、市内兩女學校は本年に於ける海濱生活のトップを切つて今月の初めから夏家河子海岸で勇躍を續けてゐる、小學校も早いのは

一日頃から 初めてゐるのもあるがたいていは夏季休暇を待つて今月の二十六日頃から始めるのが多い、目的はいづれも體育の向上、健康の増進等々、惠まれた夏の日を原始に還元して眞黒な大自然の子とならうといふのである、各學校の海濱聚落を海岸別に見ると何と言つても最も人氣の集るのは星ヶ浦と夏家河子で

星ヶ浦には 温泉ホテルに早くから陣取つてゐる沿線の兒童を始めとし、伏見臺、南山麓、沙河口、大正、下藤が軒をならべて二十六日から開始、少し離れた臨海浴場には、例年の如く聖德が二十五日から始める、朝日は少し遠いが黒石礁の海岸を獨占して十八日に始め八月の二日まで續ける夏家河子は例によつて素晴らしい大家族だ、こゝには早くから始めてゐる

神ア、彌生 の兩高女に日本橋が小學校側の先鞭をつけて十四日から始め常盤、大廣場、松林、周水などが相前後して二十五六日から開始する、春日は例年通り靜ヶ浦、嶺前は浮世離れた嶺甲に海の空氣を滿喫し、早苗は老虎灘、小平島、傅家庄と各地の海岸を移動しながら變化のある海の生活を營まうといふ計畫、柳樹屯小學校は

同地の海岸 で七月一日から始めてゐるが二十四日で切り上げ、それと入れ代りに大連彌生高女の聚落組が、廿七日から對岸の柳樹屯へ乘り込む、中學の方は兩校とも海濱聚落はやらないがキャンプ組の一隊があつて、二中は二十五日から柳樹屯陸軍病院前にキャンプを營み大雨が降れば病院内に逃げ込まうと中々ぬけ目がない一中は

老鐵山まで 出かけ其の山麓にテントを張り二班に分れてキャンプ生活を樂しまうといふ計畫、關東廳盲啞學校も約二週間の豫定で星ヶ浦の海岸に可憐な兒童の聚落を始めるさうである、小學校の聚落中で最も參加兒童の多いのは朝日の六百九十八人を筆頭に大廣場が四百八十名といふ中々の大世帶、先生の骨折も容易でない

僕の奥さんの?

次郎

……完……

紳士齋藤さんは汽車が周水、沙河口間を走る時次のやうな話をした。

「僕達は三年前に結婚した夫婦ですが、僕は結婚した翌日西洋へ發つて今まであちらにゐた。僕は見合ひも結婚式もしたのだが、きまりが惡くて相手の顏をよく見なかつたのと、それから三年經つたのですつかり妻の顏を忘れてしまつた、この數子もさうであつたらしい。けふ迎ひに來ると云ふ電報を受けとつたので、度々ご覽の通りの失敗をやつた譯です」

「わたしも失禮しましたわ、トン吉さんの傍にエンドウと書いたトランクがあつたものですから」と夫人もつけ加へた。

キャンプの仕方 (五) キャンプと健康

大連少年團主事 阿左見福馬

仲よく食べよ

空 氣の澄みきつた山奧で或は浪と林の海濱で、土を掘つたり、木を伐つたり、山を匍つたりすれば大抵の我儘者でも、食物の好き嫌ひを云ふ者でも麥飯に澤庵で結構である「始めて飯の味を知つた」と云ふのもあれば「俺は之で八杯だ」などと云ふ豪傑もゐる元氣一杯の青少年の事であるから時に取つての食べ過ぎも免じてやるとして、又一面には共同生活として他人の食べる物は何でも食つて見る、食物の好き嫌ひを言はぬ樣訓練したい。

特 に滿洲に育つて美食に飽きてゐる少年達には「働けば何でも旨く食べられる」と云ふ事を體驗させたい。之と同時にこの場合食事に對する禮儀作法も型にならぬ程度で導きたい。修養上の食事決なども一のよい參考である、こゝでも一つ大切なことは仲よく食べると云ふ事である。言葉は平凡だが行ふは難い。ともすると當番に作つて貰つてお先に失敬したり食べる事が仕事だといふやうにセカ〳〵したり

大 きな旨そうのものから選りぬいたりして動物的本能を發揮するものである。私が入所してゐた英國のギルウエル訓練所(世界ボーイスカウト本部)では班員の一人でも缺けてゐると、屹度當番が呼歩いて集めて來た。然もお互の名前が至極親みのあるニックネームで自分の幼名で呼んだり、好きな友達から其國の姓をつけて貰ふのである。私の仲よしの一英人教師にアンダーウッドと云ふ人があつた。

日 本名で何と呼ぶかと云ふから「森下」がよいだらうとつけてやつたら二週間も皆が「森下」で呼びならした。處が此の森下君また大の香氣屋で、食事を忘れて泳いだり、小屋造をやつてゐる。そこで森の彼方此方を「森下々々」と呼んで來て、白も黒も黄もニコ〳〵として平和の食卓を圍んだものであつた。

『少年少女の夕』 青い鳥夢の國兩子供會の主催で

來る七月二十五日(金曜日)午後七時より敷島町青年會館に於て青い鳥子供會夢の國子供會合同主催の第一回「少年少女の夕」が次のやうなプログラムで催される會費は大小人共十錢であると

第一部

一、はじまりのことば(密先生)二、童謠舞踊(夢の國子供會)(イ)山家の祭(阿部綾子)(ロ)居眠り地藏さん(大橋シヅ江)(ハ)夢買ひ(吉野ノブ子)(ニ)とうせんぼ(並川トシ子、鈴木ヤス子、打木チエ子、手島トヨ子、本田ミツ子、唐澤エツ子、男子部角笛組)三、おもちやの合奏(高田郁二先生)四、童話

第二部

一、獨唱(松田房子)二、童謠舞踊(青い鳥子供會)(イ)どんぐり(古賀芳子)(ロ)露西亞町渡止場(岩崎敏子)(ハ)ほう〳〵螢(渡邊フミ子)三、童話(道家秀雄先生)四、童謠舞踊(青い鳥子供會)(イ)犬のお芝居(植松和子)(ロ)竹屋の由兵衛(種田靜子)(ハ)ぼうふら踊(古賀芳子、渡邊フミ子、川上チエ子、川末チエ子、高橋チエ子)

第三部

一、映畫(イ)實寫(ロ)漫畫 二、おわかれのことば

器械なしで出來る アイスクリームの作り方

バニラアイスクリーム

◇材料 卵五個、砂糖四十匁、ミルク三合、コンスターチ中匙一杯、バニラエッセンス少々、氷五百匁、鹽少々

◇製法 お鍋に卵黄と砂糖とミルクを入れ、中火に掛けて煮立てます。煮立ちましたらコンスターチを水でといて置いてそろそろいれ、よく混ぜ、火からおろして冷めた時バニラを五六滴加へて茶筒に入れます。かうして、別に用意した深い桶に氷を碎いて入れ、食鹽を一つかみまぜて置きその桶の中央部に茶筒を入れ、まわりへ氷と鹽の混ぜたのをつめ桶、蓋をして、一時間半位置きますとよく固まります。

ピーチクリーム

◇材料 桃三個、砂糖五十五匁、コンスターチ中匙一杯、ミルク二合氷、五百匁、鹽少々

◇製法 桃は皮と種子をとつて小口にし、砂糖三十匁を加へて煮ます。煮立つて泡が出ましたら掬ひとつて捨て、やわらかに煮えたときおろして裏漉しにかけます一方別にお鍋に卵黄と砂糖二十五匁とミルクとをよくかきまぜながら煮立たせ、煮え立つたらコンスターチを水溶きして入れ、火が通りましたら降して、漉した桃を入れ、よくかきまぜて茶筒に入れ、水で冷します、そして大部分冷えた時、前と同じ方法で桶の中に仕込みますと一時間半位で出來上ります。

新刊教育兒童書紹介

▲ローマ字の日本(七月號)ローマ字綴方の正しい解決を望む、ローマ字用語統一問題、その他(五錢東京市本郷區駒込曙町日本のローマ字社)

公開状 下宿料が餘りに高過ぎる

公憤生

◇

不景氣の颶風一度人間界を荒せば根のない人間は一たまりもなく失業と言ふ世界へ吹きとばされて行く、彼等は完全に失業者といふ生地ごくの苦みを受け人にして人に非ざるあさましい姿と變つて行くのだ。漸くにして失業の世界を逃れて人間らしい人間にならうとした時彼等の内、家なきもの身寄りなき者の前には又恐ろしい下宿地ゴクが待ち構へてゐる

◇

長い間資本家の私慾の犧牲となつてゐた彼等が漸くパンにありついた時又もや下宿の責苦を受けるとは實に人間界は苦みの泉ではある、内地より遠大の希望と第一線にたつて民族的闘手と自惚て來た若い青年或は家運再興の一念かたく妻子と血の涙で別れて來た中年者の前に待つものは就職難と下宿屋難である

私は職にありつき乍ら生活苦になげく人をどれ位目撃したか、彼岸の内地には年老た兩親が彼からの送金を一日千秋の思ひで待つてゐる、或は乳にうえたみどり子が營養不良の顏をあげて乳を求めて泣く、母は夫からの送金を鶴首して待つてゐる、然しその息子、その父は大連まで來て就職した幸便を内地まで知らせながら何故送金出來ないのか、そこに下宿屋といふ中間搾取階級が彼等の血と涙の金を容赦もなく搾取してゐる事に氣づかねばならぬ

◇

今大連の下宿料を調べて見ると(一ヶ月三食として)

八疊一間一人……卅五圓乃至四十圓
八疊一間二人……二十七圓乃至三十二圓
六疊一間二人……二十五圓乃至二十八圓
六疊一間一人……三十圓乃至三十五圓

そこで一ヶ月三食の實費といふと計算に依れば五人の下宿人ありとして食料八圓、六疊六圓、雜費一圓計十五圓、一ヶ月十五圓で六疊に一人住むで猶且二圓或は三圓の利益はある、然らば最も穩健なる下宿料は一ヶ月

六疊一人……二十一圓
六疊二人……十八圓
八疊一人……二十三圓
八疊二人……十九圓

でよいと思ふ右の通りにして猶且一ヶ月五十圓の純利益のあることは確實である

◇

然るに現在に於ては一人より十五圓或はそれ以上の不當利得を得てなほ不景氣極まるのが現在の大連に於ける下宿屋の赤裸々なる姿である

◇

一般物價の下落した今日下宿料が物價の高かつた好景氣時代と同様であることは極めて不合理である、これは家賃などと同様値下げを斷行して然るべきものと思ふ

依頼された手切金を 古賀辯護士が着服
知らぬ間に手切れ承認となり 女は自殺を圖る

妻を失つた三十男、附添看護婦、中に入つた不良辯護士、と巴にこんがらがつて、十用の鬱陶しい炎熱の下に遂に女の服毒自殺未遂といふ傷ましい事件が起つた――去る十八日午後四時頃、市內監部通り四〇、運送業市川悦造方石田ナツエ(二七)は市內眞金町八十二番地滿鐵社員中野信一=假名(三四)方便所に於いて

催眠藥 カルモチンを嚥下して自殺を圖り苦悶中を發見され直ちに市內磐城町田邊病院に擔ぎ込まれて手當を受け目下生命には別條ないが事の起りは次の如くである、前記中野は妻女スエ=(假名)が昨年八月大連病院婦人科に入院中、同科の附添ひ看護婦石田ナツエ(二七)と知合ひ其後妻女が死亡したため中野は妻に迎へるからと甘言を以て昨年末よりナツエと關係を續けたが中野は亡妻の妹キヨ=(假名)と結婚することゝなつたゝめナツエを遠ひ除ける必要から木原辯護士を介して手切金四百圓を以て示談解決することにした、木原辯護士は

四百圓 をナツエ方の依頼辯護士古賀元吉氏に本年一月二十八日手交し、それに對して古賀辯護士より二月二十一日に木原辯護士へナツエの署名捺印したと稱する、爾今關係無之云々の一書を提出した、中野方では之で示談解決したものと思ひ去る三月末キヨと結婚したが、偶々ナツエが之を知り怒つて髮を切つて中野方に送つたり怨みを述べて來るので中野方では大いにナツエを詰つたところナツエは手切金四百圓は受取つたこともなく、手切を承諾したが如き

一書を 認めた覺はないといふので、更に木原辯護士より古賀辯護士に事實を確めたところ古賀氏は大いに狼狽し直ちに三百圓を調達しナツエに渡して之で諦めろと言ひ渡したがナツエは聞かず紛糾を續けてゐたが遂に去る十八日彼女は直接中野方に押掛けたがケンもホロロの挨拶をされたため逆上して自殺を圖つたものである

手切承諾書は 私は知りません
四百圓も受取らぬ 當のナツエ語る

ナツエは田邊病院に入院し生命に異狀はないが二十一日記者が訪へば語る

この話をしますと私は興奮しますから何も聞いて下さいますな

たゞ古賀さんからそんな話は全然聞きませんし手切金四百圓を受取つたこともありません、又私が署名捺印したと云はれる手切承諾書なんか私は全く存じません

金はまだ渡さぬ 手切承諾は本當
ナツエが確かに署名した 古賀辯護士語る

右に對して古賀辯護士を訪へば次の如く語つた

實は金は未だ渡してないのです然し手切れの承諾書は文面はタイプライターで打つたものでナツエが署名捺印したものです、この事件は紛糾したので岡野辯護士に先日依頼したものですがその席上でもナツエは自分は署名したものでないといふので困つてゐるんですが何分相手がヒステリーな女ですから私も折れてゐますが然しナツエが署名して認めたものに違ひありません手切金を渡さなかつたのはナツエが叔父の市川の手前、金を取つたと知られては困るらしいので私も渡さず、遂にナツエの立場を同情する餘り市川方に對しても訴訟辯論があるなど心にも無いことを言つたのです、其後私が手數料百圓を引いた三百圓渡さうとしても先方が受取らないので私も今困つてゐるところです、然しこんなことが新聞に出たらナツエも亦自殺を仕兼ねませんし成るべくなら書かないで頂けませんかね

古賀さんの 話を樂みに
市川方で語る

ナツエの親戚の市川方では

手切承諾書なんかは全然知りません―本人も古賀さんが勝手に何時の間にか自分の印をとつて捺したのだらうと言つてゐます私共では古賀さんから五月三十一日には訴訟辯論があつて其結果中野と結婚出來る樣にしてやるからと言はれてゐたのを樂しみにして待つてゐた位です

と語つてゐた

本社宛の 取消文
古賀辯護士から

拜啓

本七月二十二日附貴紙朝刊に「古賀辯護士が手切金を着服云々」の記事有之候處右記事中事實相違有之候に付左記の如く正誤相成度此段申出候也

第一、手切金を小生着服したるものに無之

第二、右事件は小生石田氏より依頼を受けたる權限に基き相手方と一旦和解したるも、其後石田氏よりの申出に依り相手方より詫狀を取り添へること〻話纏まり石田氏は直接相手方依頼の辯護士より右詫狀を受取ることに爲り居るも未だ詫狀を入手せざることより石田氏が昂奮したるものに有之

第三、小生は右事件に付今日尚石田氏の代理人として事件に付折衝中にして貴紙記者の方が石田氏を訪問せられたる際の如きは石田氏より小生事務所に直ちに電話を以て善後の相談の爲め面會を求められたるものに有之

第四、小生が手切金を保管するは石田氏の意思に基くものにして石田氏より橫領其他の主張をせられたる次第にては無之

第五、當の石田氏は相手方が誠意を以て遺憾の意を表明するなれば此際手切金の如きは取得する意無く若し相手方が返還に應ぜざる場合は世話になりたる一同の財務の爲めに全額を投げ出す意嚮なりと迄云はれ居るものに有之候

右の次第に照し小生は石田氏の心情に同情し切角相手方たる中村氏の誠意有る取計ひに依り事件の圓滿なる解決を希望致し居次第に有之候

昭和五年七月二十二日　右　古賀元吉

滿洲日報社御中

手切金の事は 五月まで知らぬ
一度も和解はせない 當の石田ナツエ語る

古賀辯護士の悪辣なる手段は各方面に大なるセンセイションを捲起し其他の辯護士も寄々協議中で檢察局にても可成り注意を拂つてゐるが、廿二日午前古賀辯護士方より左記の如き取消文を送つて來たので本社では再び各關係者に就いて

嚴密なる 調査をなせるところ各關係者の申立は依然として變らず依頼人石田ナツエは一月廿八日中野(假名)が木原辯護士を通じて古賀氏に手切金として四百圓を手交したる事實は五月迄知らず五月十二日に中野が他の女と結婚した事實を知つてナツエが先方に不信を詰つたところお前には手切金を渡してあるぢやないかと言はれて今更の如く驚いて古賀氏に訊したところ古賀氏は狼狽して三百圓を

調達す るから諦めてくれと言つたことは左記古賀氏送付の取消文の事項と相違する樣である右に對して石田ナツエは語る

手切金のことはあの人が結婚した五月十二日迄は知りませんでした、其後私が先方に直接怒つてやりましたところ手切金迄出して證文まで取つてあるぢやないかと言はれ驚いて古賀さんに聞いたところ古賀さんは金は使ひ込んで居られることを知りました、古賀さんは私が信用して賴んだ人ですし私もそれは諦めてせめて先方から

詫證文 を取つてくれと言ひましたら古賀さんもそれを承認しておき乍ら今までそのまゝなのです、相手方と一旦和解したなんて嘘です何も私から古賀さんに金を保管願つた樣なことはありません、第一最初は古賀さんが先方から手切金を取つてゐることさへ知らなかつたのですから又手切承諾書と云ふのは私は全然知りません常時訴訟するからと言はれ判を出したところ奥に行つて捺されましたがそれぢやないかと思ひます

示談解決と 信じた
相手方の談

なほ相手方の中野(假名)及び木原辯護士は交々次の如く語つた

私の方では一月二十八日に古賀氏を通じて手切金四百圓を出し、そして二月に古賀氏から絶緣書を受取りそれには石田の判まで捺してあるので示談解決したものと思つてゐたのです

訪日伊機
京城に着く

【京城廿一日發電通】今朝奉天を出發した訪日イタリー機ブラニー、ス氏操縱キャプニニー機關士同乘のロル、バルヴイ機は午前十時半平壤着陸、十一時半平壤發午後二時十分京城汝矣島飛行場に着陸した明朝五時半當地發大阪に向ふ豫定である

京都帝大生 行方不明
立山に登山して

【富山二十一日發電通】十三日立山に登山した京都帝大農學部學生加藤映一(二三)は同夜室洞に一泊十四日朝山麓を單獨で出發した儘行方不明となつたので蘆峅寺村では捜索隊を組織して捜索中であるが地理不案內の爲め或は斷崖より墜落したものではないかと見られてゐる

在滿婦人の晩婚
何が彼女等をそうさせたか 慾に目眩む惡い習慣

滿鐵に勤務する婦人社員を始め一般に在滿婦人は晩婚であるといふので滿鐵ではさきに社員機關雜誌を通じて結婚を媒介したが成績が惡いので中止した、これら在滿婦人の晩婚の理由について調査された所に依ると、在滿婦人は一般に輕薄で家庭の主婦として顧はしくないと誤信されてゐるのが最大の原因らしい、然し茲に面白い現象は滿洲で成立する結婚は土地柄にも似合はず全く健康を度外視して收入のみを主眼としてゐるとである、滿鐵共濟係での話に依ると結婚前に必ず妻となるべき人の觀測から本人の地位や收入について細い問合せが來るが當人の健康狀態については殆ど問合せるものがないとのことである、また一面男性側から見ても日本內地から渡滿した婦人は滿洲で成長した婦人に比してはるかに健康が劣つてゐるのみならず滿洲での生計について知識がないに拘らず內地から妻を迎へるのが常である、これらの事實から見て在滿青年の結婚は健康や子孫について全く顧慮されず只經濟的の一面しか見られてゐないと云ふことになる

ピヤニストの シヤピロ氏
榊丸にて着連

ピヤニストとしてまたテナー藤原義江氏の伴奏者として令名あるピヤニスト、シヤピロ氏は上海より榊丸に乘換へ廿一日大連に上陸直ちに哈爾賓に向つたが同氏は語る

世界演奏旅行を思立ち米國に渡り英國、ドイツ、フランスと約二百數十回の演奏を行ひマルセイユ經由歸つて來たものだ、直ちにハルビンに行くがこの九月は近衛秀麿さんと契約があるから日本に行くつもりです

京鐵陸上競技部 九月上旬に來征
大連アスレチック倶樂部と對抗ゲームを行ふ

朝鮮總督府鐵道局陸上競技部では今夏滿洲遠征の希望あり滿鐵陸上部に種々交渉するところがあつたが愈々來る九月七日大連アスレチック倶樂部と對抗ゲームを行ふことに內定した同對抗ゲームは大正十三年初めて開始され第一回は朝鮮側遠征し來り第二回は大正十五年大連側遠征し兩回とも大連側大勝した

▲種目 (1)八百米(2)棒高跳(3)百十米高障碍(4)走高跳(5)四百米(6)圓盤投(7)百米(8)走巾跳(9)千五百米(10)槍投(11)千米メドレー、リレー

▲採點法 繼走をのぞき一等三點二等二點、三等一點繼走は三等一點

▲出場人員 一種目每二名宛(たゞし繼走をのぞく)、出場回數制限なし

財政難から 補習校廢止
高等科と共に

【上田廿一日發電通】長野縣小縣郡與田郡では財政難から遂に總代會で村農會の廢止を決議し更に二十日の協議の結果、同校小學校高等科並に補習學校廢止を決議し目下之が實行方法を考究中である

燒ヶ岳で 遭難
明治學院生が

【松本二十一日發電通】明治學院三年生橫濱市鶴見區豐岡安藤進之助(二〇)は十九日燒ヶ嶽の頂上にて行方不明となつたので、二十一日實兄橫濱市電氣局技師安藤信二氏外親戚人夫十五名で大搜查の末二十一日午後二時飛驒川の斷崖に瀕死の狀態になつてゐたものを發見應急手當の上上高地に連れ歸つたが生命は取止めるらしい

紅石礁の立標
暴風雨で倒潰

數日前の暴風雨により州內大長山島南岸紅石礁立標倒潰され附近航行船舶にとり甚だ危險である旨海務局より一般會社に警告があつた、尙同立標は昨秋同局で危險を慮して立てたものであると

帝展審査員任命

【東京二十一日發電通】本年の帝國美術院展覽會審査委員は帝國美術院會議で銓衡の上文部省に申請中の處二十一日左の卅一名と決定發表された

△第一部 川村萬藏、福田平八郎、矢澤貞則、森田善次郎、吉村忠夫、土田金二、野田道三、廣島新太郎、矢野一智

△第二部 小林萬吾、石川寅治、太田喜二、大久保作次郎、片多徳郎、金山平三、牧野虎雄、青山熊治、鈴木千久馬

△第三部 關野金太郎、小倉右一郎、吉田三郎、國方林三、北村正信

△第四部 六角注多良(蒔繪)津田信夫(鑄金)清水龜藏(金工)石田英一(鑄金)海野清(金工)河村半次郎(蒔繪)澤田誠一郎(陶磁)

帝國美術院展覽會審査委員被仰付(各通)

チルデン選手 デ杯戰に出場

【ニューヨーク二十日發電通】デ杯庭球大會委員會委員長ウエヤー氏は本日新聞紙に寄書の契約ある爲め出場不可能なりしチルデン選手は今度新聞紙側が契約解除を承諾したのでフランスとの間に行はれるチヤレンヂ、ラウンド試合にはアメリカチームのメンバーとして出場する事になつた旨發表した

酌婦駈落
水上署に引致 取調べる

女事務員から轉落して酌婦に、そして今は無斷逃亡の嫌疑で留置場の中に淋しい夢を見る時代が生んだいたましい女性、青島市臨淸路第二松嶋樓酌婦山下フジ(二一)は軍艦御用洗濯人であつた渡邊綱□(二□)と昨秋より深い仲となつたが何時まで經つてもそのまゝではらちがあかぬので二人は手に手を取り大連に逃走したが、當地水上署では手配により廿一日入港の榊丸に乘船中の兩人を發見引致したが兩名が語るところは冷たい社會の一端を如實に示すもので彼女が涙のうちに語るところによると同女は二年前迄朝鮮の內國通運の女事務員として働いてゐたが男の爲にだまされ前借八百圓で青島の前記樓所に賣飛ばされたものであると既に當地には同女受取りの爲め冷酷な手が待受けてゐるが、水上署でも相手方の男である渡邊が金の都合でもつけば仲に入り粹を利かす意向を有してゐる

四國飛行競技
東北航空處で

【奉天特電二十一日發】東北航空處では昨日英、米、佛、チエッコ四ヶ國の戰鬪用飛行機競技會を開催しその成績を學良氏に報告したが今回はその豫備試驗で正式飛行機競技會は來月中旬に開かれる由

吉林小學の 自治會
發展に努む

吉林尋常高等小學校に於ては兒童の人格敎養の基礎としての良習を體得せしむる目的で、既に全校を通じて自治會を組織し其發展に努力じつゝある由であるが、特に本年の夏季休業中兒童の生活は各擔任敎員より課題、特別召集以外は主として校外自治會の活動に委ねたる由にて其校外自治會は通學區域により大馬路、東大灘、新開門外、城內の四區に各自治會を起し各區共會長其他役員を選擧により定め休暇中の行事を決議して々之を實行しつゝあるが、自治會の本部及役員の氏名は次の通りである

▲自治會の本部

大馬路―滿鐵クラブ
東大灘―製材燐寸會社々宅
新開門外―小學校
城內―同文商業學校

▲各區役

大馬路會長 工藤正孝
副會長 車好烈
同 鴨田美代子
東大灘會長 藥館善吉
副會長 鈴木通
新開門外會長 韓時賢
副會長 川上祐一
同 中川松江
城內會長 吳家勳
副會長 砂塚德三
同 劉初子

君嶋博士講演

滿鐵技術協會では今回九州帝大敎授工博君嶋八郎氏の來連を機とし同氏を迎へて二十二日午後三時半から滿鐵社員倶樂部第一集會室で左記演題の下に講演會を催すと

一、水工學の試驗に就て　君嶋八郎氏

尙は講演會後電氣遊園登瀛閣で懇親晩餐會を催すが會費は二圓五十錢二十二日午前中に事務所に申込まれたいと

3―1 力戰甲斐なく 法政軍敗る
十一回戰實業の猛打

法政大學對實業決勝戰は二十一日午後四時四十分より滿倶球場に於て井上(球)南條、緑川(壘)三氏審判の下に開始、一對一の接戰で補回戰に入つたが十一回實業猛打を浴びせて二點を得三對一の接戰で法政惜敗す閉戰六時五十分

法軍若林の連投

數日來連投の若林投手の起用は些か虐待の感があり、彼は前回に比べてスピードこそなくなつたがこの日コントロールもよかつた、たゞ餘りに大膽に投げ過ぎたために實の名打者にねらひ打ちに會ひ、第十一回に於て中島、木下、源川にねらはれて勝敗の分岐點となつた、岩瀨もまた好投し、餘裕綽々として各ポイントを占める、本日の勝因の一部は岩瀨の好投に依る

第一回法二死後二走者出でしも後凡退し第三回實二死後中川津田と出でたが宮武の當りの鋭い遊飛を刈田轉倒して止め津田を二壘に封殺す

法軍最初の一點

第四回、法軍一死後藤井一ストライク後直球をたゝいて三壘ベース上を拔く二壘打に出で矢野の單打で生還先づ一點を得續いて長澤も二越單打に出で風雲の動きを見せたが田坂二飛

實業好機を逸す

第五回、實一死後岩瀨出で津田四球宮武投前緩內野單打に二死滿壘となりファン熱狂せしも渡邊一ボール後二ドロップを見逃し續いて

ニイア、ボールを空振して無爲

實業一點で同點

第六回實一死後木下遊邪失に出で源川の一二間單打に一死二壘となつたが岩瀨の三遊間單打に木下還つたが中川の遊邪で源川中川併殺され、折角の一死滿壘のチャンスも僅に一點を得たのみ、第七回實一死後宮武內野飛球を上げ捕手落したが宮武一壘に走らず途中で停まつて居たので死す いさゝか緊張をかいで居た感があつた

補回戰に入る

かくて兩軍共好機なく補回戰に入る、第十回法一死後刈田右翼線近くに痛打二壘打となり島の遊擊左の單打に三進絶好のチャンスとなり戰終れりとの感を懷かしめたがPH成田、久保共にあせり過ぎて凡退、

決勝の三壘打

第十一回、さすがの若林も些か疲れを見せ、中島二二後左越二壘打し木下バンドを試みること二回成らず一ボール後一二間に快打し中島三進走者三壘に寄る續く源川第一球外角にかゝるストライクを見逃し續いて二ボール一空振後絶好のストライクを極めてなだらかにバット振ると惑たる快音と共にボールは右中間にとび三壘打となり遂に決勝の二點を得、同裏法二死後矢野右中間に三壘打して一寸色めきしもPH吉田凡打す

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
實得點	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
法得點	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

試合經過

△第一回 實業中川三飛津田投飛宮武三飛 ▲法政島左飛坂根一飛失久保の遊飛坂根を封殺藤井三遊間單打で久保二進したが若林右飛

△第二回 實業渡邊遊飛中島四球木下三振源川左飛 ▲法政矢野遊飛長澤右飛田坂二飛

△第三回 實業安藤兄中飛岩瀨二飛後中川二越單打(代走木下)津田も三越直球單打して木下二進したが宮武の二壘寄りの遊飛野手倒れ乍ら好捕し二壘に津田を封殺 ▲法政刈田中飛島遊飛坂根三振

△第四回 實業渡邊三飛後中島一二間單打したが木下の三飛で封殺木下二盜したが源川三振 ▲法政久保遊飛後藤井三壘ベース上を拔く二壘打し捕手が一寸ファンブルする間に三進若林二飛し二死となつたが矢野二―〇後二遊間單打して藤井生還長澤二越單打して矢野一擧三進長澤二盜田坂二飛して二者殘壘

△第五回 實業安藤兄左飛後岩瀨左前テキサス單打して二盜中川投飛後津田敬遠の四球に出で宮武の投緩飛內野單打となつて二死滿壘となつたが渡邊三振 ▲法政刈田投飛後島の二飛野手一壘に惡投して二進し坂根の二飛で更に三進したが久保右飛

△第六回 實業中島左飛後木下遊飛失に生き源川の一二間單打に二進安藤兄前單打して一死滿壘の好機を迎へ岩瀨も三遊間直球單打して木下生還尙ほ右望であつたが中川の遊飛は本壘と一壘に綺麗に併殺 ▲法政藤井一直若林中飛矢野遊飛

△第七回 實業津田投飛宮武の內野飛球捕手落したが宮武途中に停つてゐたため一壘に投げられてアウトとなり渡邊遊飛 ▲法政長澤投直後田坂投手足下を拔き刈田の補飛に二進したが島の三直野手好捕して空し

△第八回 實業中島遊飛木下遊飛源川投飛 ▲法政坂根一邪飛久保三飛藤井中飛

△第九回 實業安藤兄中飛岩瀨右飛中川三飛 ▲法政若林捕邪飛後矢野遊飛內野單打したが二盜に死に長澤三振

△第十回 實業津田二直宮武中飛渡邊三振 ▲法政田坂三振後刈田右翼線に二壘打し島の遊擊左の單打に三進PH成田(坂根に代る)立つ島二盜一死走者二三壘に據つたが成田空振の三振に退き久保第一球を遊飛して實業最後のピンチを巧みに切り拔く

△第十一回 實業(法政坂根退き大磯二壘に入る)中島左越二壘打木下一二間直球單打して中島三進木下二盜して絶好の機會を迎へ源川二―二後守りの淺い二壘左を拔いて三壘打とし中島木下勇躍生還源川は二擧本壘を衝き二壘手の返球に刺さる安藤中前單打したが投手牽制球に一壘に死に岩瀨一直に退いたが實業二點を得て優勢 ▲法政藤井見逃して三振若林遊飛で二死後矢野右中間二壘打して一寸色めいたがPH吉田(長澤に代る)捕飛して空し

(實業)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7中川	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0
5津田	4	0	1	0	0	0	1	1	1	0
6宮武	5	0	1	0	0	0	0	1	7	0
2渡邊	5	0	0	0	0	2	0	5	4	1
8中島	4	1	2	0	0	0	1	3	0	0
3木下	5	2	1	0	2	1	0	18	0	2
9源川	5	0	2	0	0	1	0	3	0	0
4安藤兄	5	0	2	0	0	0	0	1	4	1
1岩瀨	5	0	2	0	1	0	0	0	2	0
計	43	3	12	0	3	4	2	33	18	4

(法政)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7島	5	0	1	0	0	0	0	3	0	0
4坂根	4	0	0	0	0	1	0	3	1	0
PH成田	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
4大磯	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5久保	5	0	0	0	0	0	0	0	6	0
9藤井	5	1	2	0	0	1	0	1	0	0
1若林	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0
3矢野	5	0	3	0	0	0	0	14	0	0
8長澤	4	0	1	0	0	1	0	3	1	0
PH吉田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2田坂	4	0	1	0	0	1	0	6	1	0
6刈田	4	0	1	0	0	0	0	2	4	1
計	43	1	9	0	0	5	0	33	19	1

三壘打―源川、矢野　二壘打―中島、藤井、刈田　併殺―法―(久保、田坂、矢野)　逸球―渡邊　殘壘―實九、法九　時間―二時間十分

日活現代劇臺本より

この母を見よ（七〇）

畸面座同人構成

一寸お待ち下さい！

（此の物語は、あの悲慘な母親の死で終局であつたなら、餘りに讀者諸君の感傷を痛め過ぎるであらう。また、私達も、それ程ミゼラブル、エンドである事を望んではしない。この暗黯な運命の何所かに「光」を認めたい。御覽なさい！あの母の死の蔭には今病める兒が……その母の死も識らずに……醜い是なく「母」を「愛」を求めて喘いでゐるではないか。私達に、若し許されるならば、少しの作爲を容れて頂きたい——それが、せめて死んで行つた母親への餞別であると思ふのである）

その愛に燃え
その愛に叫び
その愛に狂ひ
その愛に盗む—
そうして遂に愛し得なかつた母は とうとう死にました
だが—

中子は絆子の計らひでG病院の純白な敷布に其の熱ッぽい體を横たへる事が出來た。

今、醫者が出て行つたばかりである。

病室は、蒸々とするスチームの不健康な濕度に蒸されて、消毒藥の臭ひが一杯に充滿し鼻を突いた。

中子は、其の中で昏々と眠り續けてゐた。

絆子は不圖……倭子さんが生きてゐたら……又しても、そんな事を考へた。

彼女は中子の枕邊を靜かに離れて、窓から外部を覗いた。

多分だ。

そして朝だ。

昨夜から、まんぢりともしない絆子の頭は暗く重たかつた。

然し彼女の頭腦は、今晴れ晴れと明るいものに滿ちてゐた。驚へば其れは雨の花園に薔薇色の花を見るやうに……。

絆子は、ふと振り返へつた。

中子の寢臺の周圍に立ち並んでゐる——およねや、そして倭子と親かつた幾人かの人々に、確かりとした聲で呼びかけた。

この子の母は死にました
かはりに私が
この子の母となりませう
けれど何時
何處で
この子の母と同じ運命におちるかも知れません
その時は
あなた方が第二、第三の母となつてやつて下さい

—そうだ、欺瞞と無恥と……そんな不實な、無思想な生活なんか今日限りおさらばだ！

—あんな生活に何んの未練があるだらう！

—妾は千呂ではない、今日限り斯んな下らない名前なんか昨日のカレンダーの捨去られる一枚と一緒に丸めて大空へ向つて放り込んで了へ、妾の「新生」よ？

—黎明よ！

—復活よ！

—おゝ、絆子よ、お前は再び妾の許へ歸つて來たのだ。もう私はお前を確かり握つて了つた、死んでもお前を離しはしない！

—妾は……この子の母親だ！

—妾は

この子の第二の母親である。

絆子は、明るい窓外に向つて華やかな微笑を送つた。

—何んといふ幸福な朝だらう。

—さあ！

行かう！

「光」の中を……。

絆子は、驚喜に走り寄つて瞬つてゐる中子を、じつと抱きしめるのだつた。

（讀者よ！）

私達は今
『光』を認め得る
絆子に救はれた
愛兒中子の上に—
そうして—

女性よ
母人よ
私達は今一つ
思索を持つ
所詮『愛』のみの母は
生きて行けない—と
第二の母
第三の母
第四第五の母となるために
私達は如何なる力を—
力を持たねばならぬか
—と

（完）

【寫眞は入江たか子、松平鶴子、佐久間妙子】

満日文藝

満日柳壇

『夏瘠』

大連 喜一
洋行は印度洋から瘠せ始め
夏やせの赤銅色で避暑歸り
夏やせの指輪の嵌るふしが出來

遼陽 峯牛子
お化粧に憂身をやつして夏をやせ
夏やせのこんなに餘る帶となり

大連 晨夬
夏やせの首に淘汰の風がしみ
氣苦勢を夏やせする憐しさ
夏やせの女房ひつからびた胸を出し

旅順 頓狂
夏やせへ三助ちから拔いてすり
申譯して夏やせ計つて見
夏やせへ去年の醫者は駄目にされ

大連 木の丸
夏瘠のくるくる動く眼のくぼみ
夏やせにすらりつと金紗肩がこけ

旅順 亞鳳
獨言いつて夏やせ計つてる
せめてもの夏やせでもと娘いひ

大連 淀月
媒介者夏やせにする口上手
夏やせを見限つてゐる肉體美

遼陽 花瓢
箱入りの螢狩りから瘠せて行き
聞く母へ何にも語らぬ夏瘠し

大連 凡稚
失戀を夏やせにする母の前

旅順 辰雄
落込んだ目から夏やせ先へ知れ
この夏は骨のみ太るかと思ひ

大連 青々庵
夏やせと知らず熱海で日を送り
縁談の姉は夏瘠せ氣にしてる
孕み月の夏やせ見るに痛々し
洋行のホームシックに瘠せる夏

泉頭 北斗
失業の夏瘠らしい友に會ひ
夏やせの姉へ妹泣いてやり

大連 登志子
母親の又苦勞する夏になり
夏やせにやゝ整つた二十の娘

遼陽 木耳
夏やせの渦タオルの父が立ち
夏やせの人の團扇の物思ひ

大連 ひさし
夏やせの[illegible]いたづらに硬くなり

大連 純三
夏やせをやつて見たいと二十貫

滿洲俳壇募集規定

次回課題「旱」「籐椅子」「鰻」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲投封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛